

# 大槌町の公共交通に関するアンケート調査 報 告 書

令和3年11月

報告書作成：特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター

## 目 次

1.	調査の概要 .....	1
(1)	調査の目的 .....	1
(2)	回答率と補正係数 .....	1
2.	回答者の属性 .....	3
(1)	年齢 .....	3
(2)	性別 .....	4
(3)	職業 .....	4
(4)	地区 .....	5
(5)	世帯の構成 .....	6
(6)	世帯で所有する乗用車の台数 .....	7
3.	自動車運転免許について .....	8
(1)	自動車の運転免許の保有状況 .....	8
(2)	自動車の運転免許の保有状況【5年前との比較】 .....	9
(3)	バイクの運転免許の保有状況 .....	10
4.	おでかけについて .....	11
(1)	お出かけ回数 .....	11
(2)	計画目標①『車を運転しない人のお出かけ回数が「週に3～4日以上」の割合』 ....	13
(3)	身近に通院や買い物などへ送迎してくれる家族や知人がいるか .....	16
5.	通勤や通学の状況 .....	17
(1)	通勤や通学をしている人の割合 .....	17
(2)	通勤や通学先 .....	17
(3)	通勤・通学の交通手段 .....	18
6.	通院の状況 ～通院方法～ .....	20
(1)	通院の状況と通院先 .....	20
(2)	通院方法（車を運転しない人） .....	21
7.	買い物の状況 .....	23
(1)	買い物先 .....	23
(2)	買い物の交通手段 .....	24

---

8.	その他の外出 .....	25
9.	鉄道やバスの利用状況 .....	26
(1)	最寄りの駅やバス停までの距離（徒歩時間） .....	26
(2)	公共交通の利用度 .....	28
10.	公共交通に対する評価 .....	33
(1)	外出やおでかけを不便と感じるか .....	33
(2)	不便を感じる理由と感じない理由 .....	36
(3)	改善希望 .....	37
11.	自由回答 .....	44
(1)	町民バスを復活させてほしい .....	45
(2)	公共交通は必要 .....	45
(3)	増便してほしい .....	45
(4)	子どもや高齢者が利用できるように .....	48
(5)	乗合タクシーや小型バスがよい .....	49
(6)	利便性向上や利用促進が必要 .....	49
(7)	バス停が遠い .....	46
(8)	接続をよくしてほしい .....	46
(9)	タクシー補助が必要 .....	50
(10)	今は車が運転できるので大丈夫 .....	51
(11)	バスが利用できない .....	47
(12)	鉄道や駅が不便 .....	51
(13)	免許を返納するのが不安 .....	49
(14)	バスの時刻を見直す必要がある .....	48
(15)	まちづくり関連 .....	51
	巻末資料 .....	53

# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

大槌町では、町民バスの運行など公共交通の維持や利用促進に取り組んできた。将来にわたって公共交通を維持し、安心して住み続けられるまちの実現に向けて、これまでの取り組みをふりかえり評価するとともに、外出状況や外出に対する意向を把握することを目的として実施した。
















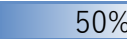



- 調査対象…大槌町に住民登録がある 15 歳以上 89 歳以下の市民(無作為抽出により 1,200 人抽出)
- 調査方法…郵送配布～郵送回収
- 調査期間…配布:令和 3 年 7 月 30 日(金) ～ 回収:令和 3 年 8 月 11 日(水)

## (2) 回答率と補正係数

1,200 人に配布し、未達は 10 通、回答は 362 票得られた。回答率は 30%である。

アンケートの回答者の年齢別構成比および地区別構成比は実際の構成比と異なる。そのため、調査結果を実際の人口に合わせて回答を補正するため、補正係数を以下に設定する。総計は年齢補正を優先する。補正済みデータについては、図中では「\*」を付す。


























表 年齢別の回収率と補正係数

年代	アンケート調査			人口	構成比		補正係数
	回収票数	配布票数	回収率		回収票数	人口	
10代	35	200	 18%	417	 10%	 4%	0.4
20代	40	199	 20%	859	 11%	 9%	0.8
30代	58	199	 29%	883	 16%	 9%	0.6
40代	63	200	 32%	1,281	 18%	 13%	0.7
50代	67	198	 34%	1,508	 19%	 15%	0.8
60代~80代	97	194	 50%	4,891	 27%	 50%	1.8
無回答	2	-	-	-	-	-	-
計	362	1190	 30%	9,839	100%	100%	1.0

注 1：配布票数は未達 10 票を除く、人口は令和 3 年 6 月末現在、構成比の回収票数は無回答 2 票を除く。

注 2：構成比（％）については、四捨五入を行っていることにより合計は 100%にならない場合がある（以下同）

表 地区別の補正係数

年代	アンケート調査			人口	構成比		補正係数
	回収票数	配布票数	回収率		回収票数	人口	
町方	37	174	 21%	1,580	 10%	 14%	1.4
沢山・大ケ口	58	175	 33%	3,787	 16%	 34%	2.1
桜木町他	53	149	 36%	1,790	 15%	 16%	1.1
安渡	40	143	 28%	579	 11%	 5%	0.5
赤浜	45	139	 32%	608	 13%	 5%	0.4
吉里吉里・浪板	57	150	 38%	2,096	 16%	 19%	1.2
小槌	44	136	 32%	418	 12%	 4%	0.3
金沢	26	124	 21%	396	 7%	 4%	0.5
無回答	2	-	-	-	-	-	-
計	362	1190	 30%	11,254	100%	100%	1.0

注：前掲

## 2. 回答者の属性

### (1) 年齢

調査票は、10代、20代…と各階層ごとに同数を抽出して配布していることから、回答票数の割合をみると60代以上が27%と高年齢ほど回答に占める割合は高くなるが、10代も10%の回答があり、比較的若い人の回答が人口構成比と比較して多くなっている。

60代以上はひとつの階層として配布しているため、全体に占める構成比は30～50代と比較して少ないが、60代は9%、70代10%、80歳以上8%といずれも約1割前後の回答が得られた。

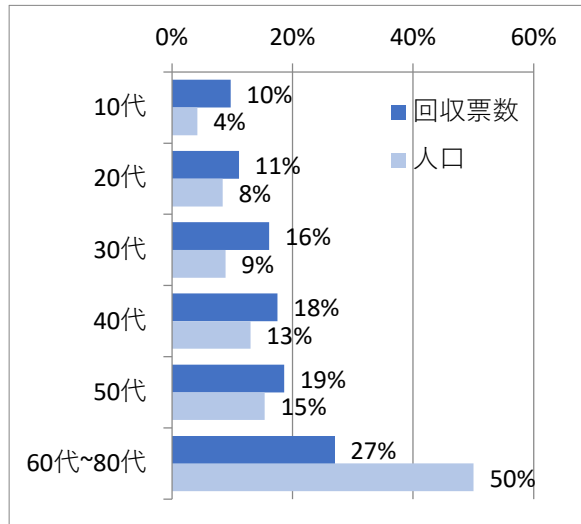


図 回収票数と人口の割合

注：10代は15～19歳（以下同）

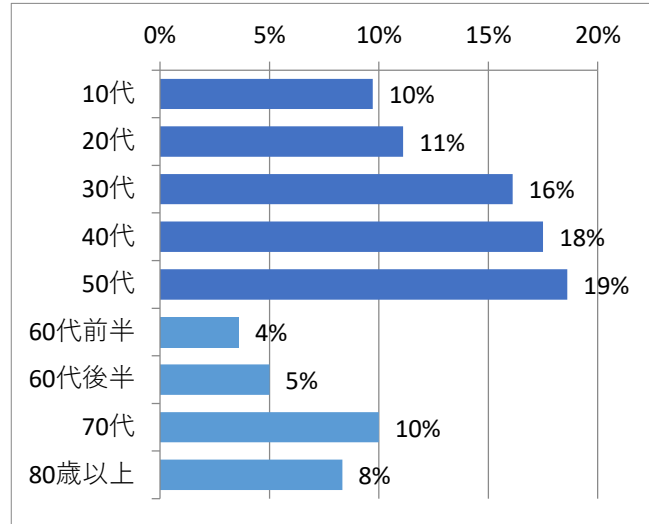


図 年齢の構成比（詳細）

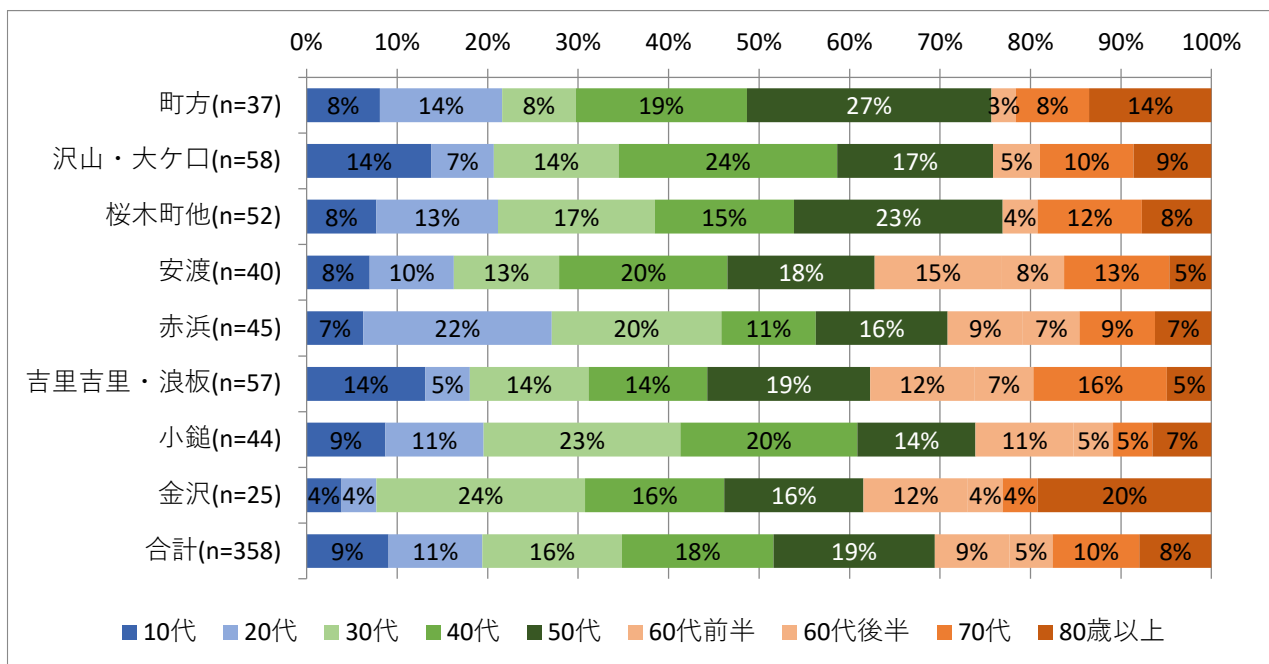


図 地区別の年齢構成

注：「n」は回答数（以下同）。

## （２） 性別

回答者に占める男女の割合は、男性が 40%、女性が 60% で女性の回答が多い。

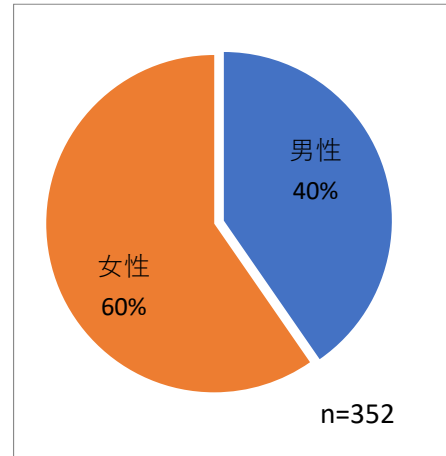


図 性別

## （３） 職業

職業は、「会社員・公務員・団体職員」が 42%を占めて多い。次いで「無職」が 20%をしめる。

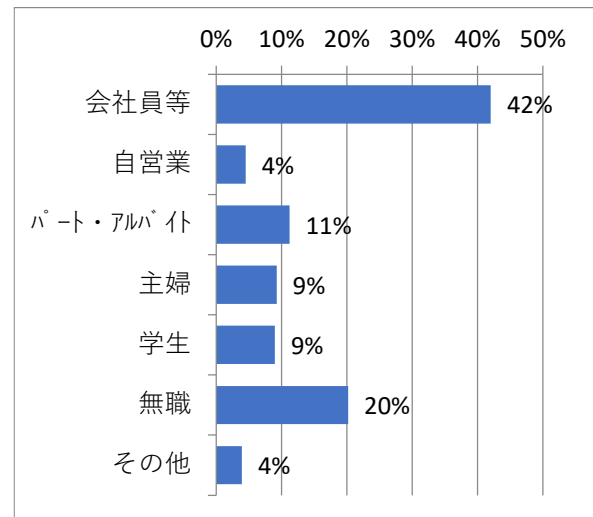


図 職業

#### (4) 地区

回答は、「沢山・大ケ口」と「吉里吉里・浪板」が 16%を占めて比較的多いが、「金沢」を除いて10%を超え、平均的に回答が得られている。

実際の人口構成比と比較すると、「吉里吉里・浪板」と「桜木町・花輪田・臼沢地区」は 35%を超えて高く、関心が高いことが伺える。一方で、「金沢」「町方は 21%にとどまる。

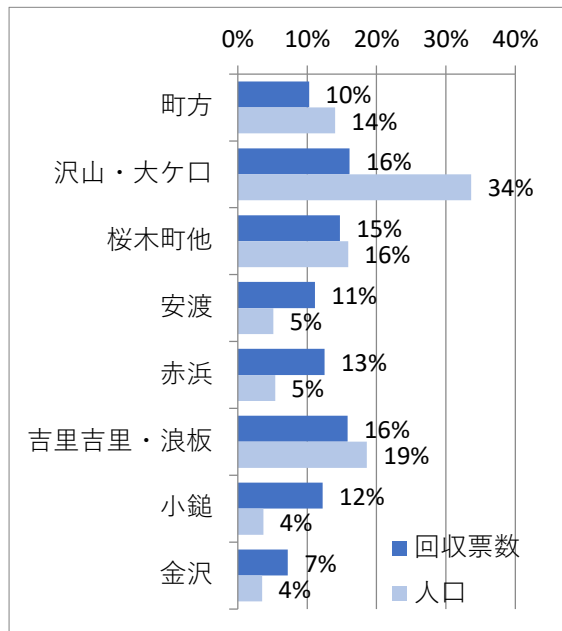


図 地区別の構成比

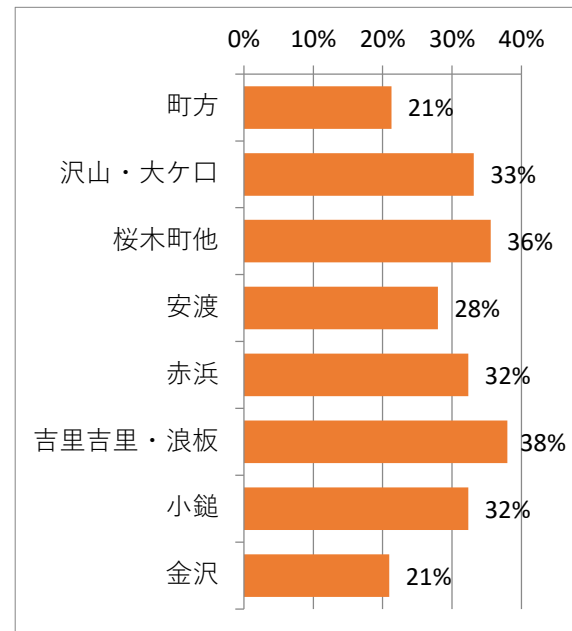


図 地区別の回収率



## (5) 世帯の構成

世帯構成は、「2 世代世帯（親と子）」が 47%を占めて最も多く、過半数を占める。次いで、「1 世代（夫婦のみ）」が 24%と多い。「単身世帯（ひとり暮らし）」は 12%である。

「その他」には兄弟姉妹で住んでいるという回答が多く含まれる。

年齢が高くなるほど、「1 世代世帯（夫婦のみ）」が増える傾向がみられる。特に 60 代になると「1 世代世帯（夫婦のみ）」は 48%と半数近くを占める。

「単身世帯（ひとり暮らし）」は 10 代を除いてどの世代でも一定数いるが、特に 80 歳以上は多く 23%を占める。

地区別にみると、町方と安渡は単身世帯率が高く、17%、16%を占める。一方で金沢や桜木町・花輪田・臼沢、沢山・大ケロは単身世帯率が低い。

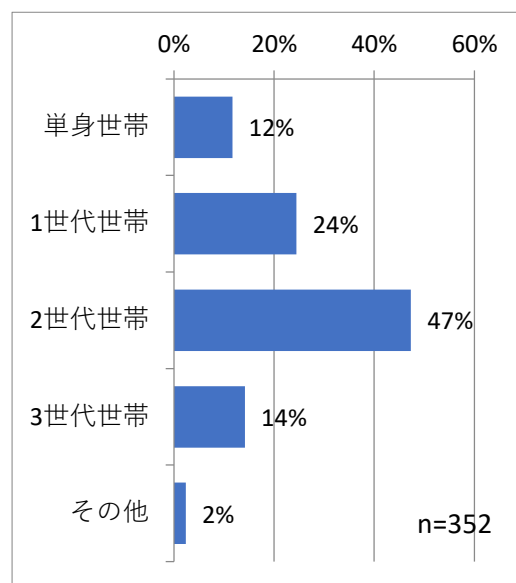


図 世帯構成

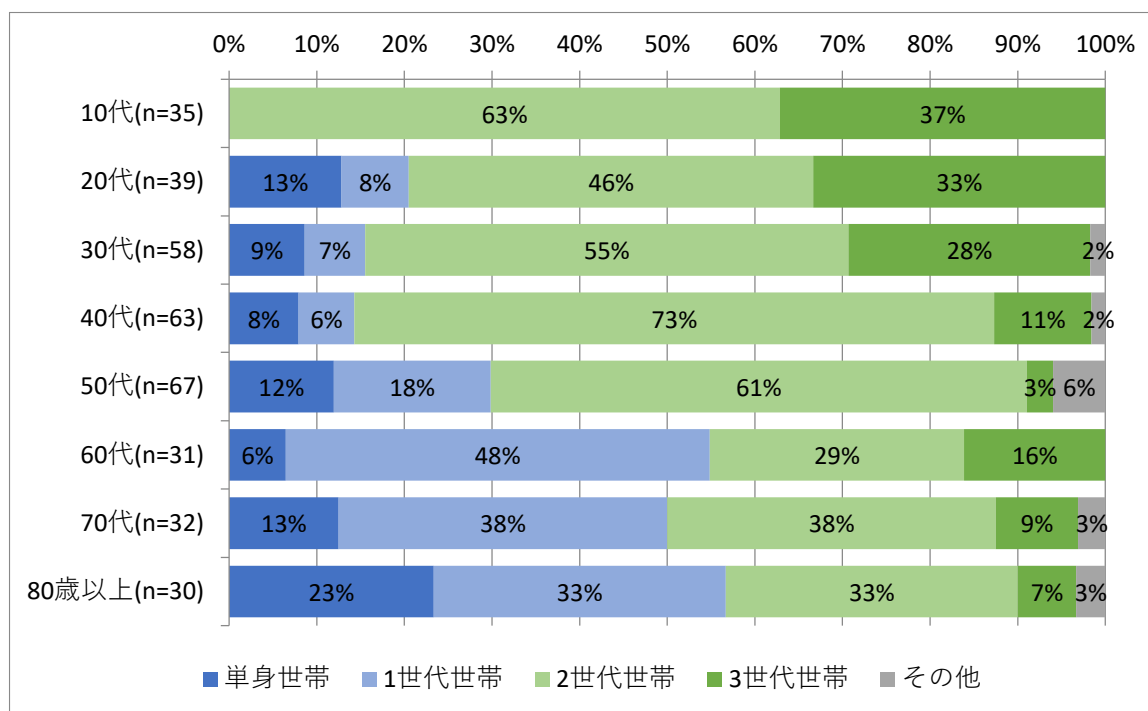


図 年齢別の世帯の構成

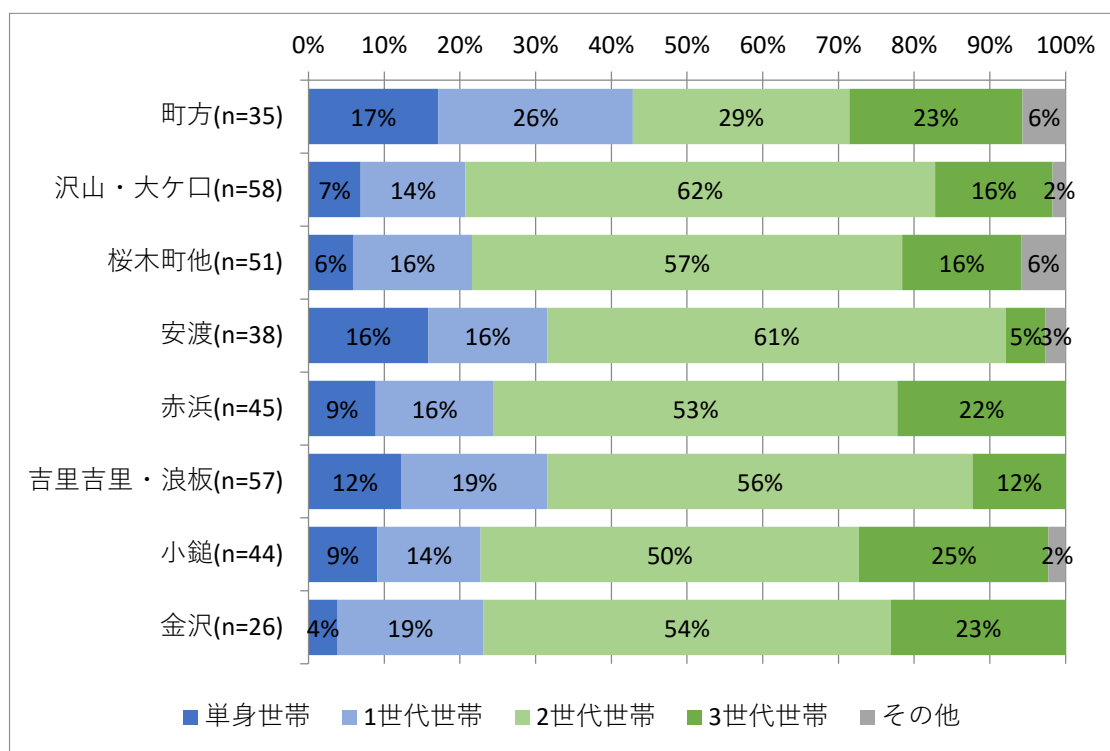


図 地区別の世帯の構成

#### (6) 世帯で所有する乗用車の台数

乗用車の所有台数は、全体では「2台」が35%と最も多い。「持っていない」は12%である。

世帯構成別にみると、「持っていない」割合は単身世帯で35%と高い。1世代世帯も14%が持っていないと回答している。

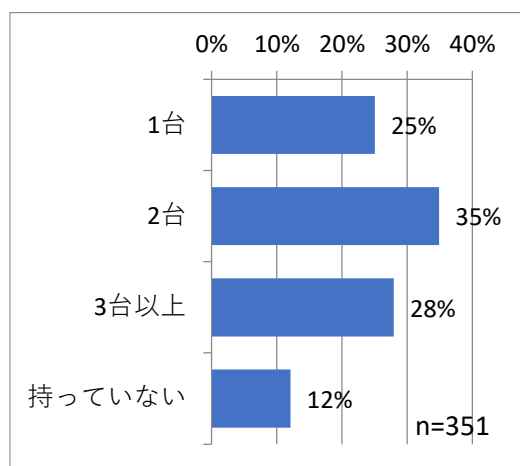


図 世帯で所有する台数

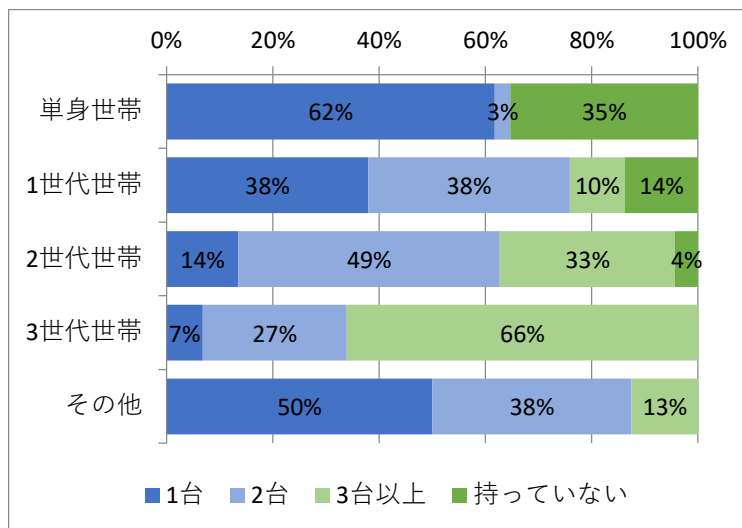


図 世帯構成別の車両台数

### 3. 自動車運転免許について

#### (1) 自動車の運転免許の保有状況

男性の免許保有率は 88%に対して、女性は 62%である。年齢別にみると、男性は 70 代でも 92%、80 歳以上も 86%と高いのに対して、女性は 70 代は 39%まで下がる。ただし、女性の 60 代後半の保有率は 67%と大半が免許を持っていることから今後は女性 70 代の免許保有率も高まることが予想される。免許の返納は、男女とも 80 歳以上のみ行われており、男性は 14%、女性は 6%である。

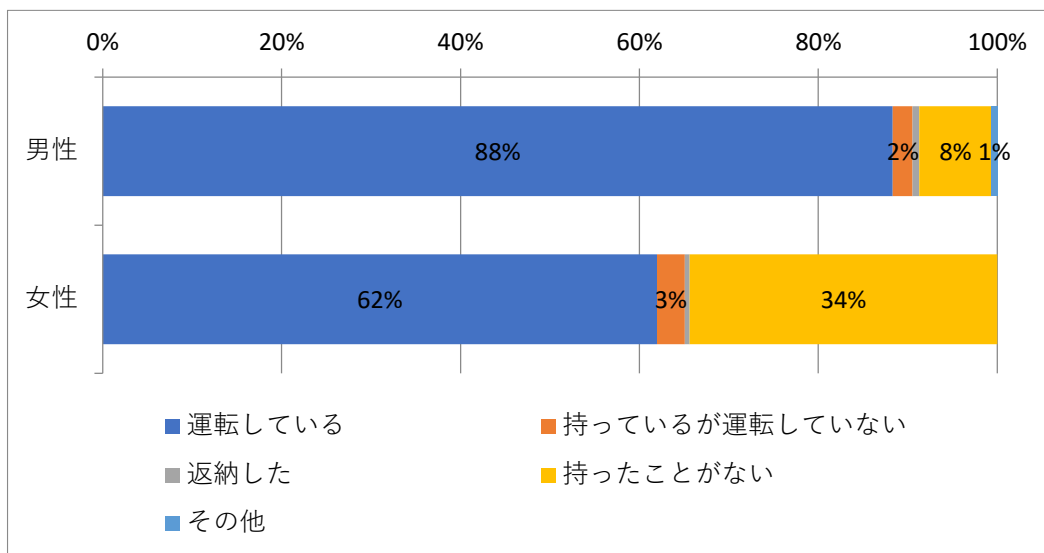


図 自動車の免許保有状況

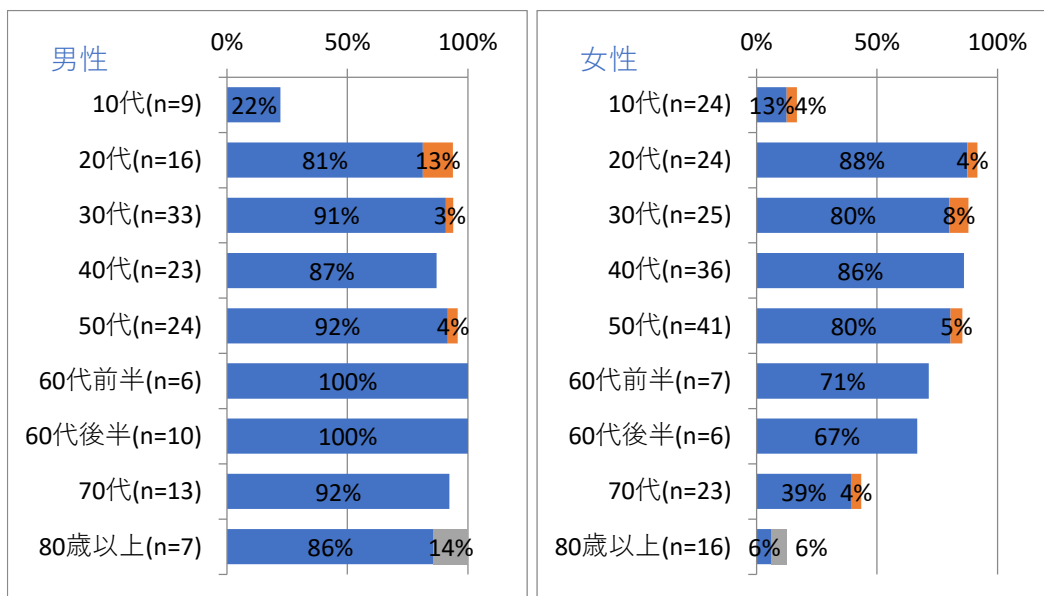
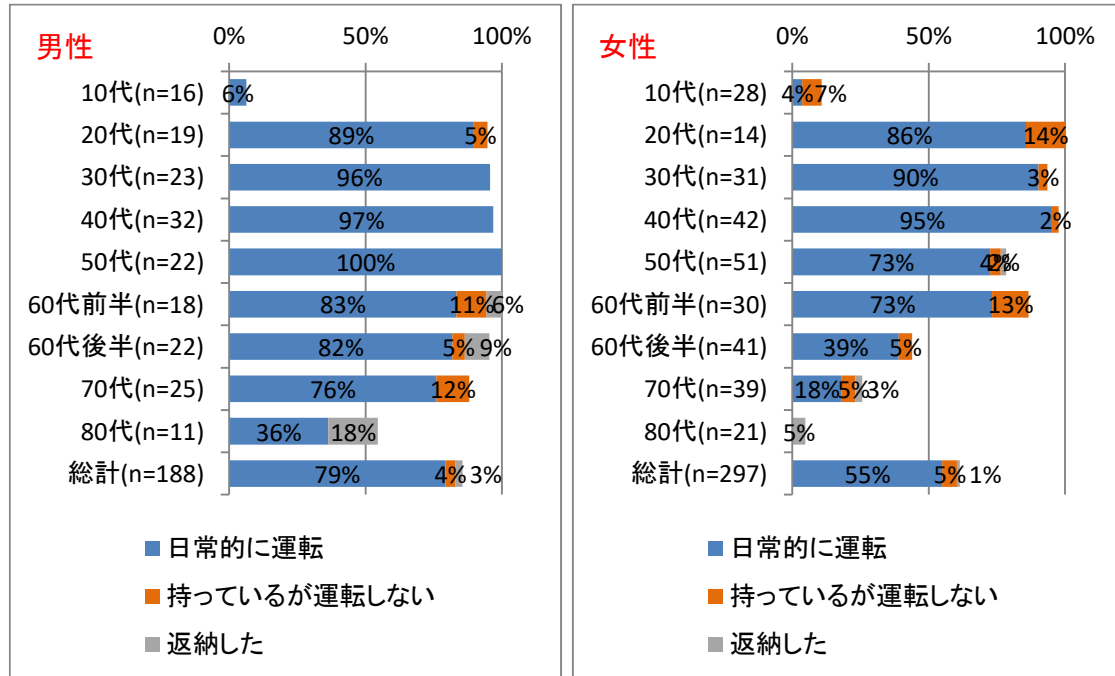


図 免許保有率と返納率

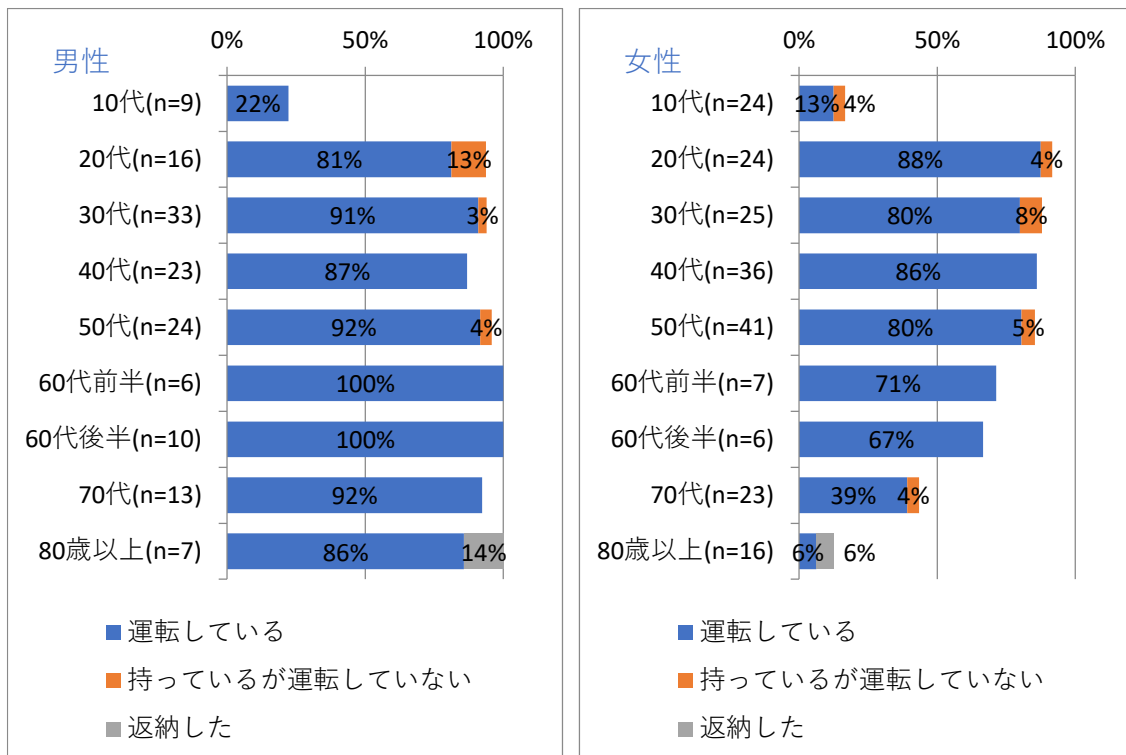
## （２）自動車の運転免許の保有状況【５年前との比較】

５年前と比較すると、男女とも免許保有率は高まっている。特に８０代では、「日常的に運転している」割合は、男性は５年前は３６%だったのが８６%まで増えている。

（平成 27 年度のアンケート調査結果）



（令和 3 年度のアンケート調査結果）



### （３）バイクの運転免許の保有状況

バイクについては、自動車と比べて免許の保有や運転状況は低い。男性の免許保有率は 11%、女性は 2%である。「持っているが運転していない」という割合も比較的高い。

年齢別にみると、男性は 80 歳以上は 33%が運転している、女性は 60 代前半が 20%運転している。

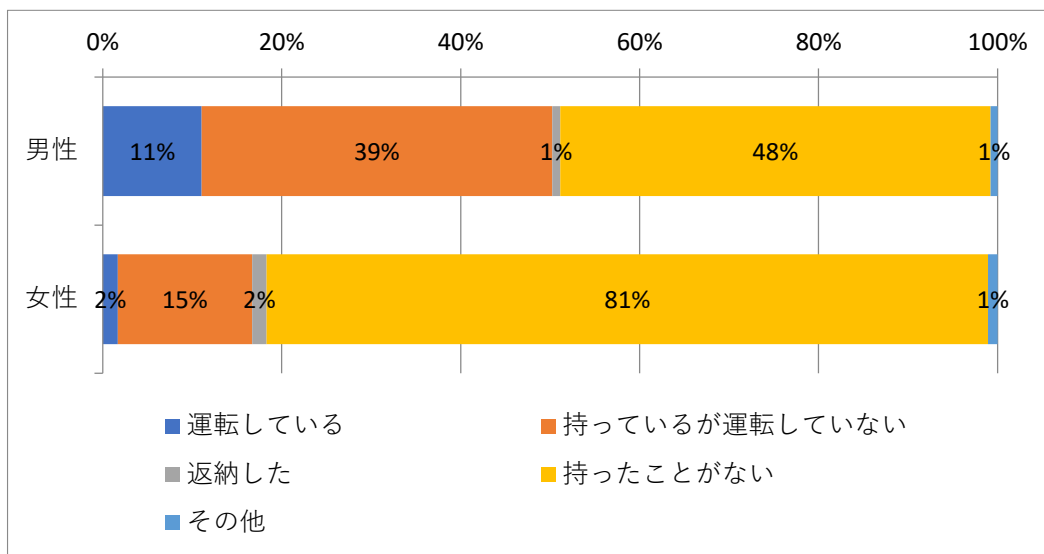


図 バイクの免許保有状況

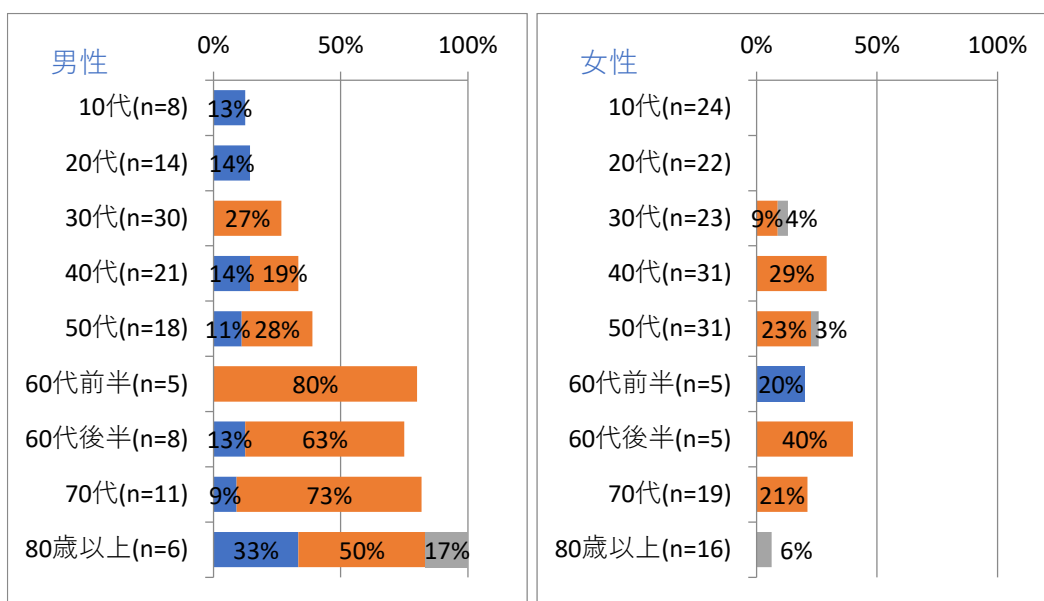


図 バイクの免許保有率と返納率

注：回答数が 6 未満の場合は参考値として掲載（以下同）

## 4. おでかけについて

### (1) お出かけ<sup>1</sup>回数

お出かけ回数は、「ほぼ毎日」が51%と半数を占める。次いで、「週に1～2日」が19%と多い。

男女別にみると、男性の方がお出かけ回数は多い。特に60代以上の女性のお出かけ回数が少なくなっている。

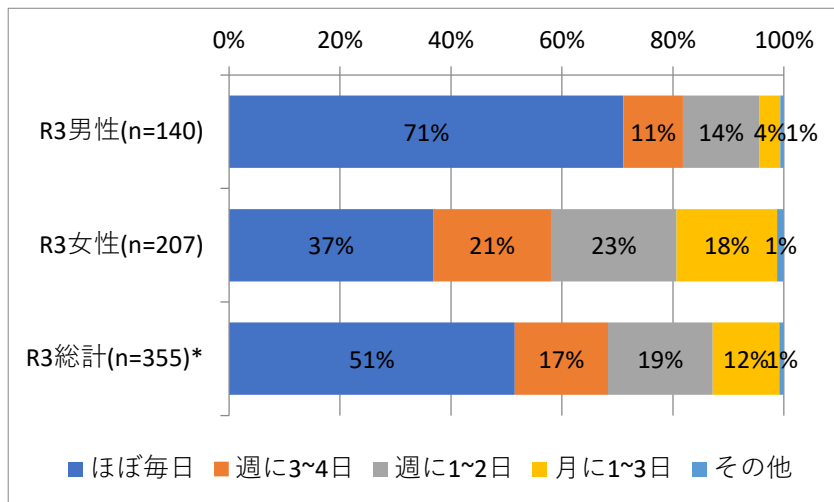


図 お出かけ回数

### (年齢別)

年齢別にみると、50代をピークに多くなっており、60代以降は減少傾向をたどる。特に80歳以上は、「月に1～3日」が50%と多くなっている。

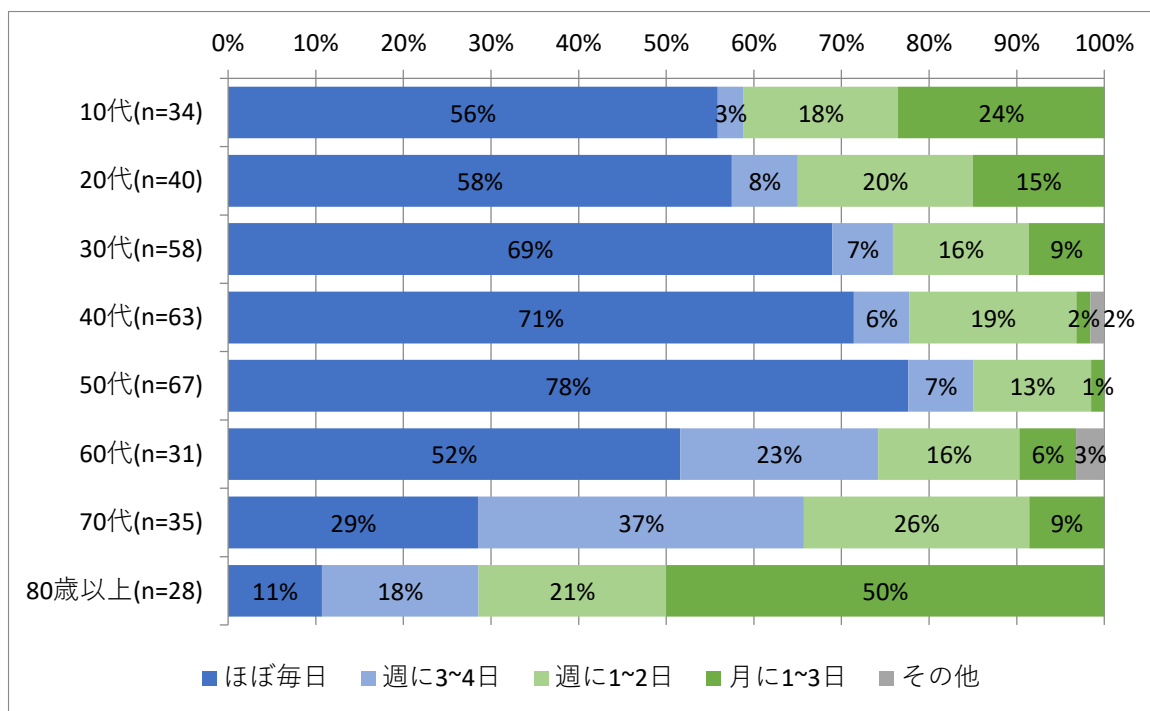


図 年齢別のお出かけ回数

<sup>1</sup> 通学や通勤、通院、買い物、娯楽などを指し、家の周りのお散歩や畑作業などの外出を除く外出

(性別)

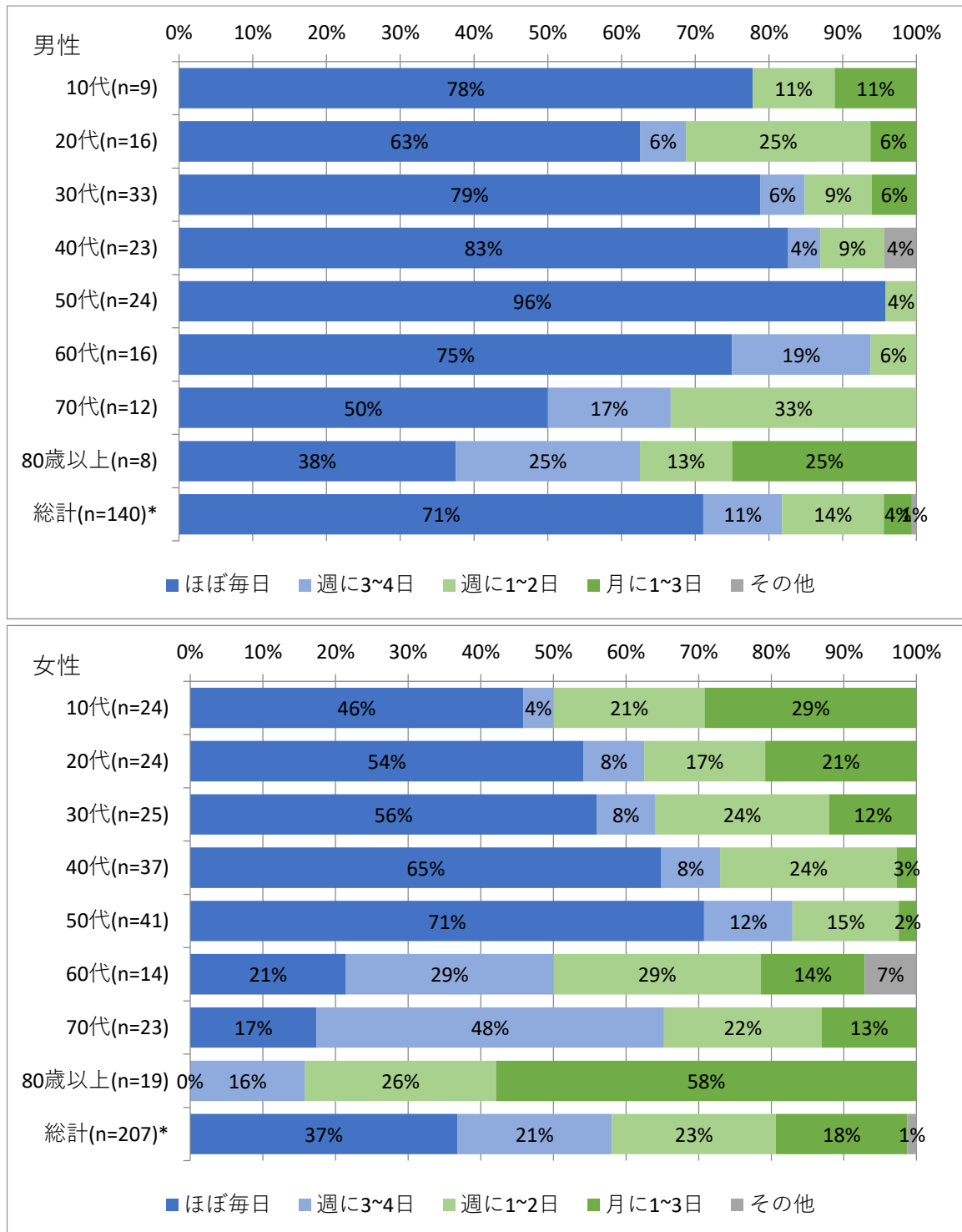


図 性別のお出かけ回数

（自動車の運転状況別）【5年前との比較】

日常的に運転している人と運転していない人<sup>2</sup>のお出かけ回数を比べると、運転している人は「ほぼ毎日」が65%と多いのに対して、運転しない人は22%まで減少する。

さらに5年前と比較すると、運転している人は「ほぼ毎日」が80%だったが65%まで減少している。これは運転者の高齢化とともにコロナによる影響によると考えられる。。反対に、運転しない人は「ほぼ毎日」が27%から22%に微減している。一方で「月に1~3日」は増えており、全体的に外出頻度は減少している。

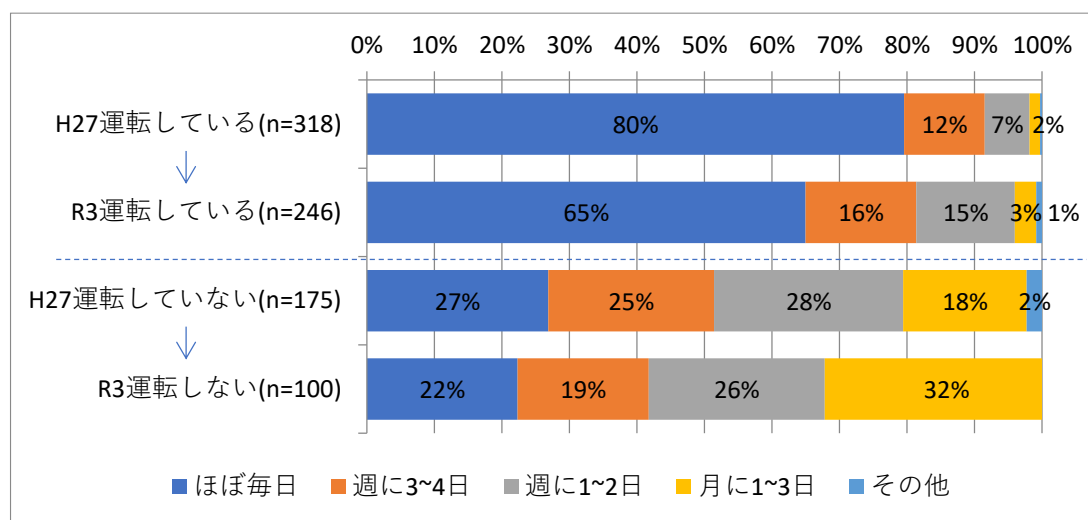


図 自動車の運転状況別のお出かけ回数

（2）計画目標①『車を運転しない人のお出かけ回数が「週に3~4日以上」の割合』

計画目標としている「車を運転しない人のお出かけ回数」を比較すると、男性は大幅にお出かけ回数が増えているが、女性は減少している。

年代別にみると、男性はどの年代でも「ほぼ毎日」が増えているのに対して、女性は10~20代の「ほぼ毎日」が大きく減少している。

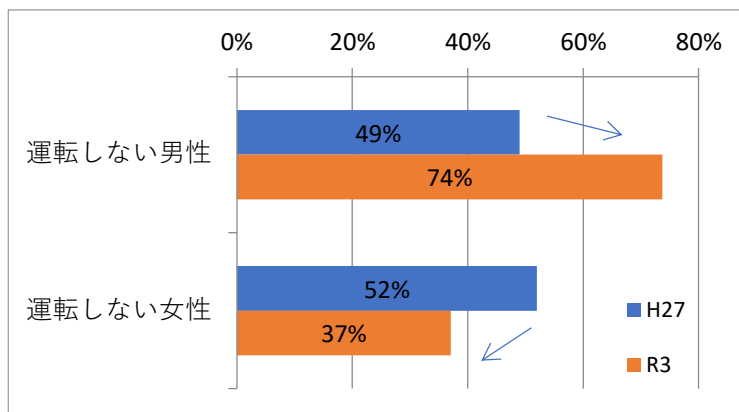


図 お出かけ回数

<sup>2</sup> 「免許は持っているが運転していない」「返納した」「持ったことがない」の合計



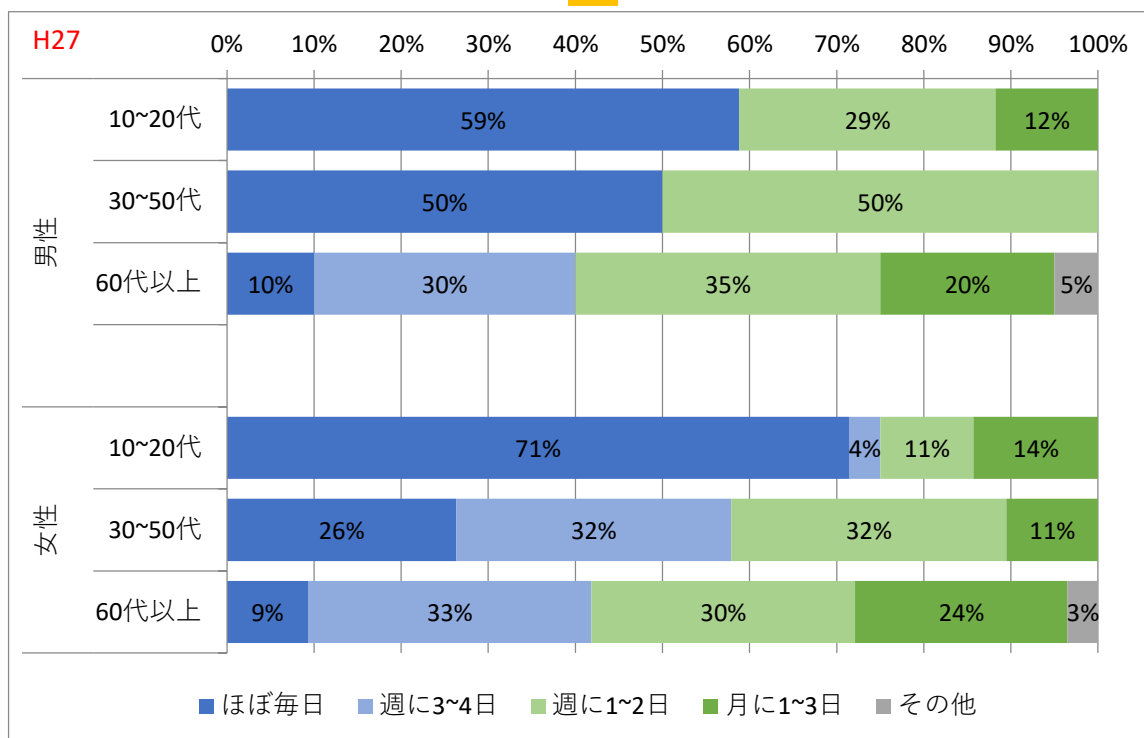
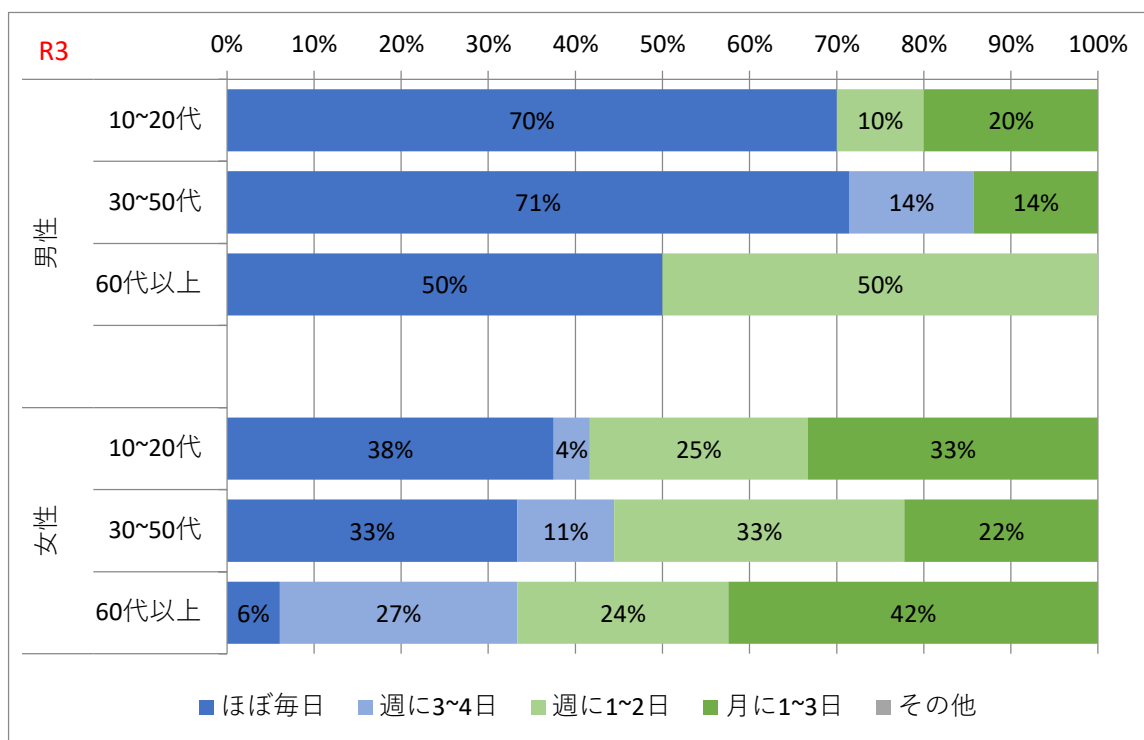


図 車を運転しない人のお出かけ回数の変化

(参考：平成 27 年度のアンケート調査結果より)

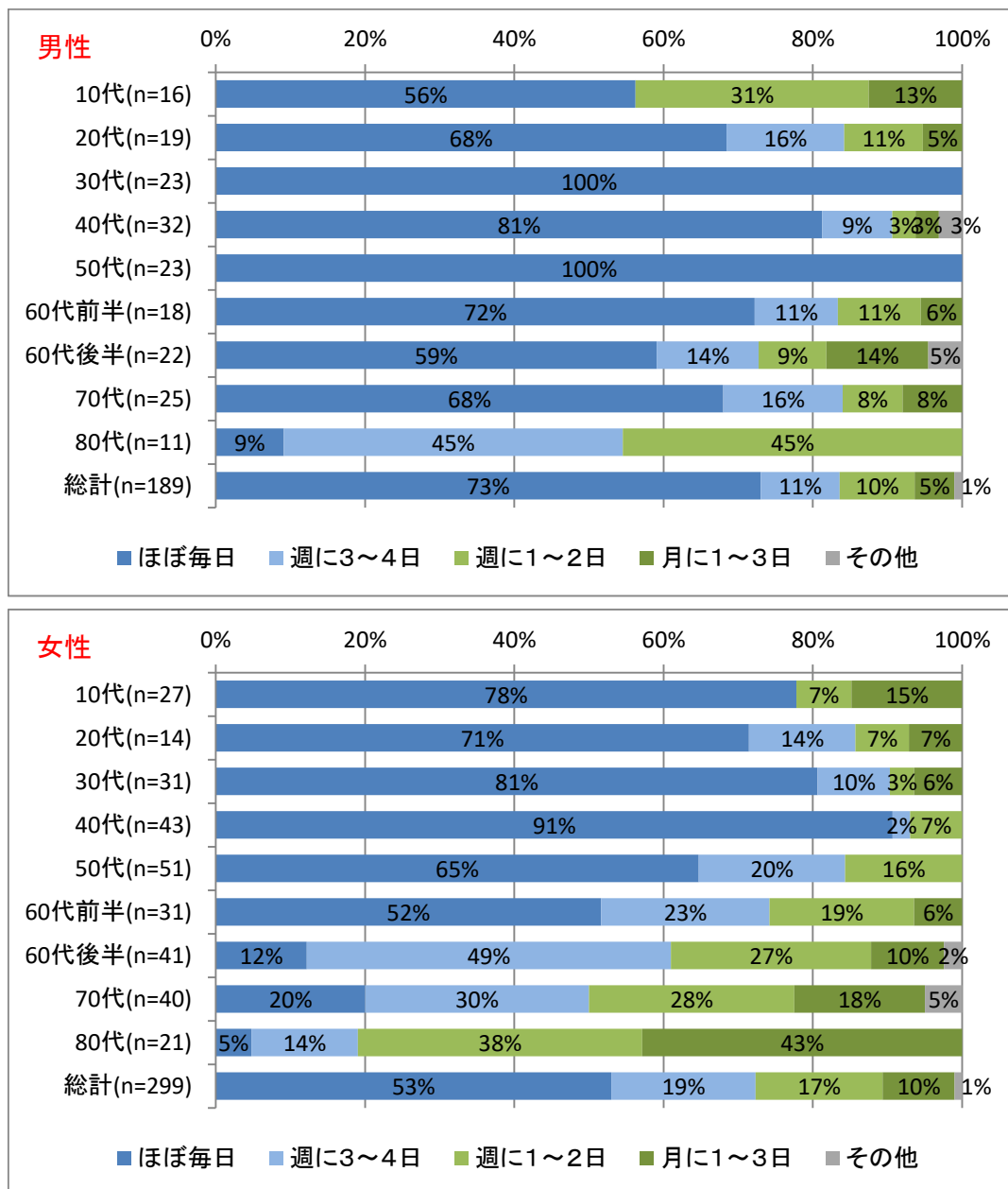


図 性別・年代別のお出かけ回数

### （３）身近に通院や買い物などへ送迎してくれる家族や知人がいるか

身近に送迎をしてくれる人がいるかについては、「同居している家族や親戚（69%）」が最も多い。ついで、「頼める人はいない（18%）」が多くなっている。

身近に送迎をしてくれる人がいない割合を世帯構成別にみると、単身世帯（ひとり暮らし）は「送迎を頼める人はいない」は58%を占めて多くなっている。「1世代世帯（夫婦世帯）」も36%を占めて多い。

高齢になるほど「同居している家族や親戚」の割合は減り、「送迎を頼める人はいない」が増える傾向となっている。特に80代では、「頼める人はいない」は37%である。

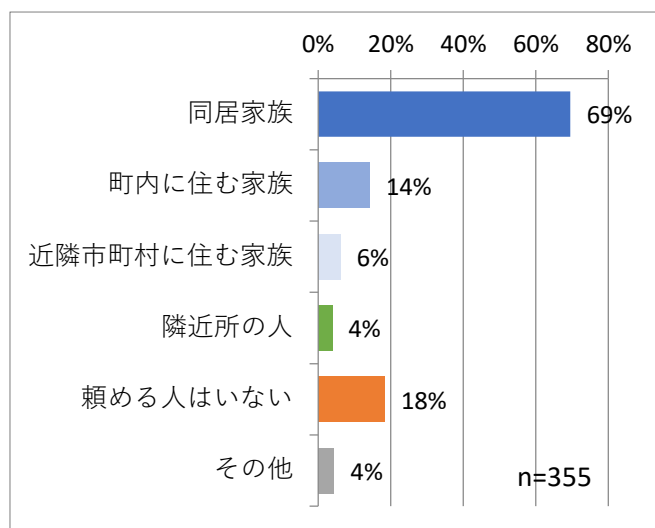


図 送迎してくれる家族や知人がいるか  
(複数回答)

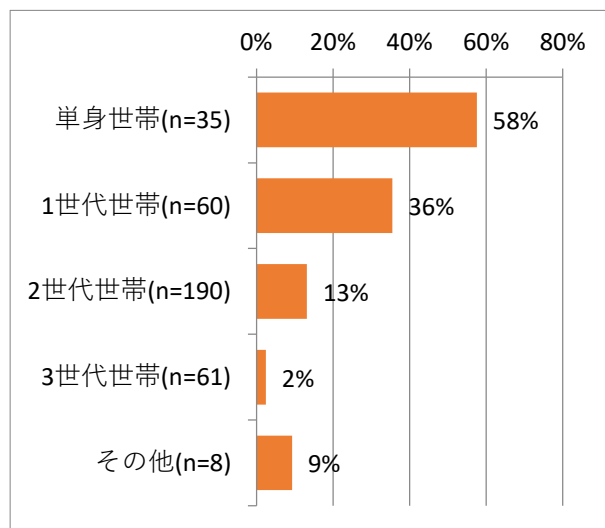


図 送迎してくれる人がいない割合

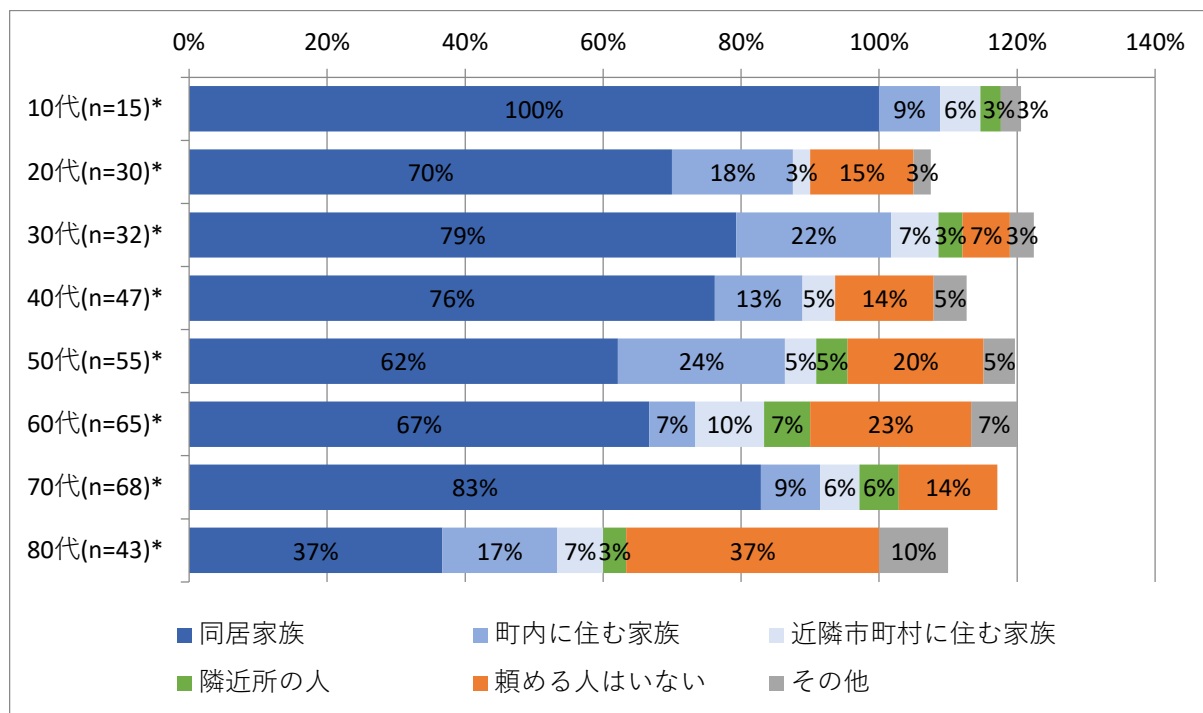


図 年齢別の送迎してくれる家族や知人がいるか（複数回答）

## 5. 通勤や通学の状況

### (1) 通勤や通学をしている人の割合

全体では、「通勤をしている」が 51%、「通学をしている」が 4%を占める。

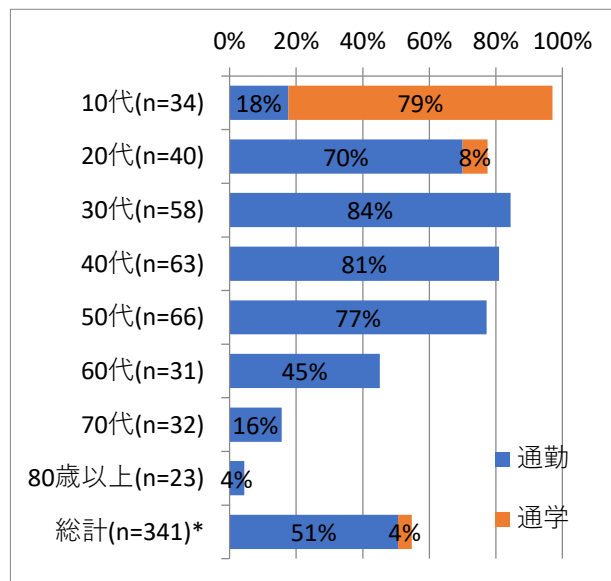


図 通勤や通学をしている人の割合

### (2) 通勤や通学先

通勤先は 49%が「町内」である。次いで「釜石市内」が 40%を占める。その他としては、宮古市や大船渡市が含まれる。

地区別にみると、金沢と安渡は「町内」の割合が 7 割を超えて多い。桜木町・花輪田・白沢は「釜石市内」が多い。赤浜は「山田町内」が比較的多い。

通学は回答数が少ないが、「町内」より「釜石市内」の通学者が多い。「その他」には県外が含まれる。

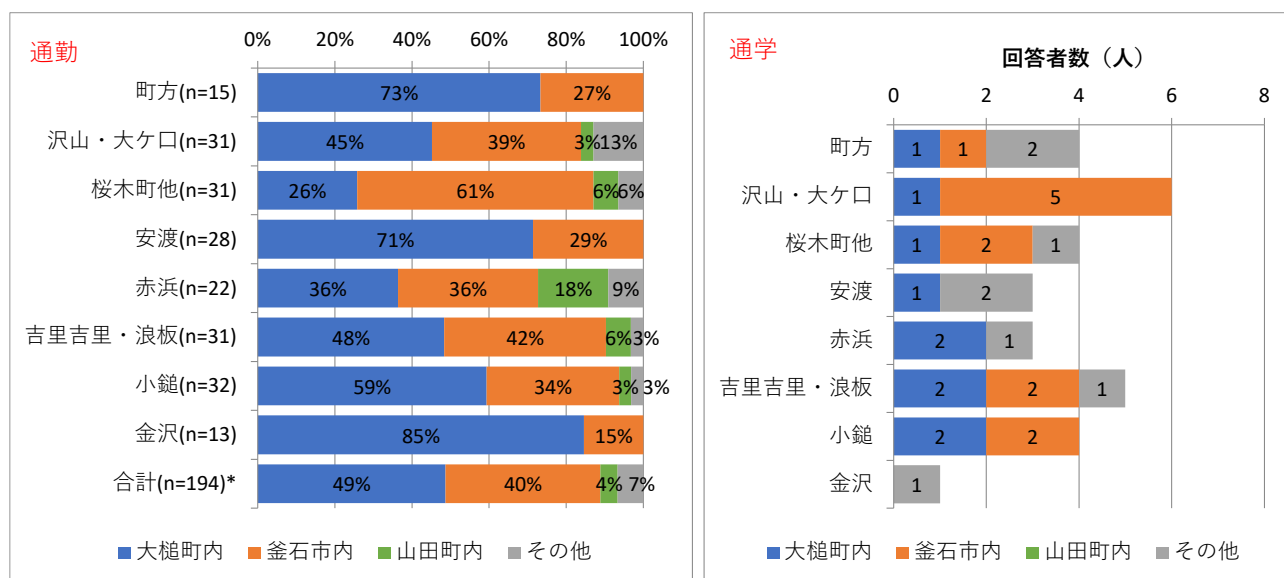


図 通勤先と通学先

### (3) 通勤・通学の交通手段

通勤・通学方法は 78%が「自動車(自分で運転)」で占められている。

学生も含まれる 10 代は、「県交通バス」が 19%、「三陸鉄道」が 3%を占めるが、「自動車(家族の送迎)」が 56%を占めて多い。「その他」には、「会社の送迎バス」が含まれる。

平成 27 年度と比較すると通学の公共交通利用が減少している。一方で 20 代や 30 代の公共交通利用がみられる。

地区別にみると、沢山・大ケロは県交通や町民バスの利用度が比較的高い。一方で、赤浜と金沢は公共交通をほとんど利用できていない。

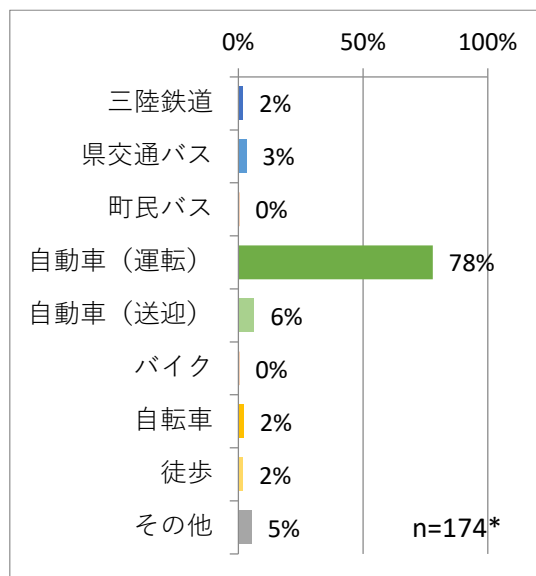


図 通勤・通学方法

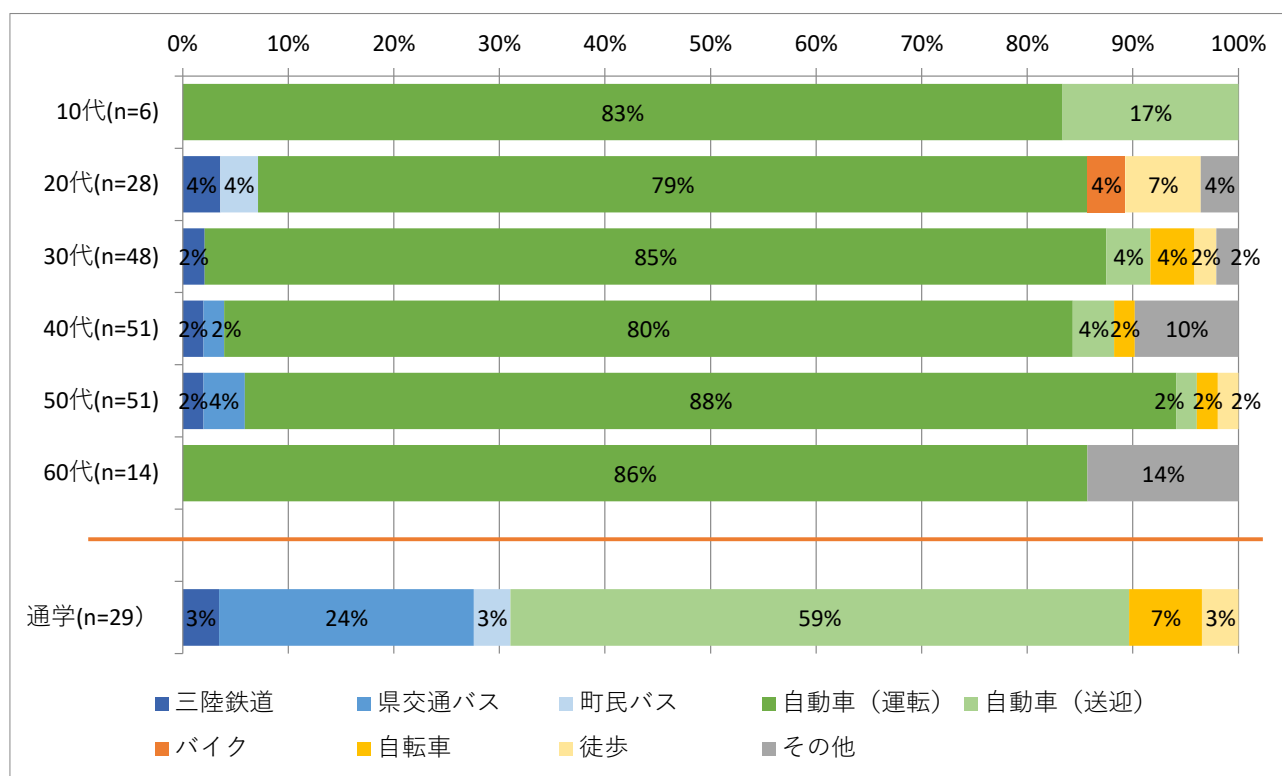


図 通勤・通学の方法(年齢別)

(参考) 平成 27 年度アンケート調査結果

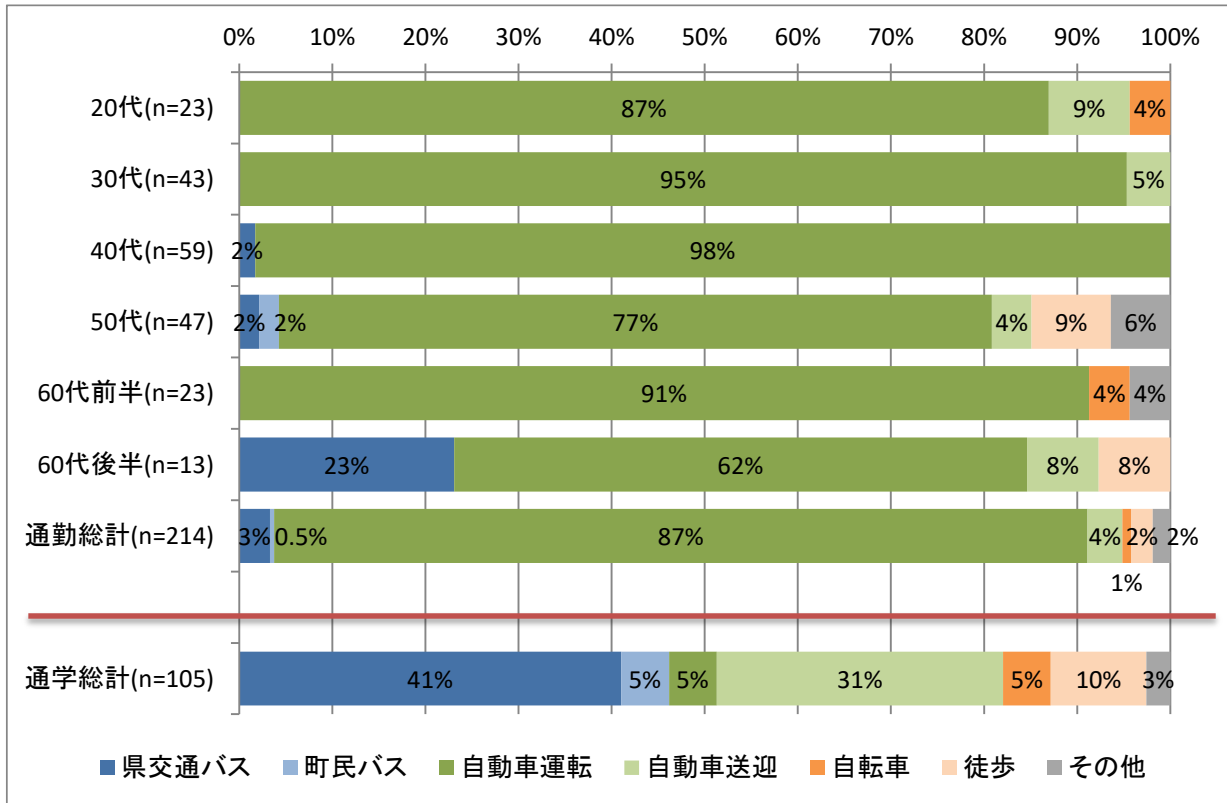


図 通勤・通学の方法（年齢別）

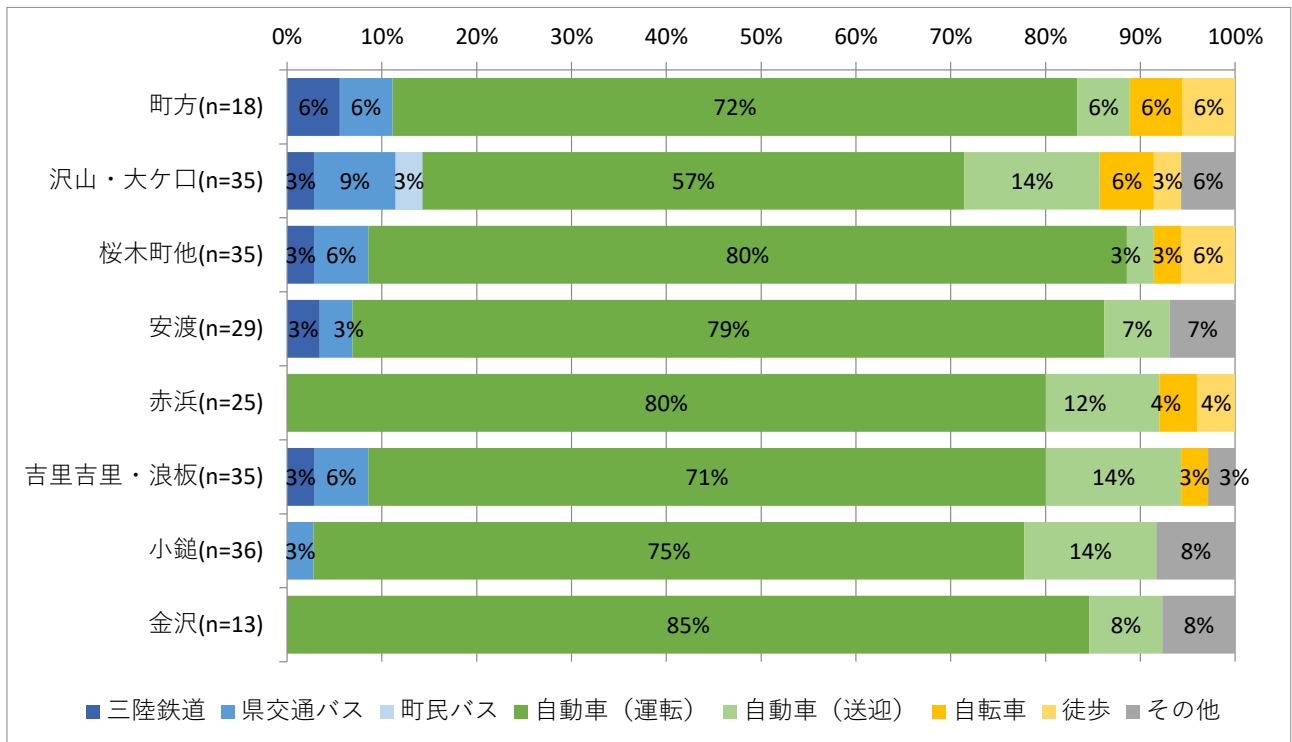


図 通勤・通学の方法（地区別）

## 6. 通院の状況 ～通院方法～

### (1) 通院の状況と通院先

通院は、全体では63%が「定期的に通院している」と回答している。

年代別にみると高齢になるほど「定期的な通院」が増え、60代では90%が通院している。

通院先としては、「釜石市内の病院」は31%が通院しており、最も多い。次いで「植田医院」が28%と多い。地区別では、小湊や金沢は植田医院が半数近くを占めて多く、吉里吉里・浪板は「おおのクリニック」、安渡は「県立大槌病院」など地区によって通院先には差がみられる。

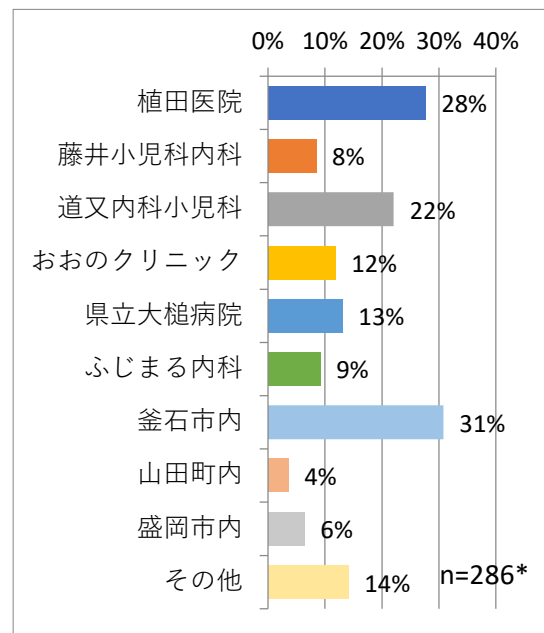
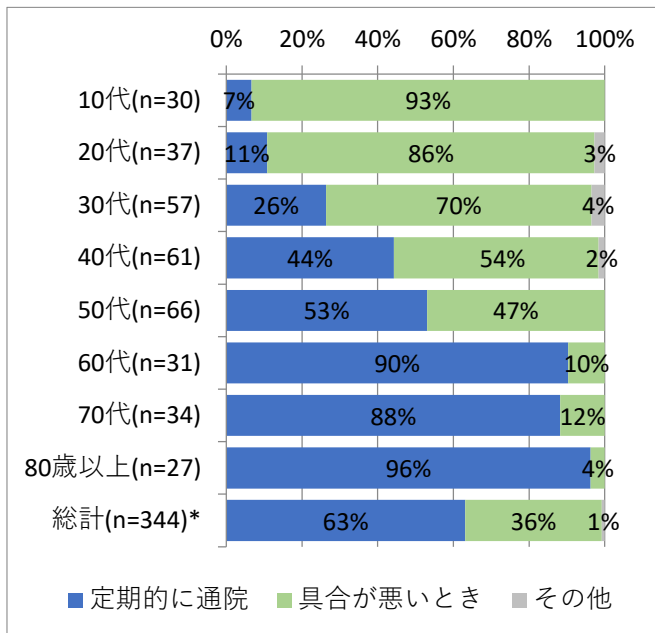


図 通院の状況

図 通院先（複数回答）

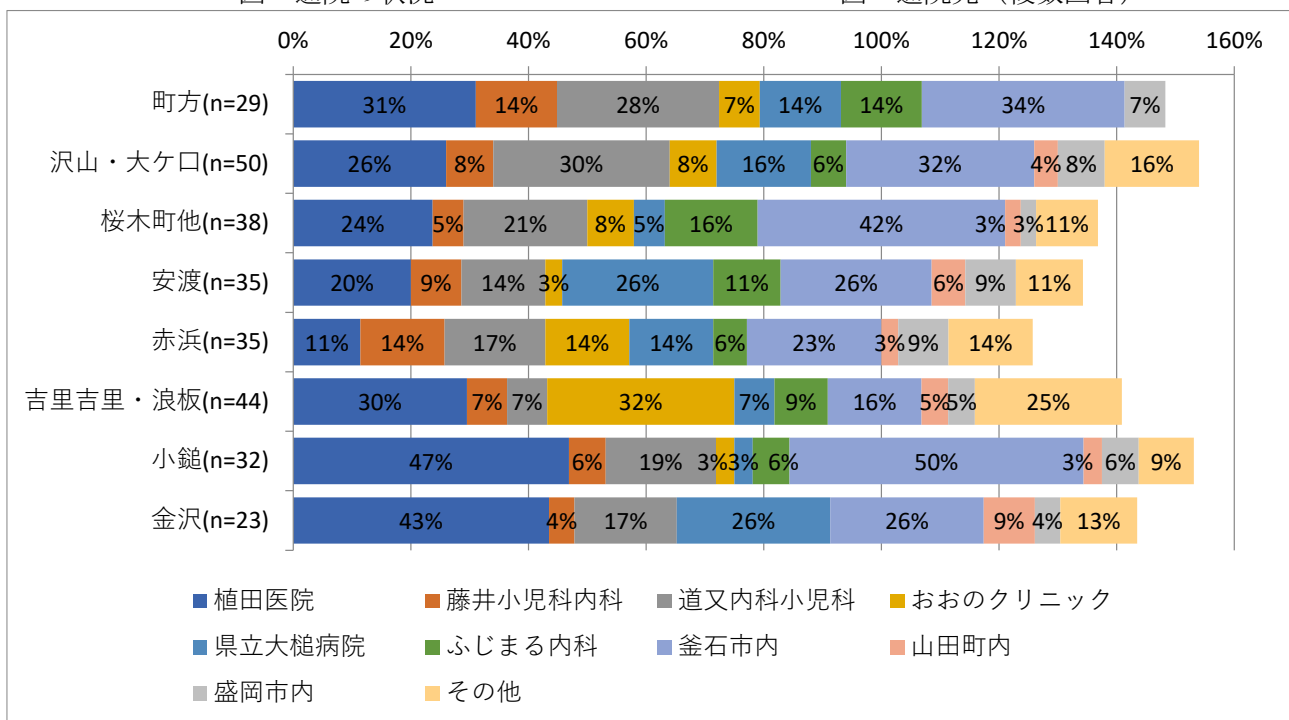


図 地区別の通院先（複数回答）

## （２）通院方法（車を運転しない人）

通院の方法は、「自動車（自分で運転）」が 63%、「自動車（家族が送迎）」が 19%を占めており、自家用車の利用が全体の 82%を占める。

次いで、「県交通バス」が 7%となっている。

地区別では、町方は「県交通バス」が 14%、桜木町他が 10%と比較的多い。金沢は「町民バス」が 19%利用して多いが、小鎚は 3%に留まる。

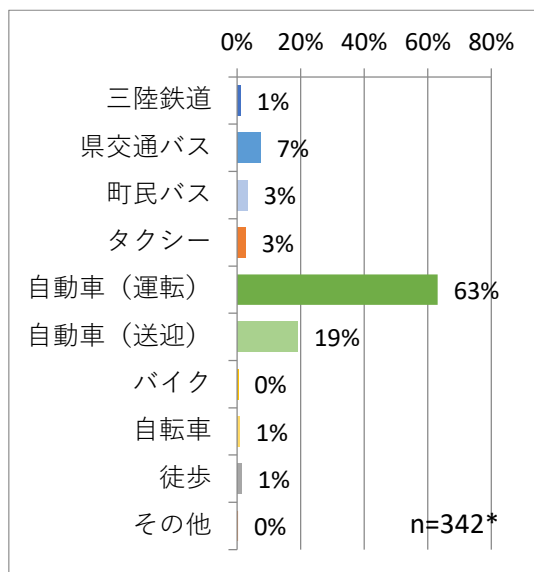


図 通院の方法

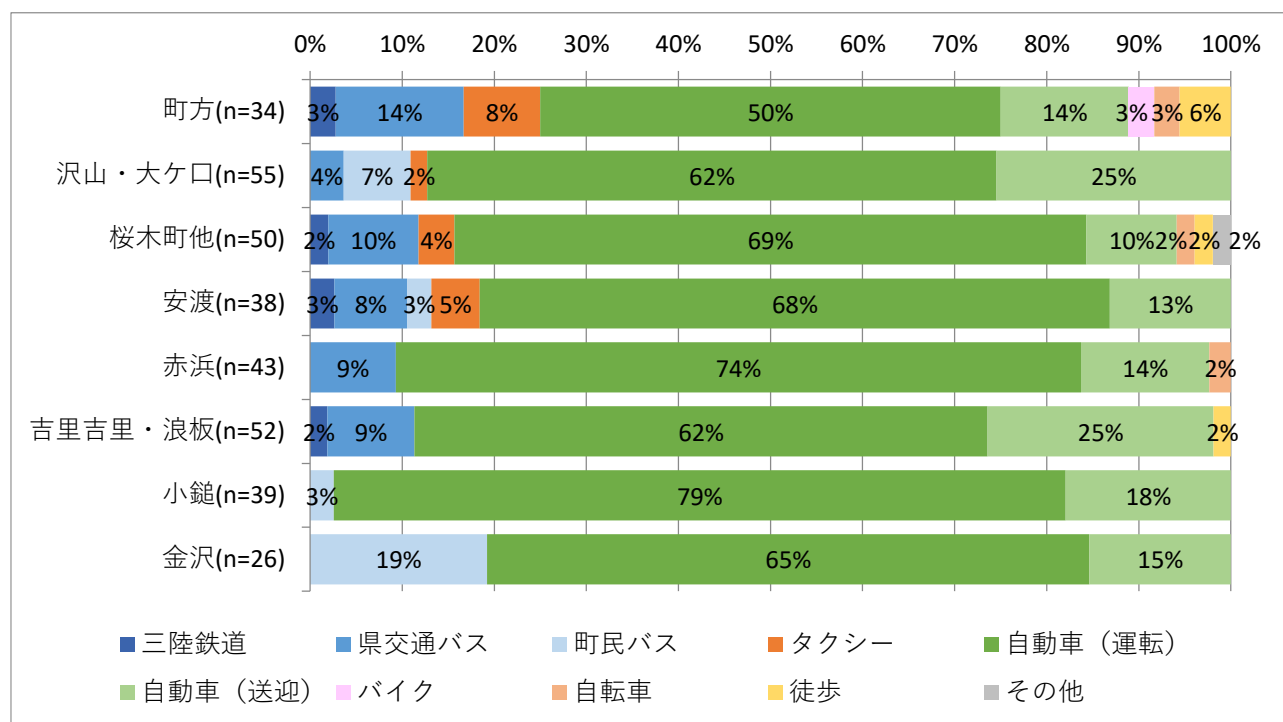


図 地区の別の通院方法



(車を運転しない人の通院方法)

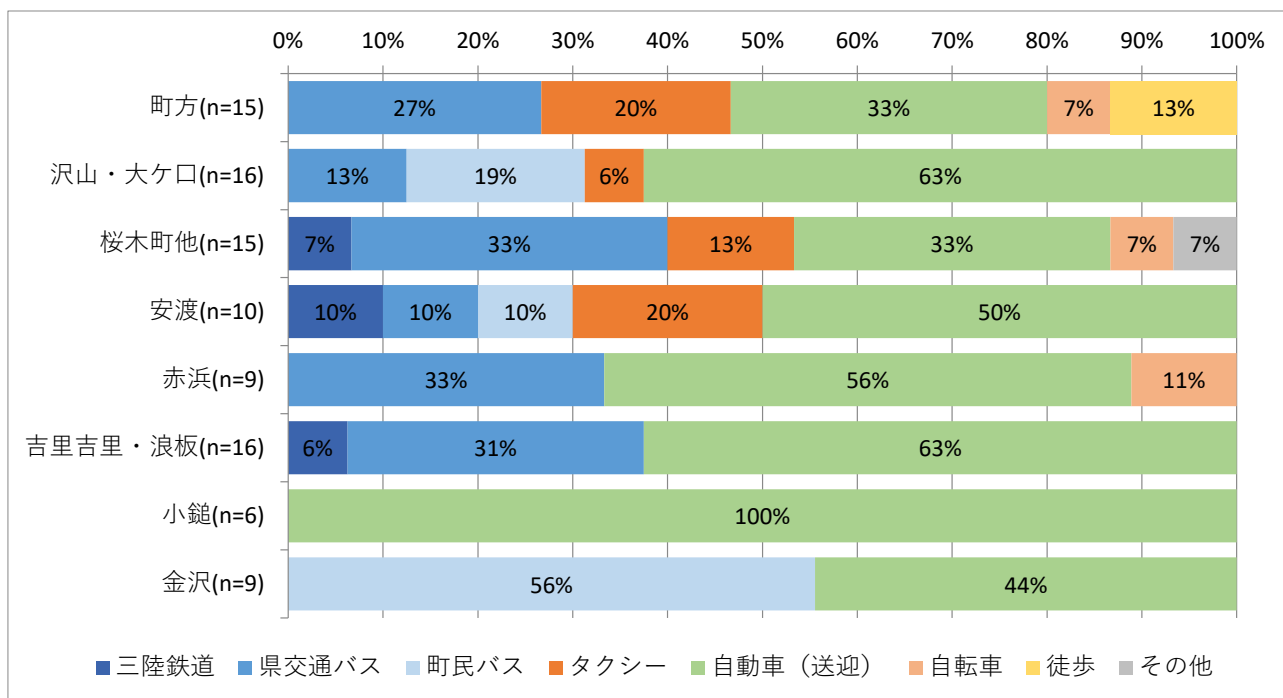


図 自動車運転しない人の地区別の通院方法

## 7. 買い物の状況

### (1) 買い物先

買い物先は、「マスト・ホームック」が 67%と多く、次いで「薬王堂」が 46%と半数近い人が利用している。

平成 27 年と比較すると、「薬王堂」や「その他」の割合が増えている。「その他」には、「ツルハドラッグ」や「コンビニエンスストア」が多く含まれる。

地区別でみると、沢山・大ケ口は「マスト・ホームック」より最寄りの「みずかみ」の利用の方が多く、桜木町他では「釜石市内」が 43%を占めて多いなど、地区によって買い物先が異なる傾向がみられる。

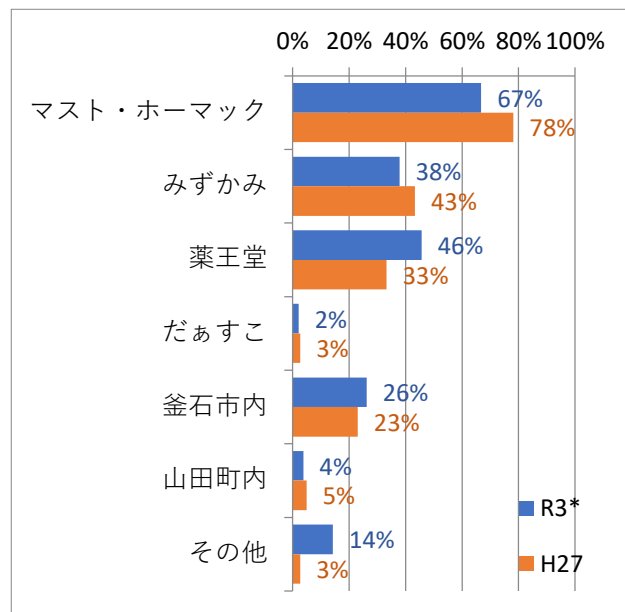


図 買い物方法（複数回答）

注：平成 27 年は「だあすこ」は「その他町内」

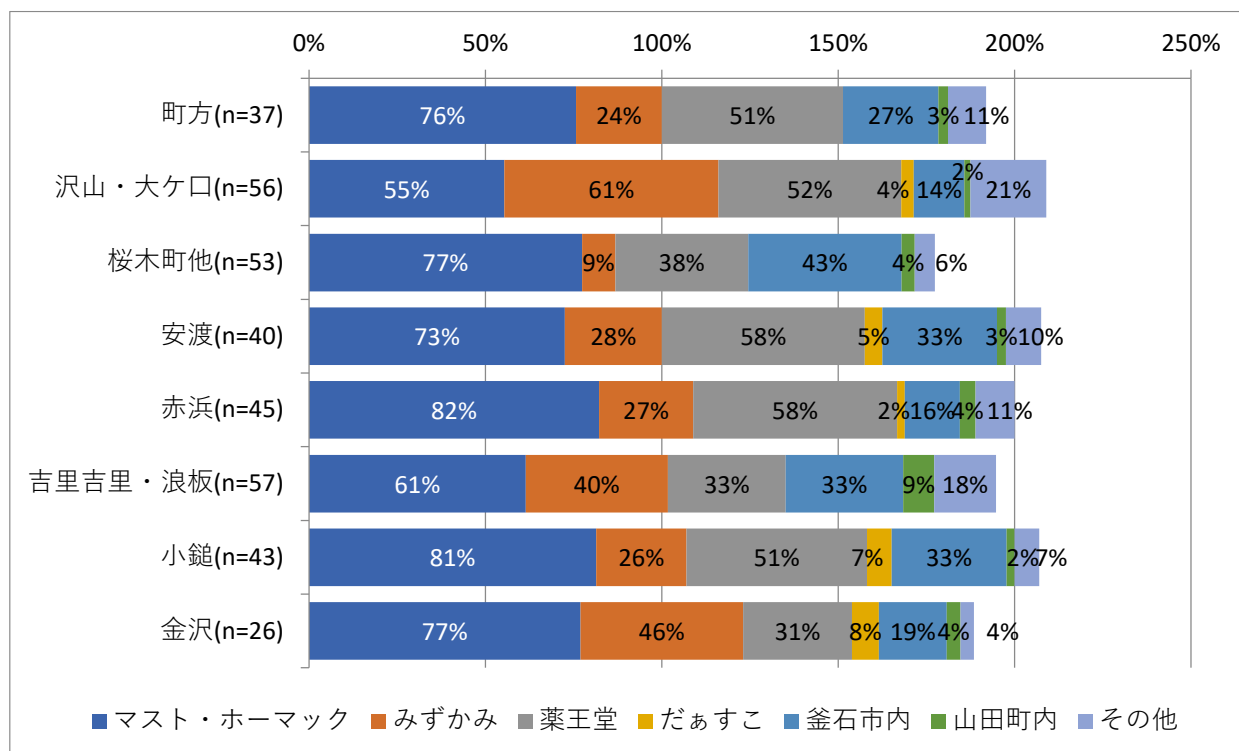


図 買い物先（複数回答）

## (2) 買い物の交通手段

買い物の手段としては、通院と同様に「自動車（自分で運転）」が69%、「自動車（家族が送迎）」が17%を占め、自動車の利用が大半を占める。

県交通バスの利用割合は、通院よりも減り、5%に留まる。

地区別では金沢は通院同様に町民バスを利用している人が15%いる。町方などでは三陸鉄道や県交通バスの利用が減り、徒歩や自転車利用が増えている。

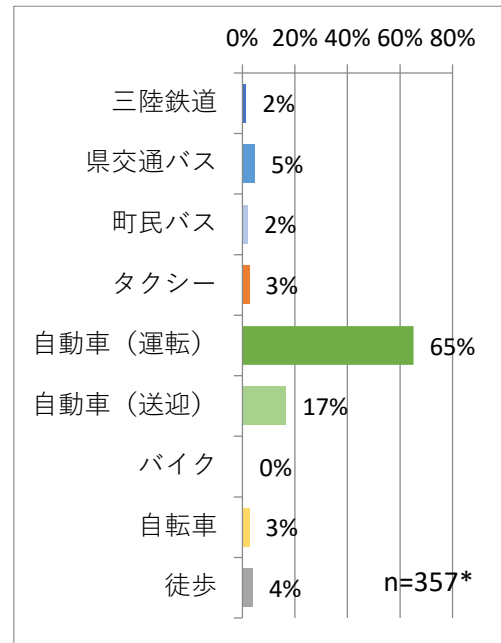


図 買い物の交通手段

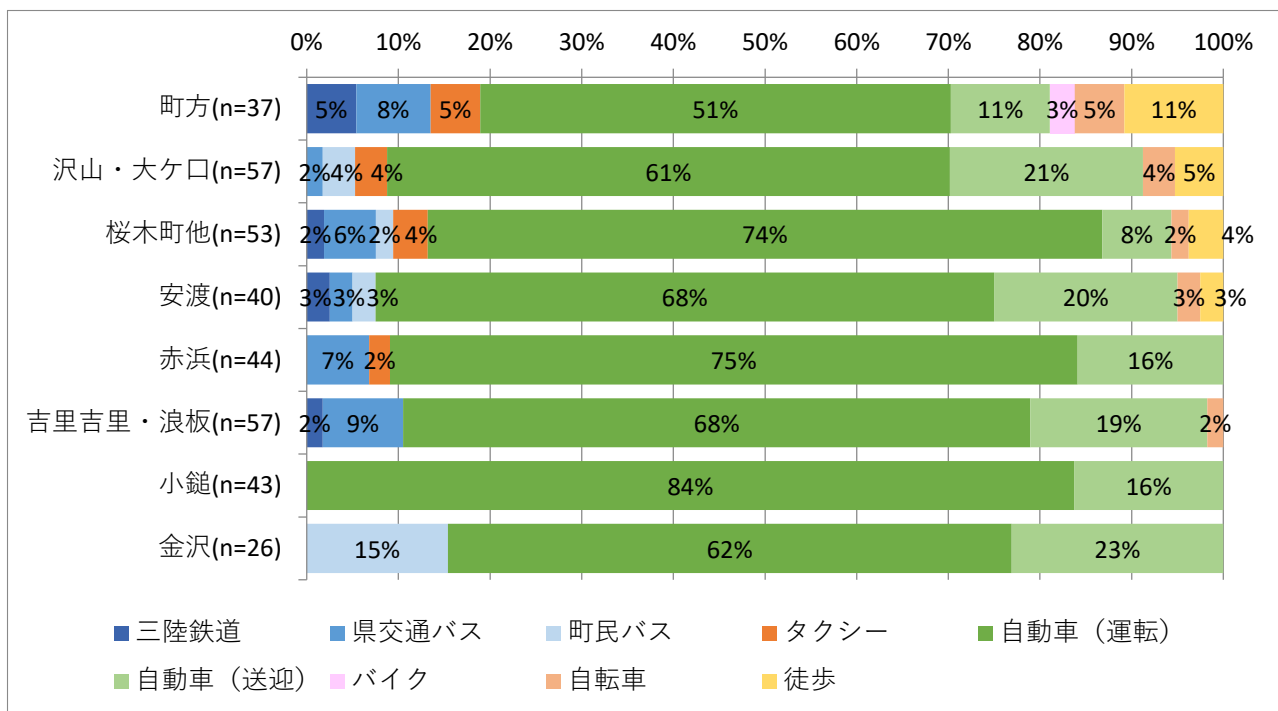


図 買い物の交通手段（地区別）

(再掲) 目的別の交通分担率

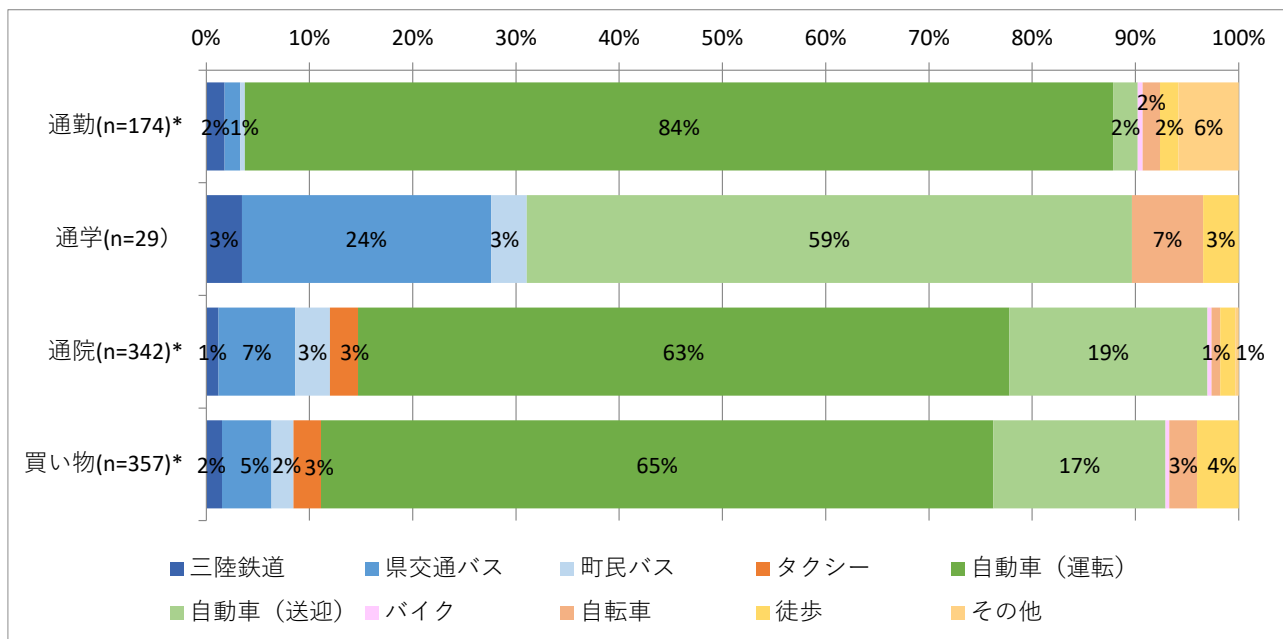


図 外出目的別の外出方法

## 8. その他の外出

その他の外出としては、「家族・親戚の家」が最も多く、次いで「金融機関」を挙げる人が多かった。

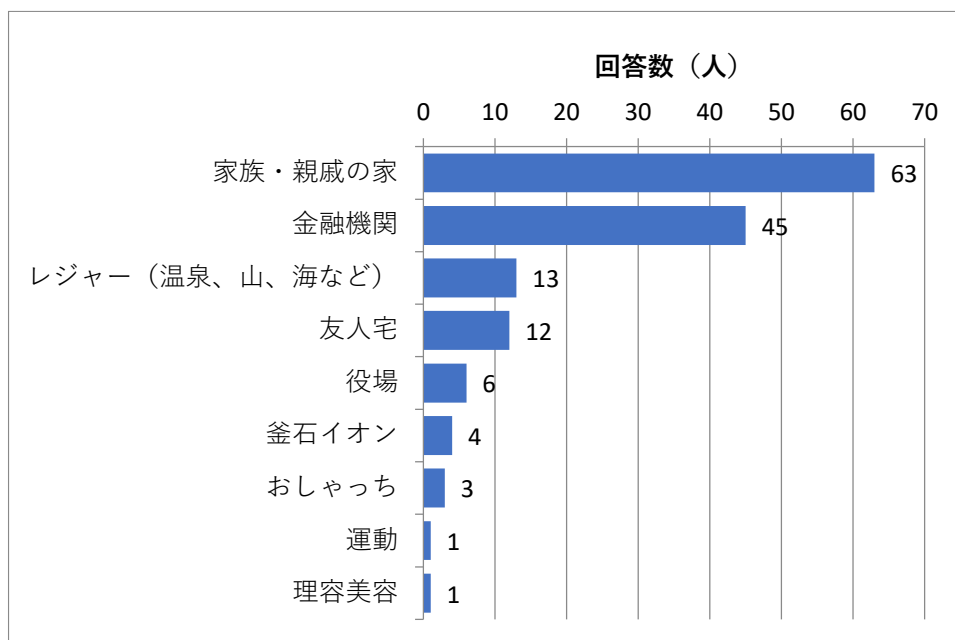


図 その他の外出先

## 9. 鉄道やバスの利用状況

### (1) 最寄りの駅やバス停までの距離（徒歩時間）

駅までの徒歩距離は「20分以上」が47%と半数近くを占めて多い。それに対してバス停までの距離は「5分未満」が49%、「5～10分」が27%を占め、76%が10分以内にアクセスできる状況となっている。「バス停がどこにあるか知らない」は5%を占める。

地区別にみると差が大きく、駅については町方と吉里吉里は10分未満が70～80%を占めるが、それ以外の地区は20分以上が大半を占める。バス停は吉里吉里・浪板地区と安渡地区、沢山・大ケ口地区で「10分以上かかる」割合が3～4割を占めて多く、アクセス性が低い地区と言える。

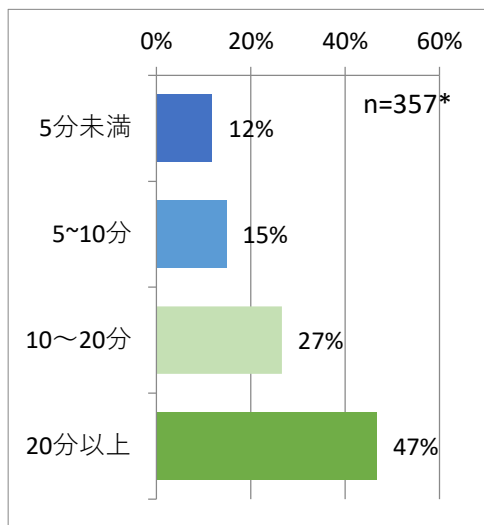


図 駅までの徒歩距離

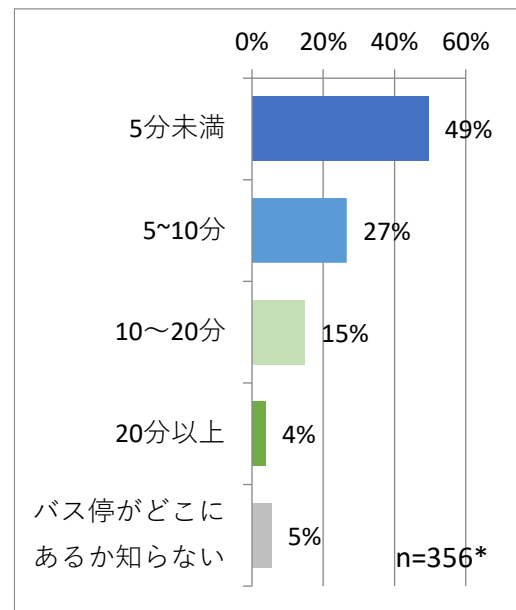


図 バス停までの徒歩距離

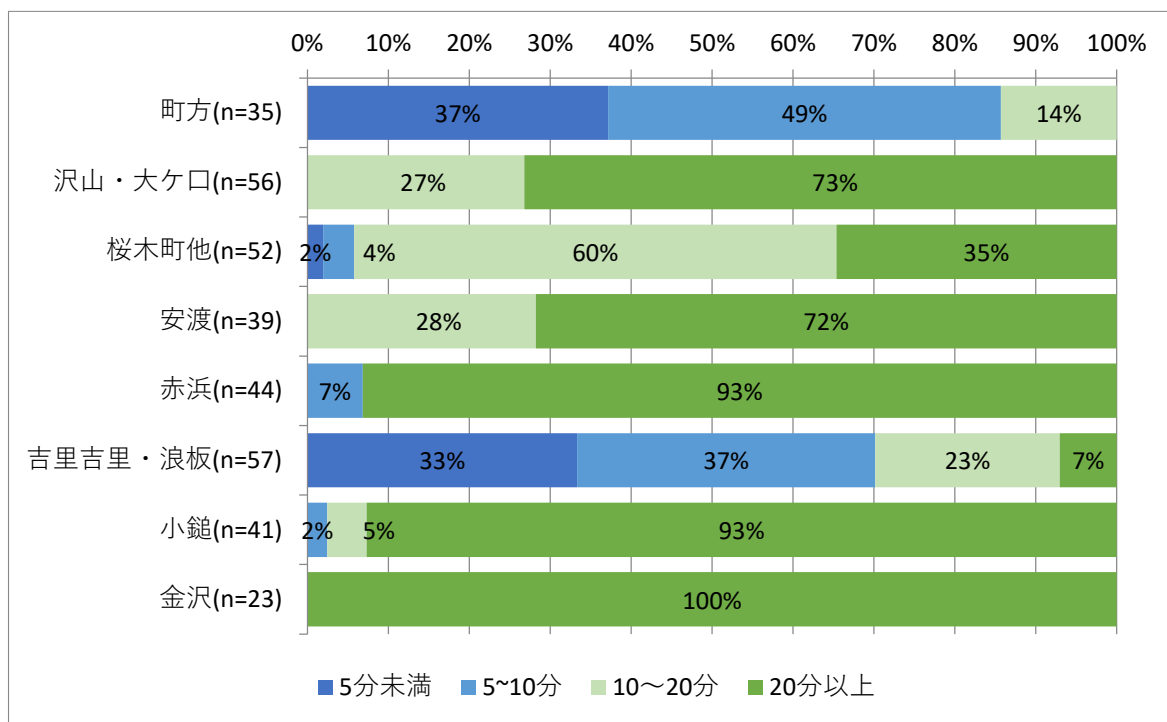


図 駅までの徒歩距離（地区別）

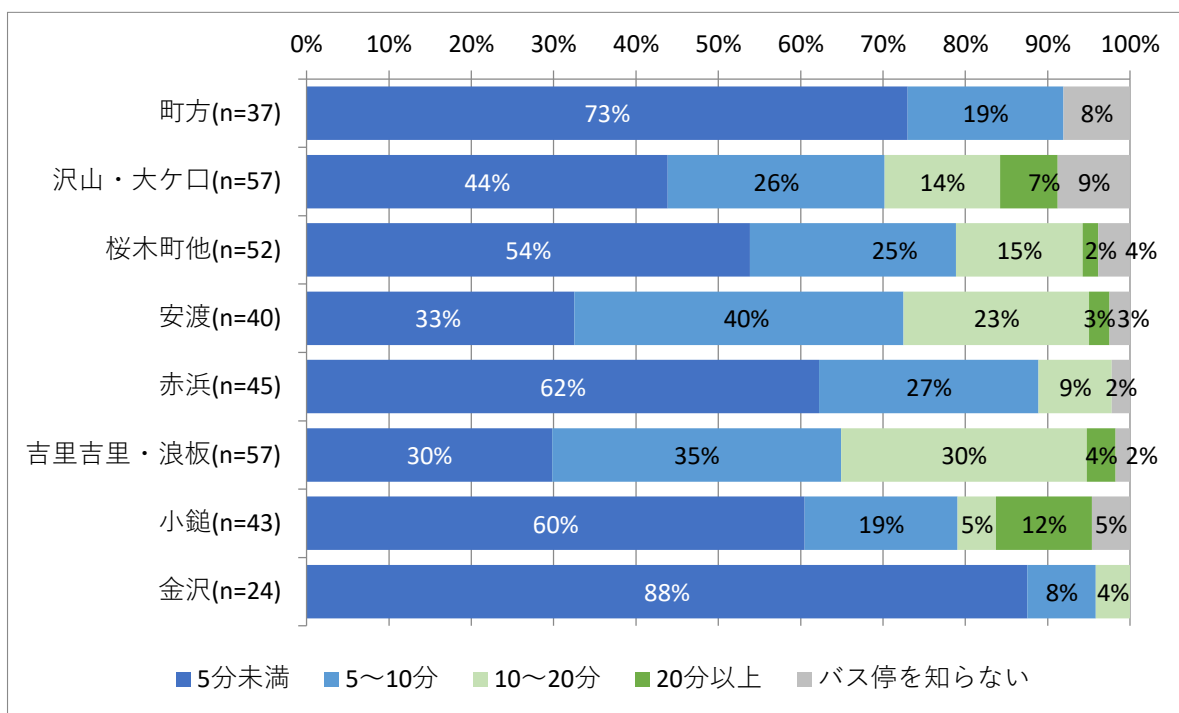


図 バス停までの徒歩距離（地区別）

## (2) 公共交通の利用度

公共交通の利用頻度は、「月に数回程度」以上を日常的な利用者と想定すると、県交通が最も高く、「ほぼ毎日」が1%、「週に数回程度」が2%、「月に数回程度」が12%で、合わせて15%である。

また、令和2年12月以前の町民バスも「週に数回(6%)」と「月に数回(10%)」を合わせると15%であったが、現在は「週に数回(2%)」と「月に数回(6%)」合計8%まで減少している。

### (年代別)

年代別にみると、タクシー以外は10代の利用が多い。特に県交通バスは、10代は24%が「ほぼ毎日」利用しており、「月に数回」以上は5割を超える利用となっている。

タクシーは高齢になるほど利用度が高く、80歳以上は4割近くが「月に数回」以上利用している。

町民バスは、令和2年12月以降は利用が減っており、どの年代でも利用は減っているが、特に10代の利用が減少し、「月に数回」以上の利用は0となっている。

### (地区別)

三陸鉄道は、駅がある町方、吉里吉里・浪板、駅に比較的近い桜木町他では「ほぼ毎日」利用している人がいるが、安渡と赤浜では「年に数回」の人しかいない。

県交通バスについては、安渡と金沢地区以外は「ほぼ毎日」利用する人がおり、広く利用されている。

タクシーは、町方は「週に数回」利用する人がいる。他の地区も「月に数回」以上利用する人がいるが、小鉾地区のみ「年に数回」の利用のみでタクシーが利用しにくい環境であることが分かる。

町民バスは、金沢地区の利用度が特に高い。反対に、臨時バスが運行しなくなった吉里吉里・浪板地区の利用の落ち込みが特に大きい。

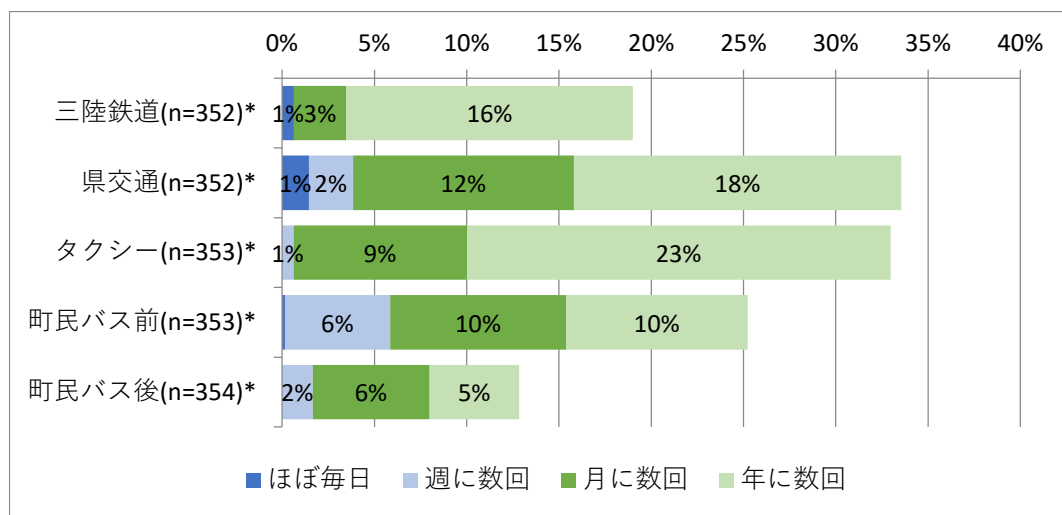
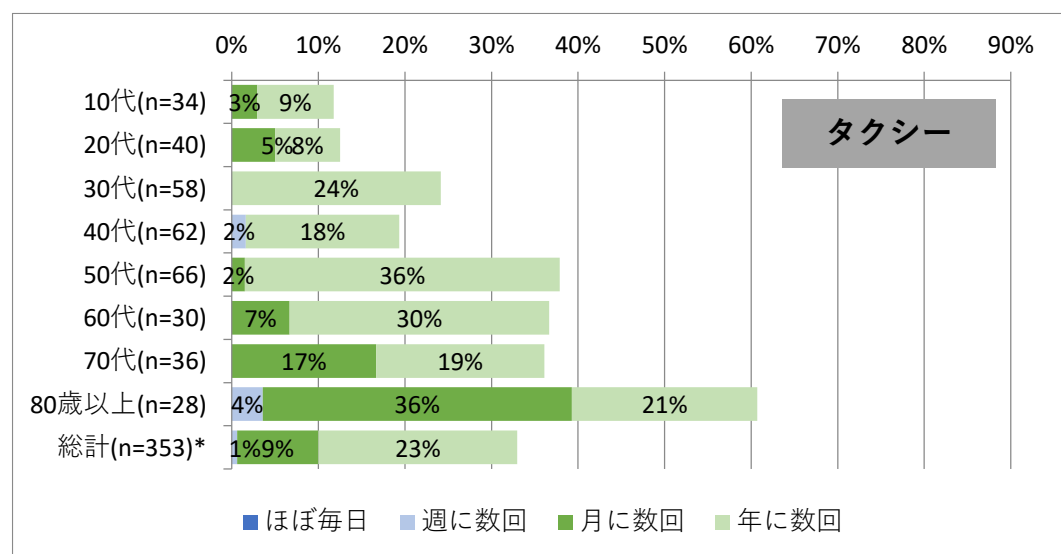
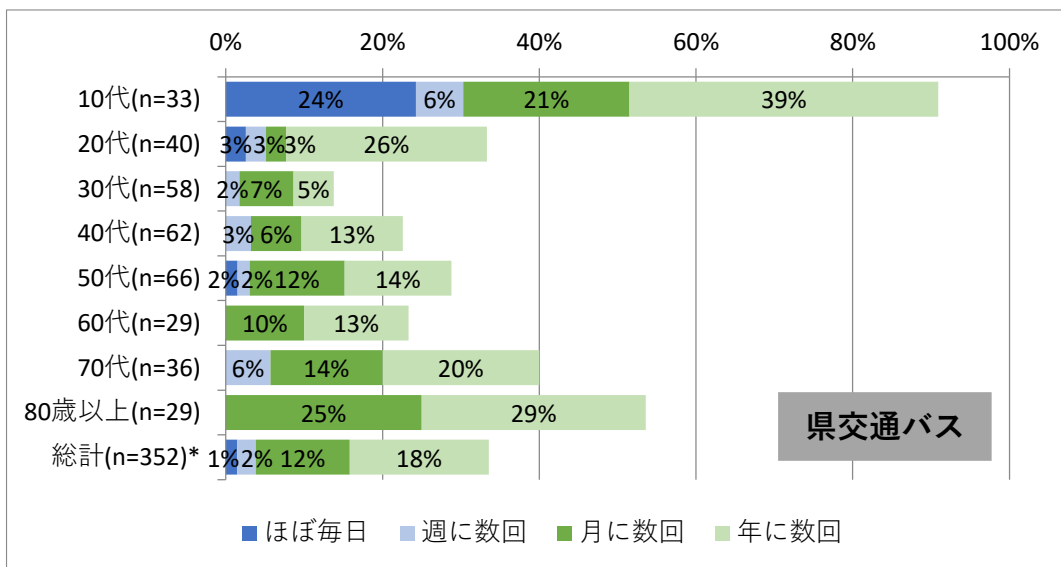
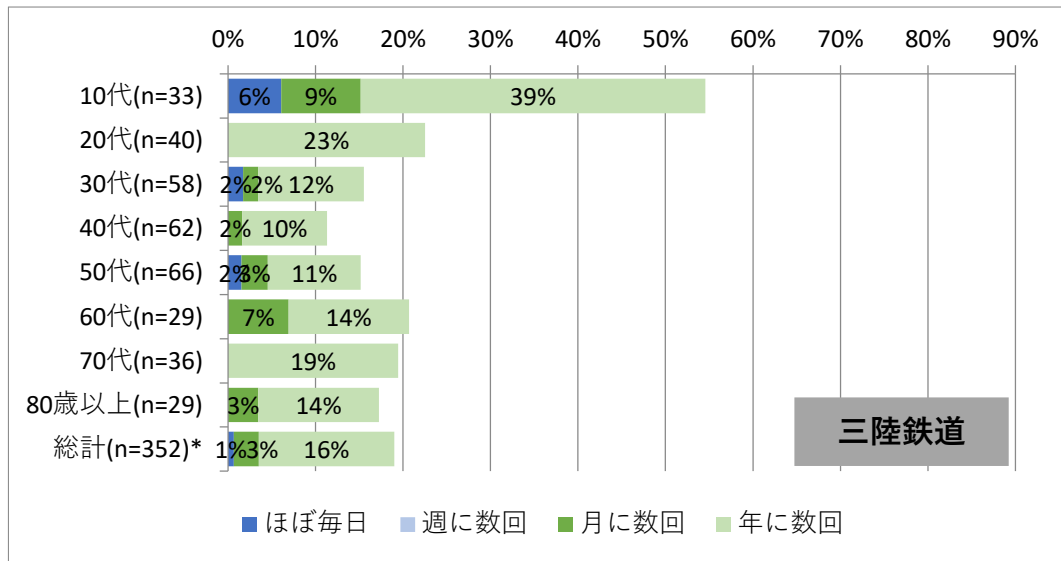
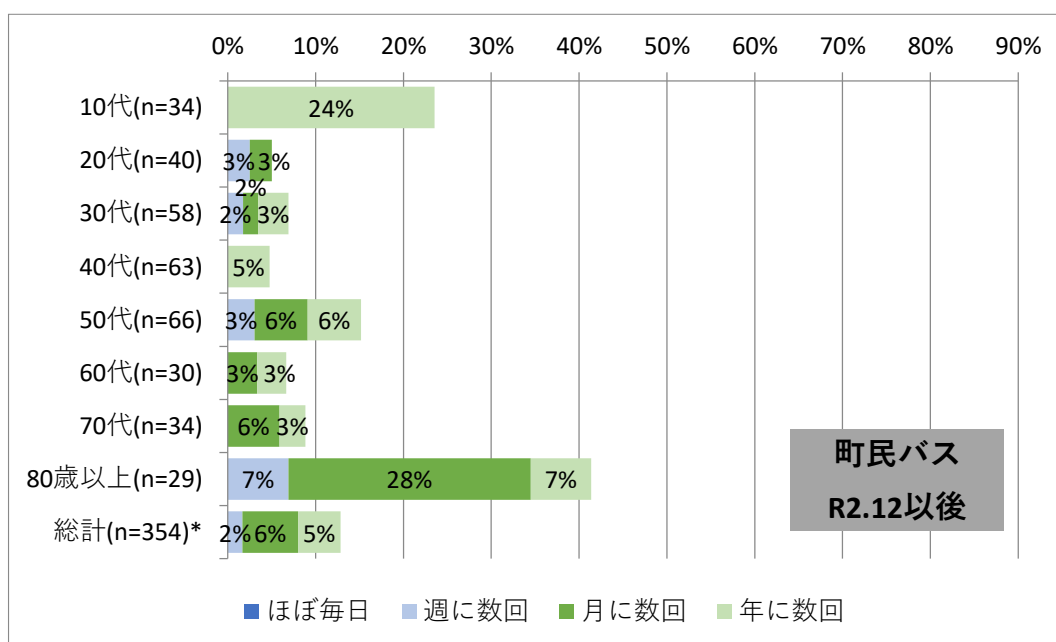
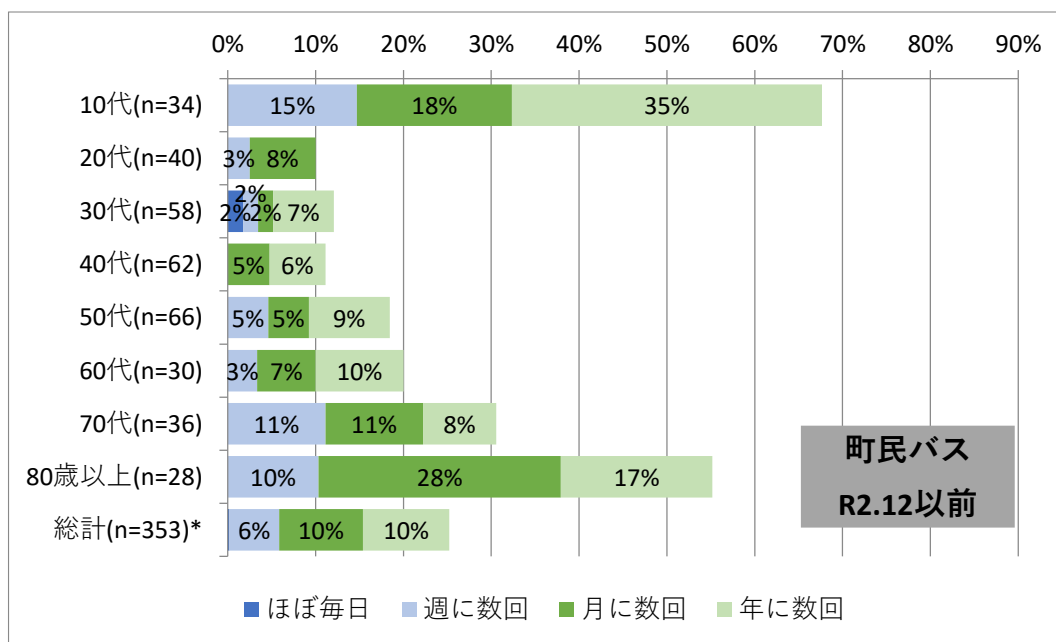


図 公共交通の利用頻度

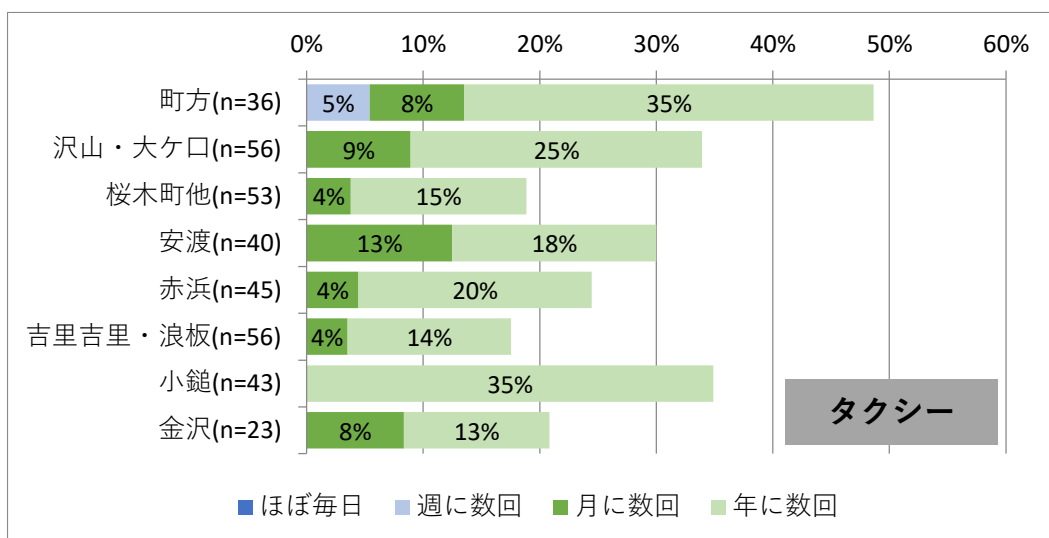
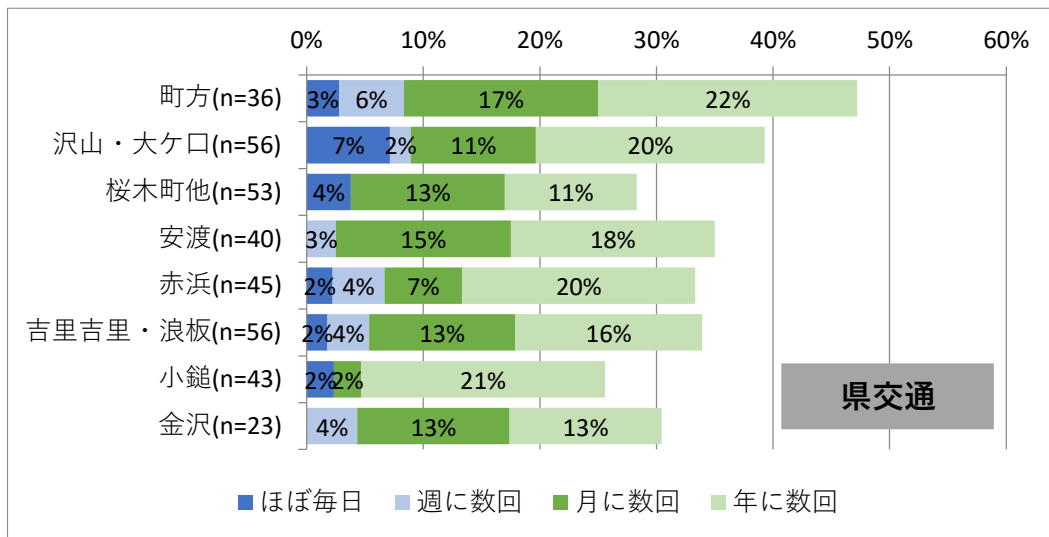
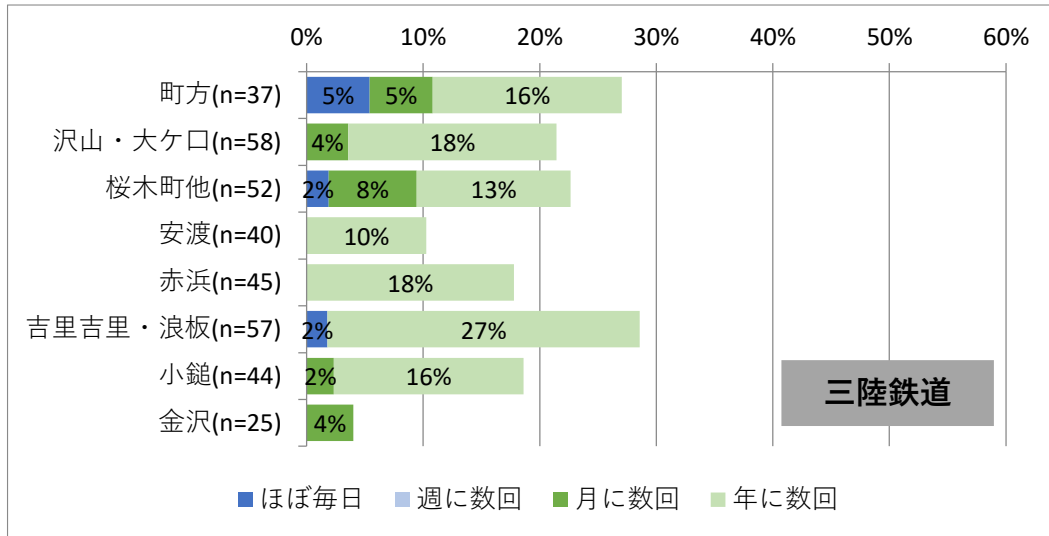
(年代別の利用度)

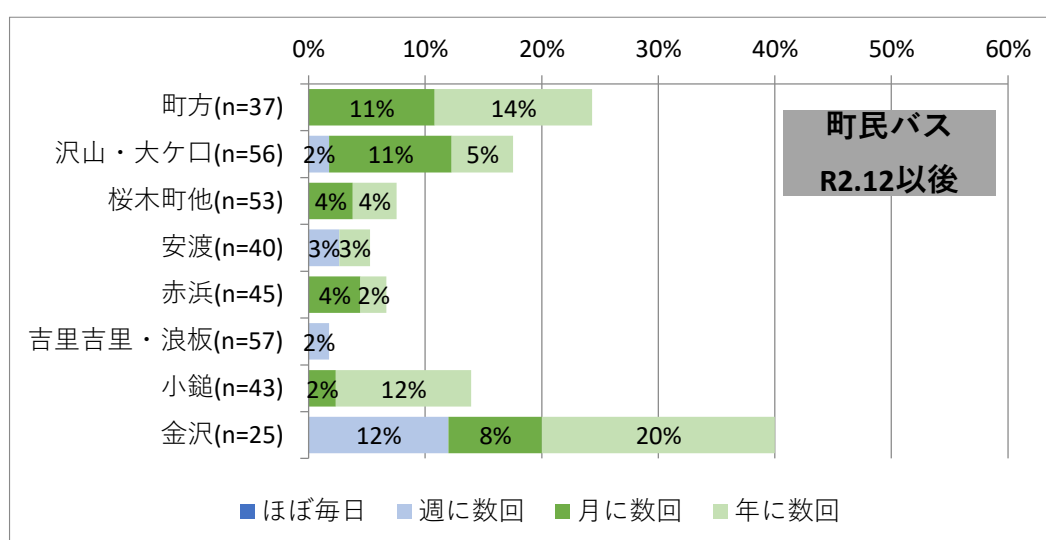
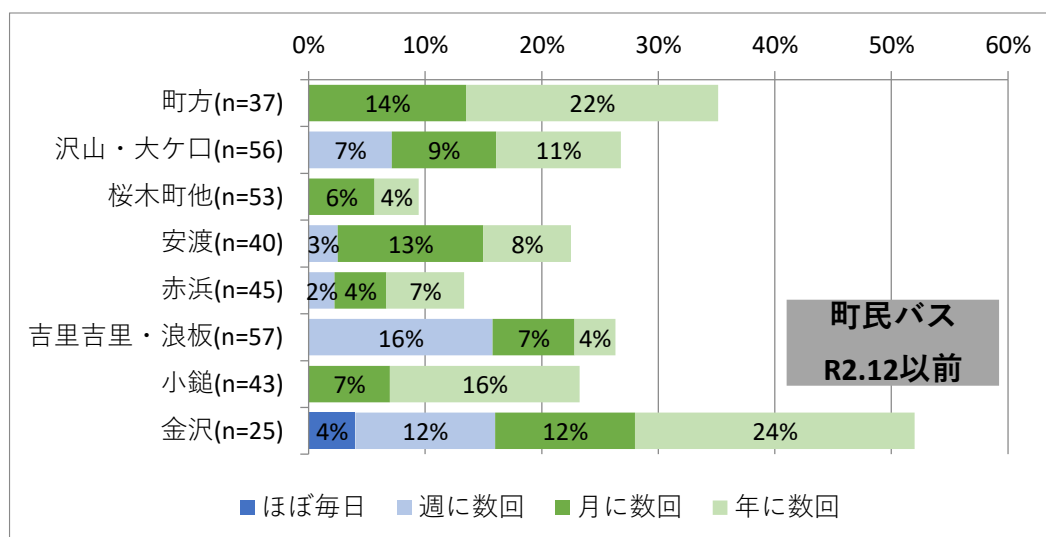






(地区別の利用度)





## 10. 公共交通に対する評価

### (1) 外出やおでかけを不便と感じるか

(年齢別)

不便を感じるかについては、現在は「あまり不便と感じない (28%)」「全く不便と感じない (24%)」と過半数が不便を感じていない。しかし、10年後を考えると「とても不便 (36%)」「少し不便 (27%)」で 63%が不便を感じるという回答している。

年代別にみると、現在は 10 代と 80 歳以上で不便を感じる割合が高い。10 年後を想像すると、50 代以上で特に不便を感じる割合が高くなっている。

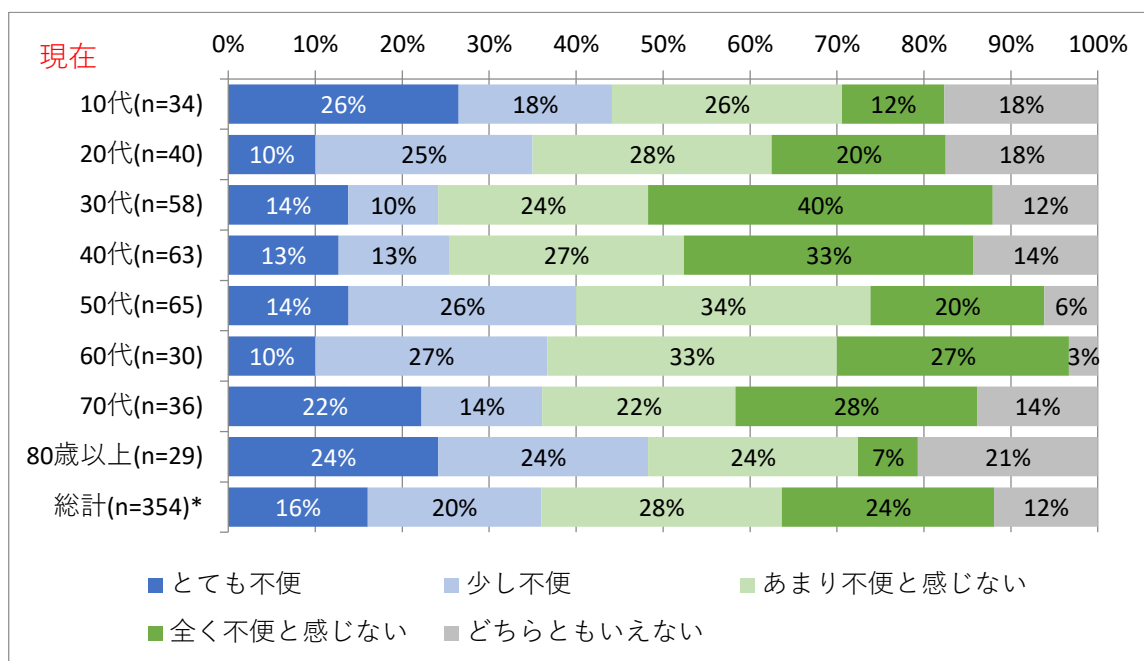


図 現在、外出やおでかけを不便だと感じるか

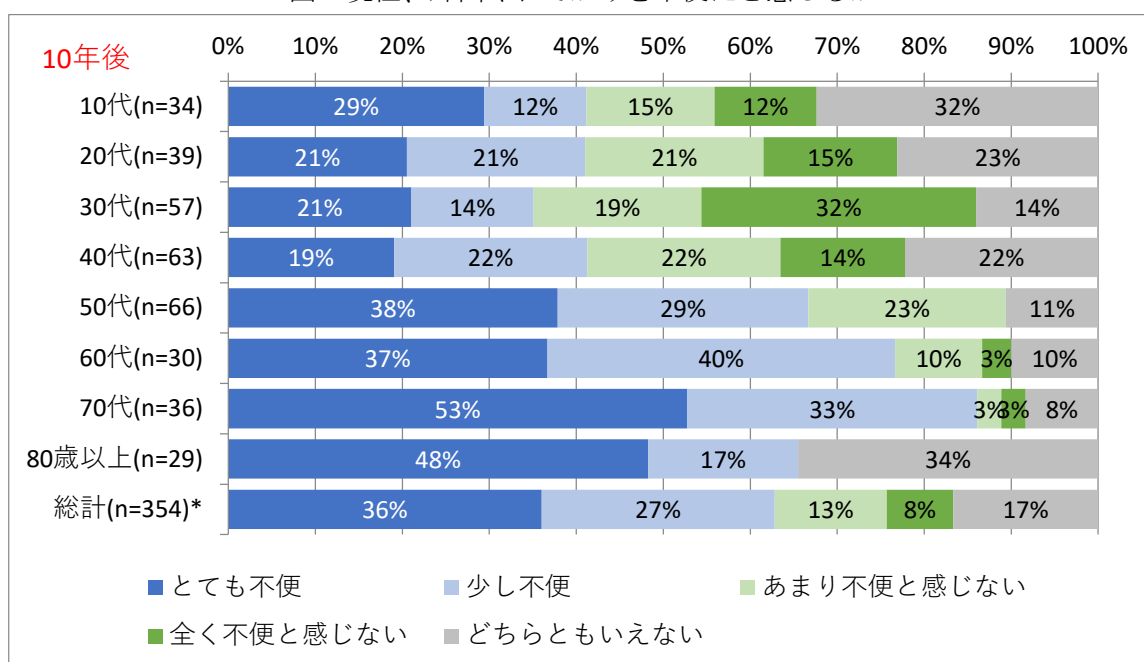


図 10 年後、外出やおでかけを不便だと感じるか

(地区別)

現在不便と感じている地区は、町民バスの依存度の高い金沢地区で特に高く、「とても不便（28%）」「少し不便（40%）」で約 7 割が不便と感じている。反対に、沢山・大ケ口や桜木町他では「全く不便と感じない」が 4 割近くを占めて多い。

10 年後を想像した時は、どの地区も不安が増大し、金沢地区は 8 割、赤浜は約 7 割が不便を感じると回答している。

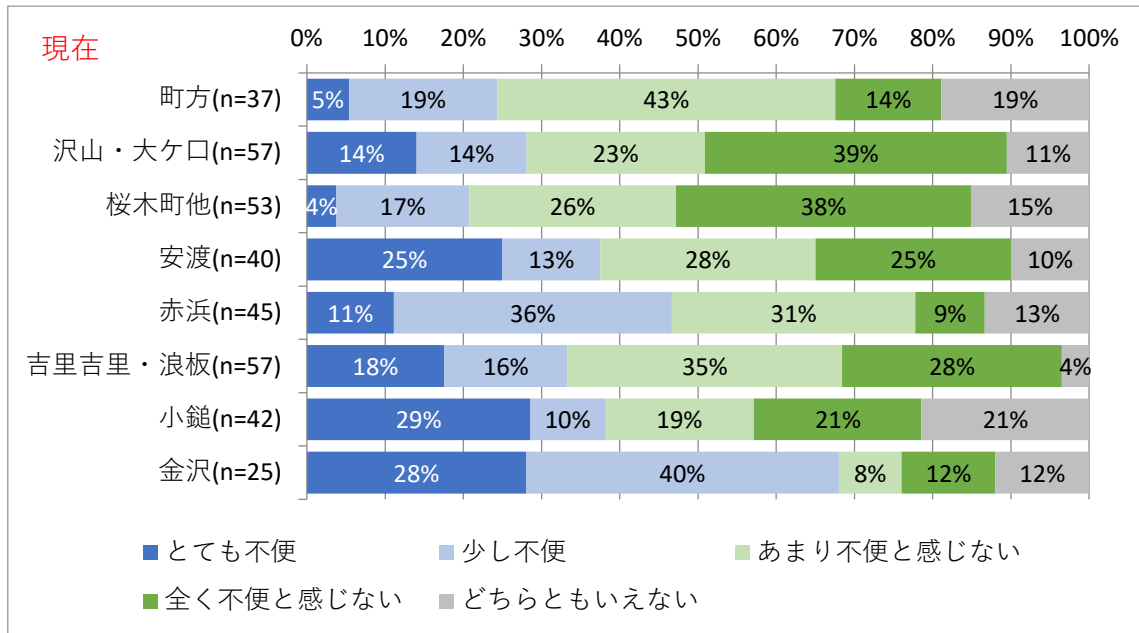


図 現在、外出やおでかけを不便だと感じるか

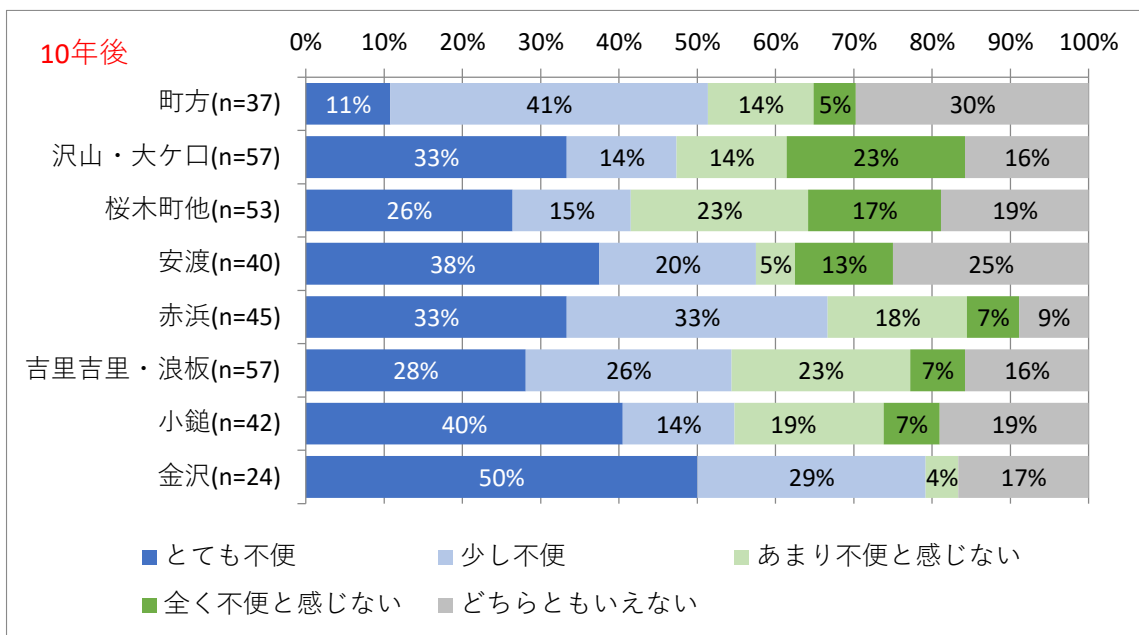


図 10 年後、外出やおでかけを不便だと感じるか

(免許の有無)

免許の保有状況別にみると、「持っている人」は「あまり不便と感じない(32%)」「全く不便を感じない(32%)」が多く、6割以上が不便を感じていない。

免許を持っているが運転していない回答者と持ったことがない回答者は「とても不便」と「少し不便」が過半数を超えて多い。特に、「免許を持っているが、運転していない」回答者の方が不便さを感じている。

10年後を考えたとき、現在運転している人の不便を感じる割合は倍に増えるが、現在運転していない人は大きな変動はない。

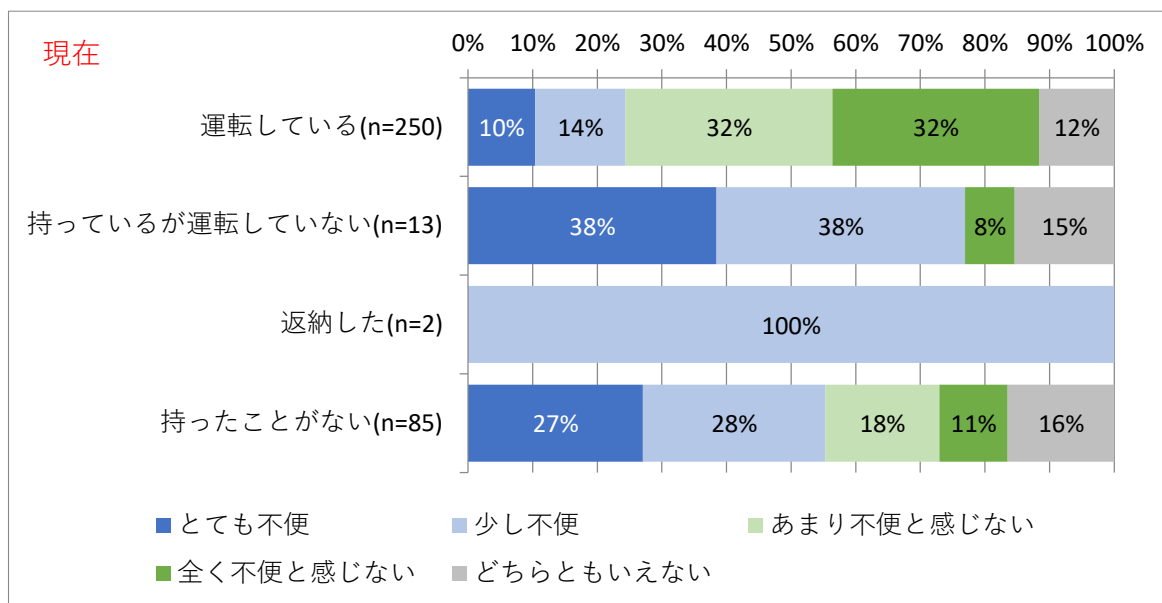


図 現在、外出やおでかけを不便だと感じるか

注：「返納した」は回答数が2のため参考値

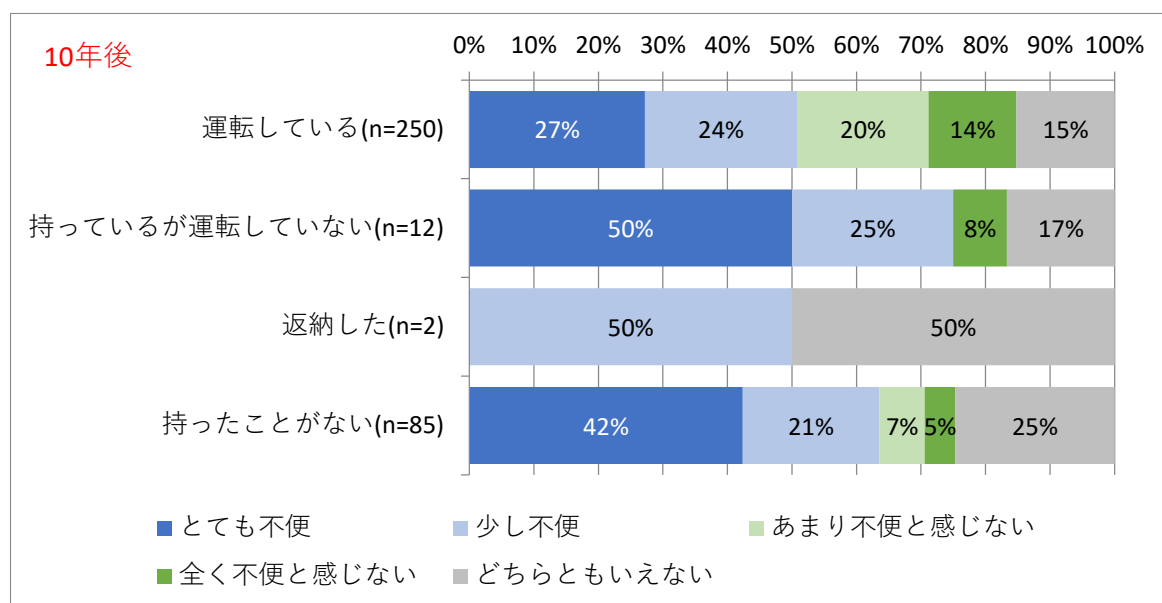


図 10年後、外出やおでかけを不便だと感じるか

注：「返納した」は回答数が2のため参考値

## （２） 不便を感じる理由と感じない理由

不便を感じる理由としては、「町民バスの運行時刻が合わない」が最も多く、不便を感じている回答者の57%が上げている。次いで、「病院や買い物をすると場所が遠い（40%）」、「バス停に屋根やベンチがない（28%）」が多い。

反対に、不便を感じない理由は「車を運転する」が73%を占めて多い。次いで「送ってくれる人がいる」が38%を占める。

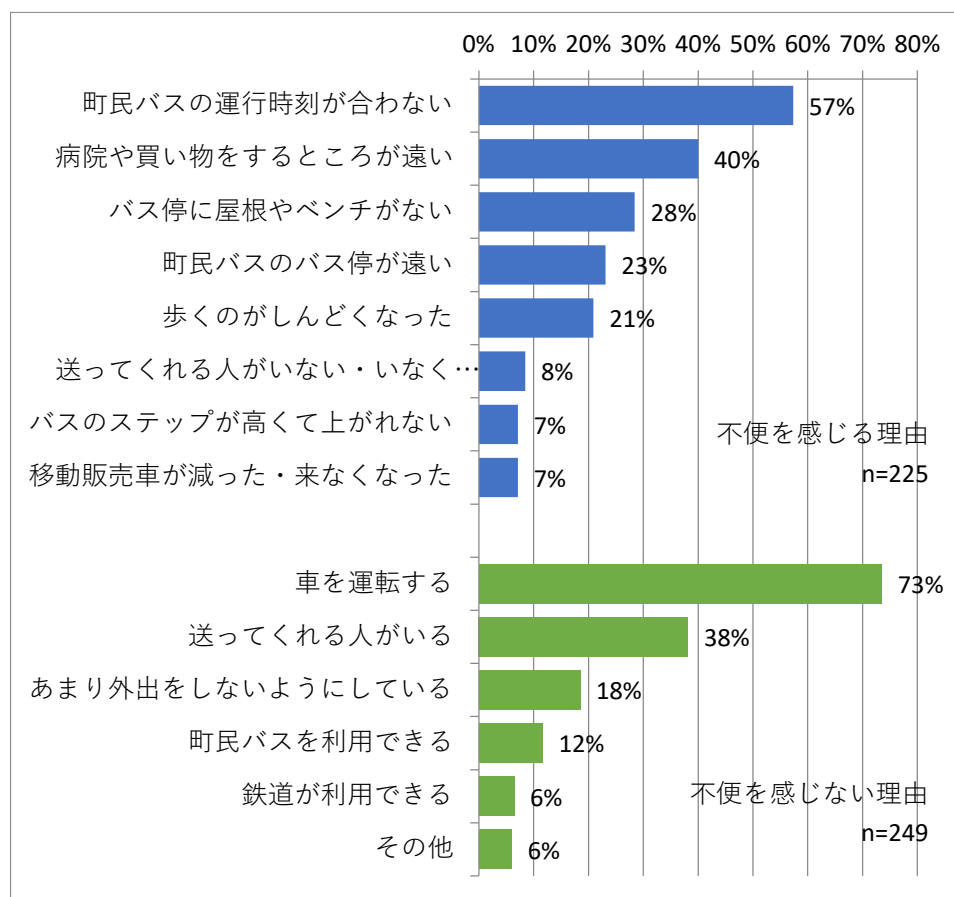


図 不便を感じる理由と感じない理由

（不便を感じるその他の理由）

- ・ バス停がない（60代後半、赤浜）
- ・ 町民バスがない（70代、吉里吉里・浪板）
- ・ バス停、駅まで行けなくなった（70代、吉里吉里・浪板）
- ・ バスの便数が減った（70代、安渡）
- ・ 町民バスがない（30代、赤浜）
- ・ 県交通のバス停が遠い（70代、安渡）
- ・ 県交通のバス停が遠い（70代、安渡）

### (3) 改善希望

優先すべき改善策としては、「バスからバスへの乗り継ぎをよくする（35%）」を1位に上げている人が最も多く、次いで「交通が不便な地域の外出環境を改善する」が多くあげられた。

2位としては、「町民バスと三陸鉄道との接続をよくする（19%）」を挙げた人が多い。

地区別にみると、町民バスの利用が多い金沢地区は圧倒的に「バスからバスへの乗り継ぎをよくする（67%）」を挙げる人が多い。沢山・大ケ口、安渡、赤浜地区は「交通が不便な地域の外出環境を改善する」を1位に上げる人が2割を超えて多い。

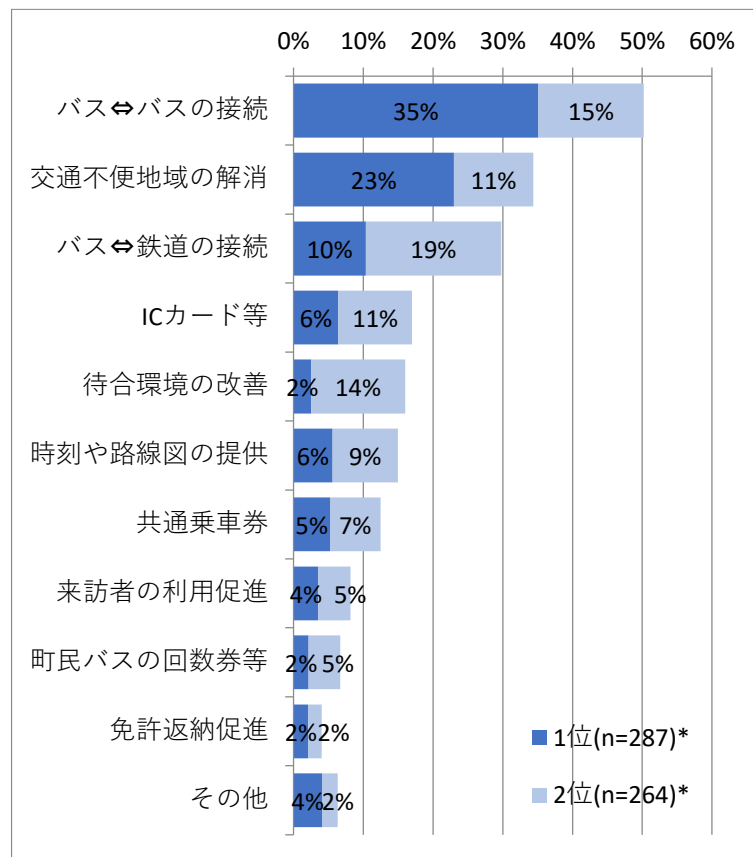


図 改善希望の第1位と第2位

図中の表現	選択肢の文章
バス⇄バスの接続	町民バスと県交通バスとの接続をよくする
バス⇄鉄道の接続	町民バスと三陸鉄道との接続をよくする
交通不便地域の解消	駅やバス停が遠い公共交通不便地域を解消する
町民バスの回数券等	町民バスの回数券や定期券をつくる
共通乗車券	町民バス、県交通バス、三陸鉄道の共通券をつくる
ICカード等	ICカードなど現金以外でも利用できるようにする
時刻や路線図の提供	時刻表や路線図等を分かりやすく提供する
待合環境の改善	駅やバス停へのベンチ設置など待合環境をよくする
来訪者の利用促進	観光客など来訪者が利用しやすくし、利用者を増やす
免許返納促進	自動車の運転免許返納促進を行う
その他	その他



(地区別)

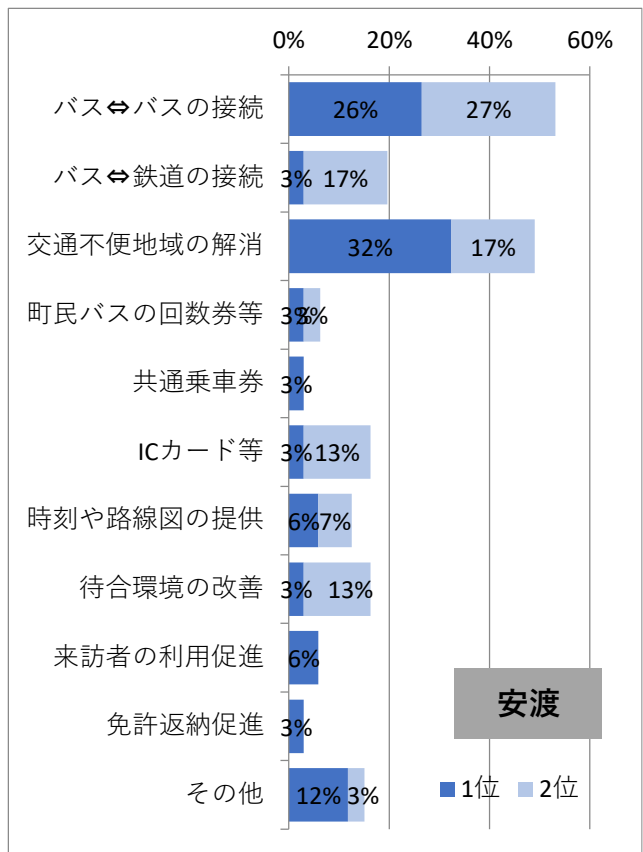
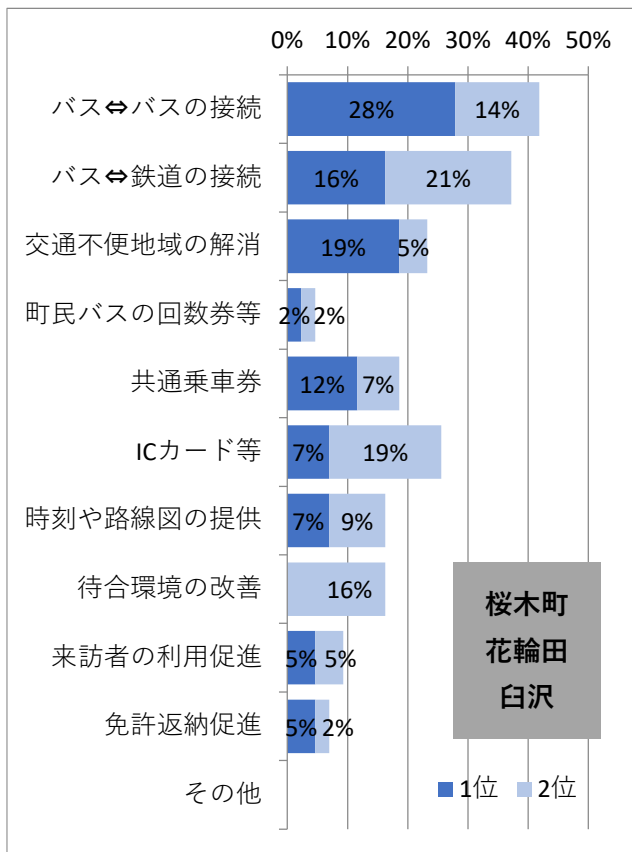
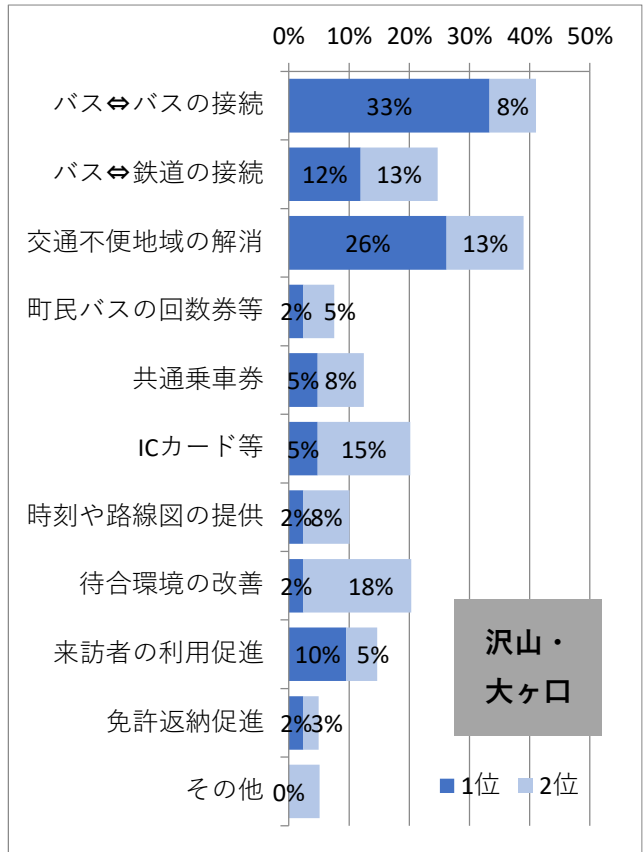
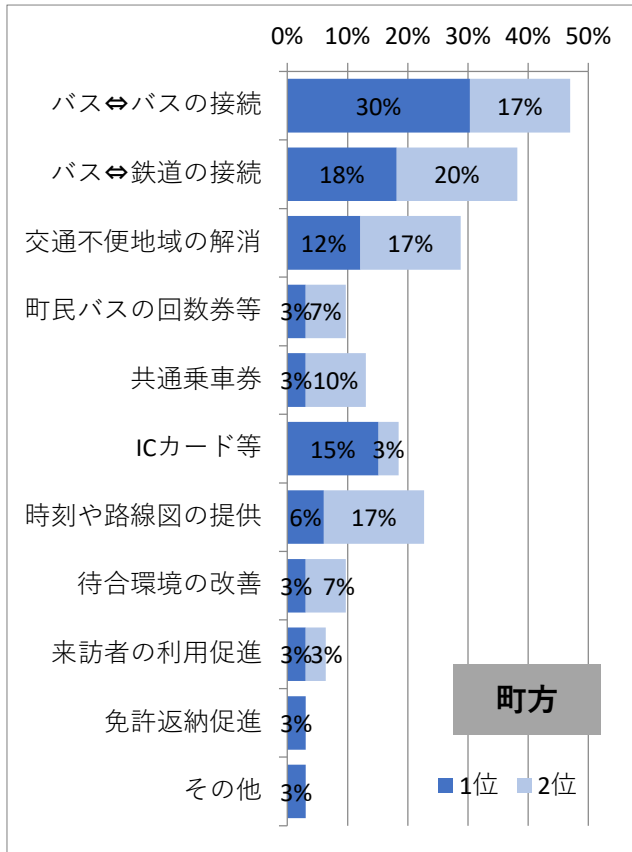


図 改善希望の第1位と第2位 (地区別)

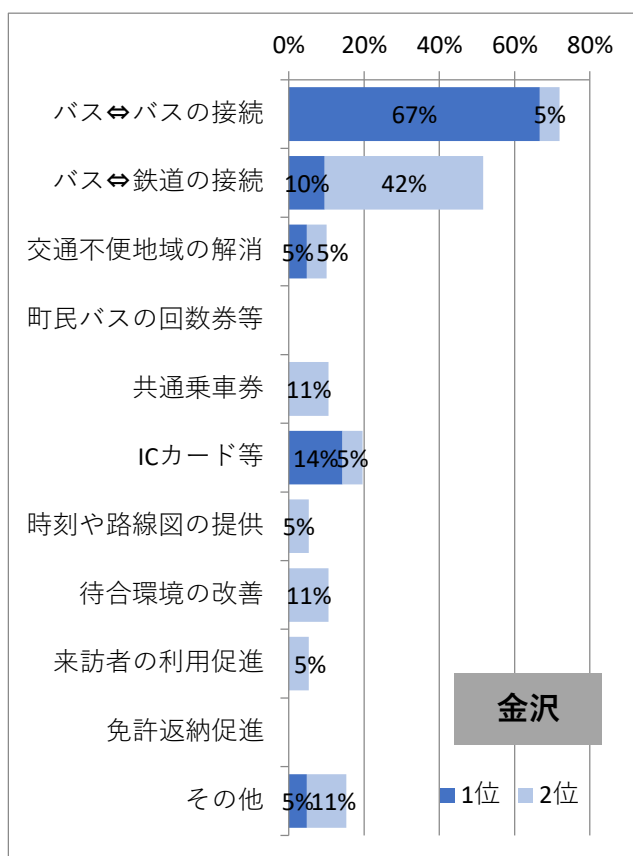
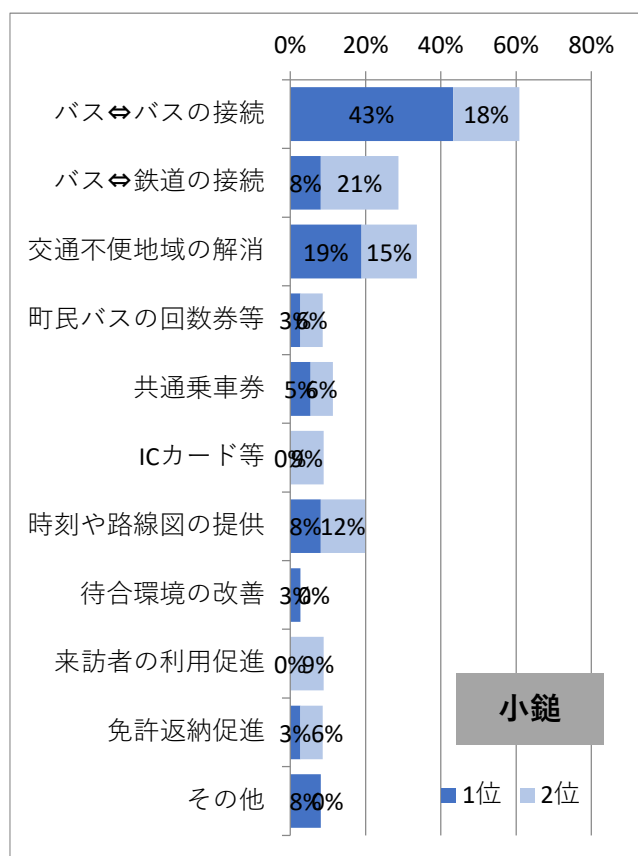
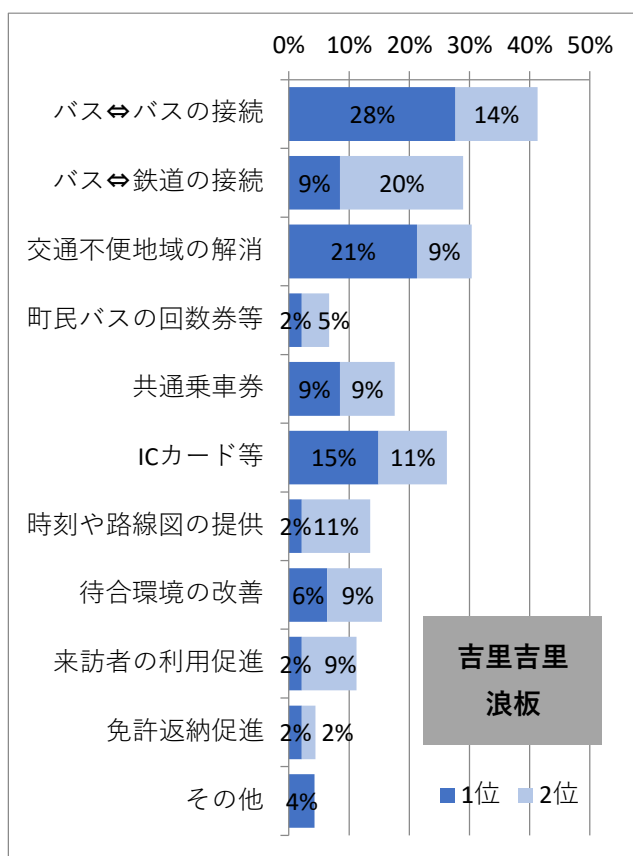
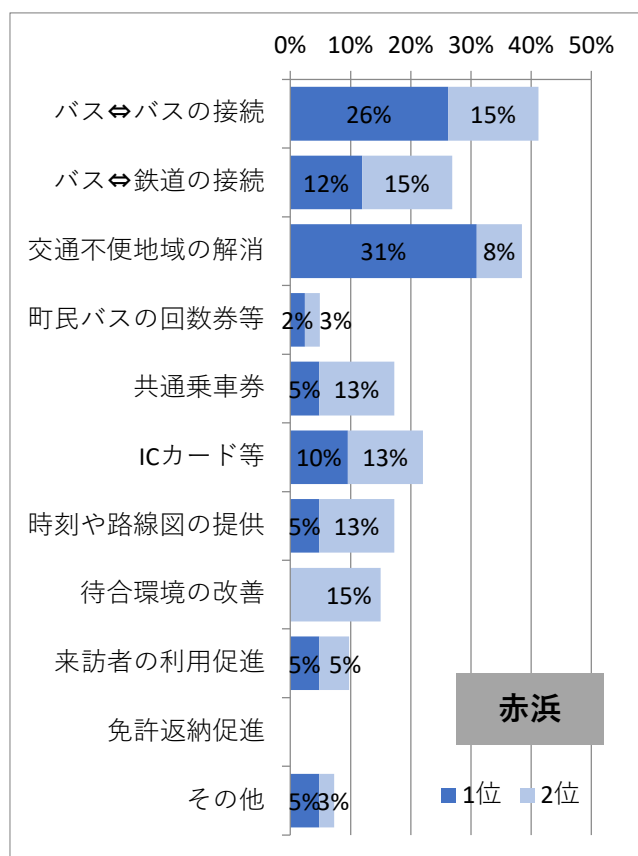


図 改善希望の第1位と第2位（地区別）

(公共交通を月数回以上利用している人)

三陸鉄道を利用している人は、「交通不便地域の解消（36%）」と「町民バスと三陸鉄道との接続をよくする」という回答が比較的多い。「町民バス、県交通バス、三陸鉄道の共通券をつくる」も1位にしている回答者が他の交通モードよりは多い。

県交通を利用している人は、他のモードと比べると「ICカードなど現金以外でも利用できるようにする」や「駅やバス停へのベンチ設置など待合環境をよくする」という意見が比較的多い。

タクシーを利用している人は「交通不便地域の解消」が特に多い。

町民バスを利用している人は、「町民バスと県交通バスとの接続をよくする」や「交通不便地域の解消」「時刻表や路線図等を分かりやすく提供する」という意見が比較的多い。

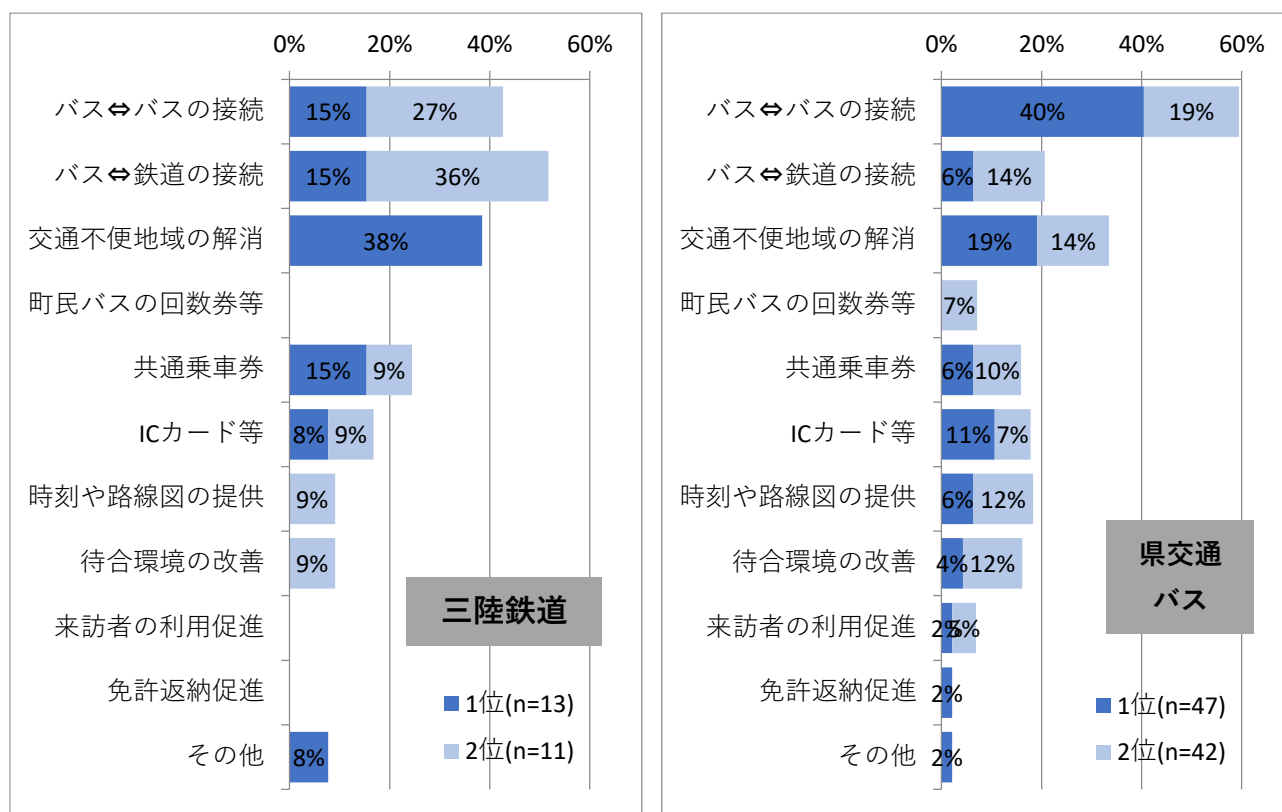


図 改善希望の第1位と第2位（公共交通の利用状況別）

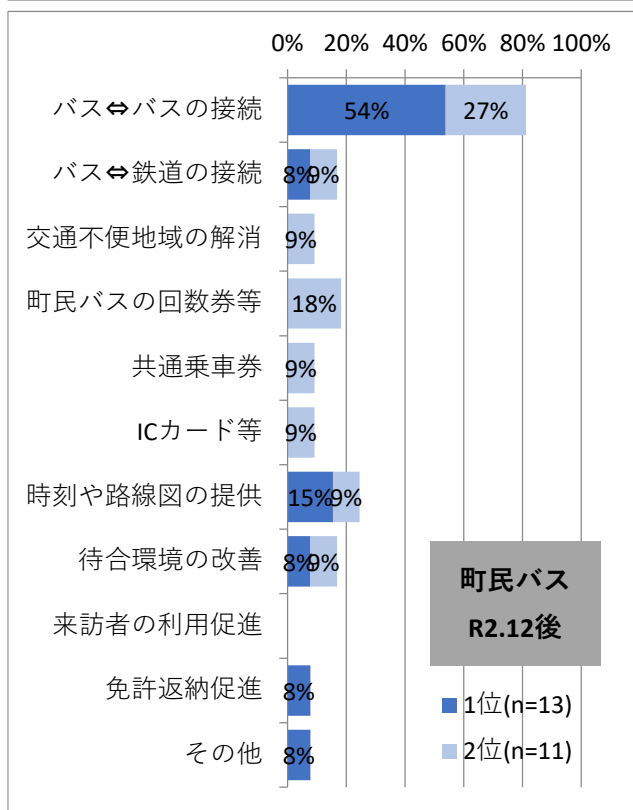
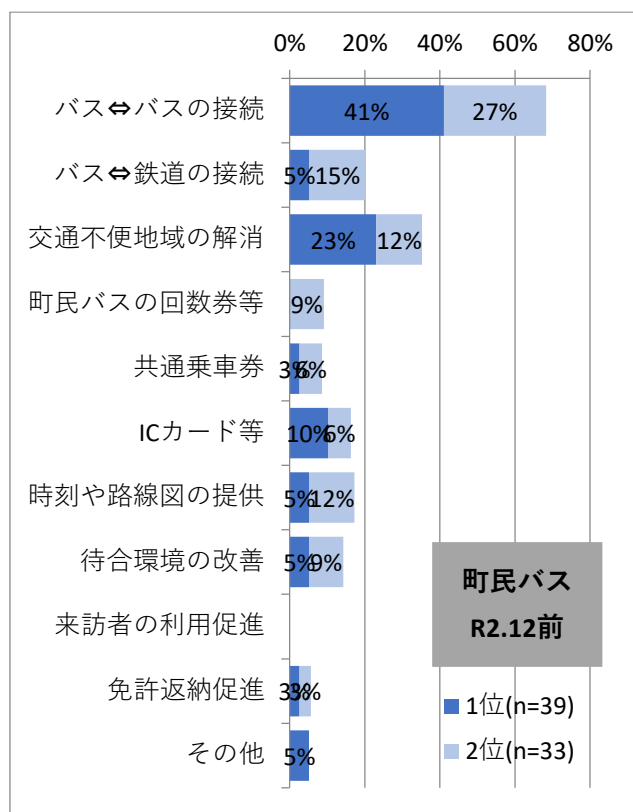
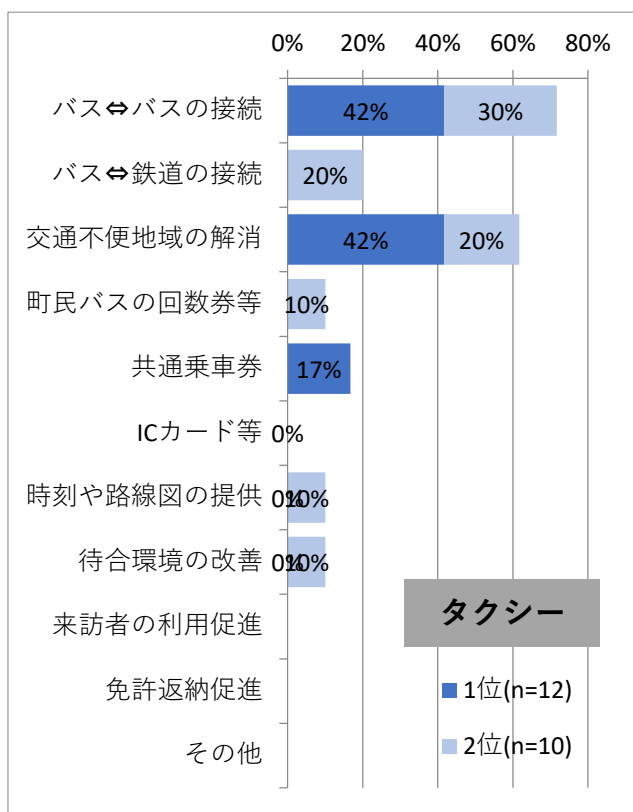


図 改善希望の第1位と第2位（公共交通の利用状況別）

(その他の内容)

「増便してほしい、運行時刻が合わない」

バスの本数を増やす。	20 代	安渡
町民バスの本数を増やす。	50 代	小鎚
赤浜行きの町民バスの機会を増やす。	10 代	赤浜
通学で利用しやすい時間帯を増便する	30 代	小鎚
小学生、中学生が通学で利用できる時間帯のバスを増やして欲しい。小鎚線が減り、子供が町方へ下がるのができなくなった。	30 代	小鎚
通学で利用しやすい時間帯を増便する	30 代	小鎚
小学生、中学生が通学で利用できる時間帯のバスを増やして欲しい。小鎚線が減り、子供が町方へ下がるのができなくなった。	30 代	小鎚
屋根付きだと、雨や急な雷の時一時的に避難できる。親が仕事でも休みの日に子供が自由に動けるように土日祝だけでも本数増やして欲しい。	40 代	安渡
バス停を増やして運行数も増やす。	50 代	吉里吉里・浪板
循環バスを枉内にも通してほしい。町民バスの本数を増やし利用しやすくする。	70 代	沢山・大ケ口
時間が不便だと感じる事がある。	40 代	金沢
運行時刻を改善してほしい	40 代	金沢

「バスのステップを上がりやすくしてほしい、高齢者に優しい乗り物に」

乗合小型バスを走らせてほしい	50 代	金沢
町民バス 8 人乗りを多くしてもらいたい。	30 代	赤浜
乗合の小型バスがよい	50 代	金沢
乗り降りのステップの高さ調節	50 代	赤浜
バスのステップを上がりやすくしてほしい。	80 歳以上	赤浜
お年寄りが病院、薬局を利用した後、買い物をしてスムーズに自宅に帰る何かがあると便利だと思う。	40 代	小鎚
時間が不便だと感じる事がある。	40 代	金沢
バスのステップを上がりやすくしてほしい	80 歳以上	赤浜

「タクシー券の配布や運賃対策が必要」

タクシー券を配布してほしい。	20 代	安渡
学生、年金生活者などへの料金割引補助をしたほうがいい。	50 代	安渡
観光客より地元住民が先だと思ふ。免許返納した老人を無料にした方がいい。待合場所によっては、クマ、シカの接触があり危険なので考えてほしい。返納後の対策をきちんとしてほしい。	40 代	小鎚

「その他」

安渡にも駅を作ってほしい！	40 代	安渡
バスの遅延を少なくする（時間がすごく待つときがあるから）←5～15 分ならいいが 30～45 分とかはさすがにきつかったです	20 代	安渡
三鉄と JR の接続をもっと良くする。	10 代	町方
町機能の集約	60 代	吉 里 吉 里・浪板
歩かないようにしている。	80 歳以 上	金沢

## 11. その他外出環境の改善に関するご意見やご要望等(自由意見)

外出環境の改善に関する意見や要望は 101 人の方から寄せられた。その内容を主な意見で整理すると、「バス」に関しては 40、公共交通全般については 30、バス以外は 14 に整理された。

「バス」に関しては、「町民バスを復活させてほしい」が最も多く、次いで「バスを増便して欲しい」という意見が多かった。

「公共交通全般」については、「公共交通は必要」という意見に次いで、「子どもや高齢者が利用できるように（つくってほしい）」という意見が寄せられた。

「バス以外」についても、「乗合タクシーや小型バスがよい」や「タクシー補助が必要」という必要性に対する意見が寄せられた。

表 意見の分類

分類	主な意見	意見数	分類
バス	町民バスを復活させてほしい	13	40
	バスを増便して欲しい	10	
	バス停が遠い	6	
	接続をよくしてほしい	5	
	バスが利用できない	3	
	バスの時刻を見直す必要がある	3	
公共交通全般	公共交通は必要	12	30
	子どもや高齢者が利用できるように	8	
	利便性向上や利用促進が必要	7	
	免許を返納するのが不安	3	
バス以外	乗合タクシーや小型バスがよい	7	14
	タクシー補助が必要	4	
	鉄道や駅が不便	3	
その他	今は車が運転できるので大丈夫	4	17
	その他、まちづくり関連	13	
計		101	101

### （１）町民バスを復活させてほしい

吉里吉里地区の町民バスが無くなったため高齢者にとってはバス停が遠く、通院買い物が不便だと話を聞きます。町民バスの復活をお願いします。	20代	桜木町・花輪田・臼沢
町民バスが無くなってとても不便です。県交通のバス停まで遠く、歩くのが大変です。また、町民バスの方が料金も安くとても助かっていました。	80歳以上	吉里吉里・浪板
40代、50代はどうにかなるけど時々見かけるのですが年配の方は買い物に行った時など、荷物をもって歩くのが大変そうです。特に吉里吉里はコンビニが一軒しかないの、町民バスがあるともう少し楽になるのではないかと思います。	40代	赤浜
前までは吉里吉里の中まで走っていた町民バスがなくなってしまったのはお年寄りの移動手段を減らして不便にしていると思う。	10代	吉里吉里・浪板
町民バスがある時は大変助かりました。吉里吉里…大槌橋バス停から（県民バス）道又医院に行くのがこの頃大変になりました年のせいでしょうか、吉里吉里にも一本でも町民バスをお願いします。	70代	吉里吉里・浪板
吉里吉里地区の町民バス復活！ぜひ今年中にお願いします。	10代	吉里吉里・浪板
吉里吉里は坂道が多いので上の通りに町民バスがあつたらよかったのではないかと思います。冬道とか車の運転が怖いのでバス利用したいと思ってもバスがない…。	10代	吉里吉里・浪板
吉里吉里の高台に1人で住んでいる者です。津波で兄弟を亡くし私1人だけになってしまったので気軽に頼める人もなく、タクシーを利用する余裕もありませんので町民バス週2・3回で良いのでお願いできないでしょうか。	70代	吉里吉里・浪板
町民バスの始発も吉里吉里からもお願いしたい。出来ればタクシーの割引もお願いしたいです。	80歳以上	吉里吉里・浪板
交通手段として震災の時と同じように（浪板、吉里吉里）地区の町の中を走るとありがたいですね。	40代	吉里吉里・浪板
町民バスは通らないし、県交通のバス停は遠いし買い物しても坂道で大変です。	70代	安渡
二渡神社裏にもバスが通る用にしてもらいたいです。バス停には雨上がり、雪とけ時乗車時困ります。	70代	安渡
町民バスは以前のように赤浜始発があると便利。柁内方面に行くのに不便を感じます。（歯科、内科の病院）	60代後半	安渡

### （２）バスを増便してほしい

土・日・祝日も平日と変わらないバス（県交通のバス）にしてほしい。朝通勤に困る！	50代	安渡
バスの回数が増えるようであれば運転免許証を返納したいと思っています。	70代	赤浜
バスの回数を増やした方がいい。	30代	赤浜
一日に走る本数が少ない。	50代	吉里吉里・浪板
県交通バスの本数が少ないので多くしてほしい	10代	吉里吉



		里・浪板
釜石、宮古方面のバスを多くしていただきたい。8人乗りのバスで良い。	30代	赤浜
吉里吉里まで来るバスが少なすぎていつも大槌まで親をよんでいる。もっと吉里吉里まで来るバスを増やしてほしい。	10代	吉里吉里・浪板
最低3往復は必要だと思います。（町民バス）	60代前半	金沢
バスの本数を増やしてほしい。	10代	町方
町民バス、県交通バス共に1時間または数時間に1本程度の運行状況では、現在、将来ともにとっても不便だと感じています。高齢者が多いということもありますが、町内の学生が公共交通機関を利用しているのも事実です。学生の登校、帰宅時間を考慮したバスの運行時間に変更するべきだと思います。運行時間の間隔を変更するのは手間がかかるかと思いますが、ご検討よろしく願いいたします。	10代	安渡

### （３）バス停が遠い

安渡地域はかさ上げで住宅がかなり山側に移動したのにバス停がポツンと昔そのまま。その上坂の上に住宅があるし、上側の道路にバス停が1つもない。お年寄りが大半を占めるのに形だけのバス停と思う。あそこまで坂を下つてのぼる利用者を見たことがない。それと、お年寄りが食べ物や生活必需品を買えるお店が一つもない。歩いてファミリーマートまでいけるとは考えにくい。不便としか言えない。かなりの住宅が建ち、年寄りも多いのに。もう少し考えてほしい。	50代	安渡
車を運転できない高齢者にとってバス停の場所が遠くて不便。バス停の場所の見直しを求める。	50代	赤浜
バス停が遠くて不便です。もう少し年配の事も考えて欲しいです。	80歳以上	赤浜
バス停（県交通）が遠い地域（以前は町民バスが運行していた地域）への支援。	50代	町方
バス停までの移動が大変になっている方が多くなると思います。でも、頻繁にタクシーを利用する経済的余裕はない方もいると思うので、バスとタクシーの中間にあたる乗合タクシーのような仕組みは？どうでしょうか？	40代	沢山・大ケ口
バス停を増やす、便を増やす、路線を増やす、町が補助する。無料バス・100円バスの運行、町が補助。60歳以上に乗車割引券を配布、町が補助。年金生活者に毎月1枚無料乗車券を配布、町が補助。ふるさと納税の便途にする。	50代	吉里吉里・浪板

### （４）接続をよくしてほしい

陣痛タクシーの取り組みを行ってほしい。宮古方面へのバス運行（県北バスとの接続）。バスの接近情報を知れるようなもの（アプリなど）があれば良い。公共交通機関の定額乗り放題などのサービスがほしい。通院時のタクシー利用補助。町民バスの運行エリアを増やす。	20代	赤浜
町民バスでマストまで行って、マスト前から県交通に乗る接続を良くしてほしい。マストへ行って買い物をし、1時間くらいで帰りの町民バスに乗れるようになるとうい。	50代	沢山・大ケ口

病院に専門医が常勤していない為、宮古とか釜石に行かざるを得ない場合がある。人口的にやむを得ないところもあるが、せめて交通のつなぎの便を図ってもらいたい。	70代	吉里吉里・浪板
私は午後から釜石の高校に通っていますが三陸鉄道とバスの時刻が合わなくて困っています。岩手県交通のバスも少なく大変です。	10代	沢山・大ケ口
買い物、用足し後直ぐに帰れるような何回も出かけられる直通便等がほしい。釜石までの時間が長い、遠く感じられる。	50代	沢山・大ケ口

#### (5) バスが利用できない

大きい道路の近くに住んでいない自分は、バスで買い物に行っても荷物をもって家まで歩けません。運転免許の返納も考えてるけどどうやって生きていけばいいのか？車なしでは生きていけないと思います。タクシーではお金かかるし。	70代	赤浜
私は歩くことが無理。シルバーカーを使っているしバスに乗りたくても降りるのが不便。	70代	町方
今は歩くのに不便を感じないが歩けなくなると近くにバス停、駅があっても用足し、買い物先等遠くの場所にあるそこまで歩けないと自宅から用足し、買い物先までの交通機関（タクシー）を使うと思う。公共交通をあまり使わないかと思う。	70代	吉里吉里・浪板

#### (6) 公共交通は必要

利用者が少なくても、金沢小鎚線の町民バスの存続をお願いしたい。（今より本数を減らさないように）	50代	小鎚
現状外出に不便はないが車の運転ができなくなる頃に果たして鉄道やバスが存続しているのか？といった不安はある。私は通勤等でたまにバスは利用するが鉄道は駅まで遠く利用しない。高齢者の話では町民バスの安渡地区停留所や運行時刻が不便だと聞いています。公共交通機関は必要だと思いますので議論のみでなく、町長はじめ町議先生方も積極的に鉄道、バスに乗るべきだと思います。	50代	安渡
高齢の年になる方々に運転免許の返納促進を促してほしいが、運転ができなくなると途端に不便になってしまう。それを補える利点を作してほしい。	30代	吉里吉里・浪板
今は不自由なく自分で運転して、行動できるが、数年後できなくなったことを考えるとまた考え方が変わってくると思う。今は町民バスなど多く運行しているようなので自分たちが必要になったときに利用できたら良いと思っています。	40代	町方
町民バスは絶対必要です。無作為のアンケートでも高齢者はよくわからずアンケート出さずに終わってしまっているかもしれませんが、自分が車がない、車を運転しない身だとしたら交通はかなり不便です。高齢者がいきいきと暮らせるようなコミュニティを作ることのはじまりは外出方法です。どんな場所でも交通が不便であればいくこと自体が億劫です。大槌を元気にしましょう。	20代	沢山・大ケ口
使用しておりますので以前と比べると公共交通機関を利用する機会はとても減ってしまいましたが、町内に公共交通を安心して利用することができる環境を整備してくださっていること、いつも大変ありがたく思っております。この度の回答が少しでも今後の町の公共交通体系の構築のお役に立てば幸いに存じます。よろしくお願いいたします。	30代	小鎚

町内バスや循環バスは利用者が少ないので本数も少なくなっていると思うが逆の発想で本数が多ければ利用者も多くなるのではないかと思う。この先高齢化が進み、家族を頼るのではなく自立して行動するためにも再検討望みます。	70代	沢山・大ケ口
私は車で移動するので不便はありませんが高齢者の方がバス停の場所やバスの時間について不満を言っていたのを聞いたことがあります。もっと、バスや鉄道を利用する人、車の運転をしない人の意見に耳を傾けていただき、皆が活動しやすい町になったらいいと思います。よろしくお願いいたします。	40代	安渡
シルバーマークの老人に当て逃げされそうになった。免許返納が進むよう、しても少しでも不安がなくなるようタクシーや公共交通機関が使われ、子供や住人の安全が守られるように政策が進められたらいいなと思っています。	20代	安渡
現在、外出手段として主に自転車を利用している。将来、怪我や病気のために自転車を利用できなくなった時は、バス停が少し遠いのでタクシーに頼ることになると思う。私ども高齢者にとってタクシー代は家計を大変圧迫するので今後の生活の不安材料の一つになる。これらの交通費を削減する方法を考案していただくとありがたい。	60代後半	安渡
数年後は免許返納することを考えているため、公共交通を利用するため色々と不安はあります。年齢的にもカードとか現代の生活様式に非常に不安を感じます。何でもコンピューターでする事で今後が案じられる。	70代	赤浜
赤浜への交通の手段が少ない。	10代	赤浜

#### (7) バスの時刻を見直す必要がある

バス料金を一律にして欲しい！！行きの時間と帰りの時間の調節も考えてもらいたい。（買い物をする時間がない）	30代	小鎚
もう少し県交通のバスの時刻表がわかりやすく。バスの時間の間が遠すぎると思います。よろしくお願いします。	80歳以上	町方
循環になってから時間が合わなくなり利用回数が減った。（町民バス）定期感があれば乗る回数が増える可能性がある。県交通との接続をもっと良くしてほしい。町民バスの行先表示がパッと見て分かりにくい。（現にそれが理由で町民バスを利用しない知り合いが何人もいる）バス停の時刻表や地図が分かりにくいので改善してほしい。（古いままのものもある）	50代	沢山・大ケ口

#### (8) 子どもや高齢者が利用できるように

公共交通なので多くを望んでいるわけではないのだけれど、本当に必要としている人たちが利用しやすい時間に運行しなければ意味がない。便数は特に多くなくてもかまわないけれど、利用する人たちがゆとりを持って行動できるようであってほしい。運行時刻は重要と思う。	40代	金沢
70歳以上の年金暮らし、現在は自分で運転しているが今後免許返納した場合の買い物・病院等の心配がある。もう少し気軽に外出しやすい環境を作してほしい。（お年寄りに優しく）	70代	吉里吉里・浪板
例え少数であっても不便さを感じているところがある限りその地区の人たちに合う	70代	吉里吉

サービスをお願いしたいところです。大きなサービスも大事ですが、少数のサービスにもぜひ力を貸していただけるとありがたいです。高齢で外出や交流がなくなれば「生き生き元気な大槌」とは言えませんよね。町のいろいろなイベント等にも参加できませんよ！！		里・浪板
小、中、高校生が町民バスを利用しやすい時間帯に運行するバスを増やして欲しい。朝、昼、夕。	30代	小鎚
老人、学生の生活に合う交通環境にしてほしいです。部の学生は親の送迎ができていないので時間を考えて運行してほしいです。	40代	小鎚
高齢者や学生にとって都合に言い環境であった方がいいです。（運転免許、自家用車を所持していれば、公共交通はほぼ利用しない。子供や高齢者など、送迎できる時は良いが、仕事の都合などでできないこともあります。そういった時に思うのが、上記の理由です。	30代	赤浜
天候が悪い時、少し格安で学校からの下校をサポートしてくれるタクシーほしい（大雨、熱中症、大雪の時などに、生徒手帳で後払い可能なようにするなど）。 土日またはポイント 2 倍の火曜日にマストへの無料シャトルバスまたは有料でランチ付きなどのチケット配布やお買物券セットなどがあったらいい。	10代	桜木町・ 花輪田・ 臼沢
大槌高校への通学、朝のバスが間に合わない。特に早い時間のバスは必要なのか？6時台誰も乗っていない。学生の運賃を払っても良いので時間合わせて欲しい。	50代	小鎚

#### （９）利便性向上や利用促進が必要

三鉄に自転車と一緒に乗れると他の地域を自転車で廻れて観光面で良いのではないかな。もちろん運賃は別々です。町民バス、県交通バス、三鉄で共通に利用できる IC カードの導入。	70代	桜木町・ 花輪田・ 臼沢
IC カードの利用が進めば若い人が利用しやすくなります。キャッシュレス化が進んでいるため現金を持ち歩かない人が増えていると思います。	20代	赤浜
（質問 20 回答より）首都圏で運転手さんが上がりやすいステップを出してくれたことがあります。	80歳以上	赤浜
現行の公共交通機関利便性を。特に車を使用する事が困難になることが想像できますのでそれに変わることを考えなければますます町内に住むことが出来なくなる。人口減に拍車がかかります。ただ通せばいいというだけではもう通用できません。	60代後半	小鎚
バスの色が前方から他の車と全然ちがいがわかるようであればよいと思います。	60代前半	金沢
バスを身近にするように。おちゃんの写真が撮れる。トイレトペーパーや米、洗剤、コラボ商品が購入できる。（曜日を決めてその時だけでもなど）	40代	沢山・ 大ケ口
小鎚線の場合、空バスがぐるぐるまわっているのをよく見かけます。利用者が少なくなったのか、かえって不便になったのかわかりません。調査関係者様、一度バスに乗って見た方がよいかと思います。	80歳以上	小鎚

#### （１０）免許を返納するのが不安

自動車の免許返納者へのタクシー・バスの割引など分かりやすく広めてほしい。返	40代	赤浜
---------------------------------------	-----	----

納者へのメリットを大きくしてほしい。		
免許返納になった時、交通機関がどのように動いているか不安だ。	60代 前半	吉里吉里・浪板
どこへ行くにも不便すぎて、将来的に運転免許返納なんて考えられない。	30代	金沢

### (11) 乗合タクシーや小型バスがよい

盛岡市の「でんでんむし」のようにいつでも気軽に使えると良いなと思っています。JRをもっと利用したいが釜石駅までは自家用車を使用しなければならない（三鉄との乗り継ぎが不便）。近い将来外出が”0”になるかも？	不明	桜木町・花輪田・臼沢
公共交通不便地域に乗合型小型バス使用は？	50代	金沢
乗合タクシーを増やす町民バスの会社でタクシー業務のようなものをする。	60代 前半	小鎚
町民バスをマメに運行し利用しやすくする。丁目単位で運行する。	40代	吉里吉里・浪板
高齢者はバス停まで歩くのが大変だ。家まで来てくれるタクシーを安く、使い勝手よくすることができればいいと思う。田舎は免許を返せない。だって車がないと生活が成り立たないから。	10代	安渡
現在高台に住んでいます。バスは来ません。バス停までの坂道は荷物を持って歩くのはとても大変ですし、熊に遭遇する危険性もあり、夜道は暗くて怖いのでバスを利用する気になりません。タクシーは料金が高いので年金生活の方は利用できないと言っています。ハイエースとかセレナのような小型の車で細かく地区割りをされた区間を100円で循環バスがあれば行動範囲も広がり利用回数も増えると思います。	50代	安渡
今、車を運転しているので不便に感じないけど免許がなくなるとバスや鉄道の待ち時間が一番面倒だと思っています。車をもう少し小さいのにして時間も頻繁にすると良いと思います。	60代 後半	沢山・大ケ口

### (12) タクシー補助が必要

高齢者にやさしい公共交通を作って欲しいです。介護タクシーを普及させて欲しい。もっと気軽にタクシーを使えるような制度（金銭面で）を作って欲しい。	50代	桜木町・花輪田・臼沢
各家からバス停まで遠い。バス路線から外れたところがないように走行のコースを見返したうえでフリー乗降車（赤浜地区）としてほしい。免許返納の促進は良いが、返納した場合の移動手段がなくなる。タクシーやバス割引制度など町として高齢者になると震災後高台に住む人もないので制度化してほしい。	60代 後半	赤浜
大槌町のような小さな町であれば、定時での運行（バスなど）というよりは、タクシーなどを町中循環させ、待ち時間、停留所などの決まり事なるべく排除できるような仕組みを考えた方が良いでしょう。合わせて、高齢者の事故を減らす為にも上の案プラス高齢者へのタクシー料金の定額提供などあればよいと思います。	40代	沢山・大ケ口
バス停が近くなっても毎日利用するわけではないので、必要なときに使える、タク	70代	安渡

シー券のようなものがあると高齢で歩行困難な者に対してはありがたいと思う。		
--------------------------------------	--	--

### (13) 鉄道や駅が不便

三鉄を廃止して、そこでういた金をバスに回すべき。	30代	吉里吉里・浪板
鉄道の駅が商業施設や病院の近くにあれば利用が増え、町の活性化にもなるのでは。	40代	安渡
三鉄すぐ止まる	10代	町方

### (14) 今は車が運転できるので大丈夫

バス、鉄道共に利用したことがなく現在は外出の不便を感じません。ただし、5年後、免許返納後は分かりませんが…。	70代	沢山・大ケ口
今現在自分で運転しているため公共交通を利用することがないので特に考えた事がないです。	50代	沢山・大ケ口
現在自分で自動車を運転するので、実感として湧かない。しかし、10年後どのような環境になるのか想像がつかず不安はあります。	60代後半	沢山・大ケ口
公共交通を利用しないと維持できなくなるのかもしれませんが、自動車を利用してしまいますね。	30代	桜木町・花輪田・臼沢

### (15) まちづくり関連

イベントがあった時、他の市町村等からバス、自家用車で来ることがあると思う。その為に無料駐車場を用意できるように場所を作っておく方が良いと思う。いつもは何か置いても、すぐに移動できるように。	70代	小鎚
駅の周りには不便を感じるような気がする。催し物する場所や買い物場所があまりにも点々としていて車を持たないと大変と思う。人を呼ぶとか外出したくなる町にするには交通機関と駅周辺の魅力が重要だと思う。	40代	桜木町・花輪田・臼沢
町内移動手段として町民バス（又はより小型、タクシーなど）の充実を図り車がなくても生活できる街づくりを進めることも肝要であるが、それ以上にITを活用し自宅で受診、行政手続き、買い物などができるまちづくりを進めれば過度な負担増が避けられるのではないかと。今回のようなアンケートはms forms等を利用した方が良い。	40代	沢山・大ケ口
小鎚は道路脇の草、木の枝が多く大型のバス・トラックなど走りづらいと思う。雨や雪が降ると木の枝は下にさがりとても危険だと思うのですが…あと、道路の白線が消えかかっているところはこまめに白くしないとそれも危険だと思う。	40代	小鎚
町営住宅に住み始めて8年目を迎えますが、いろいろとあったり、たまには、いったいどこを歩いているんだろうと間違えたりしますが10年前と比べたらもう少し街灯をつけてくれれば夜は便利な場所になるんじゃないかなと思っています。バス停はあるけど、あそこだけは夜になると見えなくなるので明かりがあればすぐ見つかると思います。そうすれば、便利になります。	40代	吉里吉里・浪板

高齢者を手厚くしなくてよし。死に行く者より生まれ来る者を手厚くしなはれ。子供たちが遊べる公園が必要。	30代	安渡
草刈りなどを定期的にやってほしい。	40代	桜木町・ 花輪田・ 臼沢
公共交通、自家用車共に言える話ですが、大槌町には公衆トイレが少ないと他市町村の方々に言われます。道の駅もなく（バス停を設置する）24時間利用できるトイレがないのは沿岸では大槌だけです。これでは観光客や来訪者を多く呼び込み、公共交通や町を活性化させるのは不可能だと思います！	40代	沢山・ 大ケ口
山岸橋が狭く、対向車とのすれ違いができないためどちらかが橋手前で待つことがあります。また、急用ができたときや災害発生時の通行が心配になります。広い橋または橋を渡らずに町中に行ければ外出時の不安要素がなくなります。山岸橋の道路と橋のつなぎ目が陥没していますがそちらの修繕は行うのでしょうか。アンケートの意図と別の内容を書いているかもしれませんがご検討よろしく願いいたします。	20代	小鎚
自然も海あり山ありとそろっているのだから早くコロナが収束して観光客が来てほしい。どこへでも自由にいけるようになってほしい。	70代	町方
公共交通も大事だが人が集まる町にしなければバスなど利用する人もふえないと思う。特に子供が遊ぶ公園がないため、町外の公園につれていきあそんでいる。公園の近くに買い物する場所があればさらに良いと思う。子供たちが住みやすい町にしてほしい。	30代	桜木町・ 花輪田・ 臼沢
雪が降った時の除雪をしっかりとってほしい。	30代	小鎚
土坂峠早期実現を期待しています。	30代	金沢

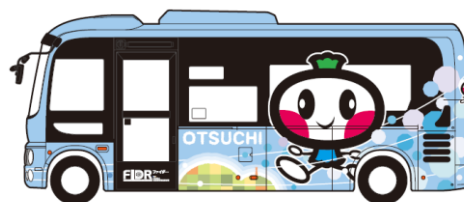
## 卷末資料

---



## バスや鉄道などの公共交通に関する

## アンケートのお願い



町民のみなさま

町では、今後を見据えた持続可能で効率的な公共交通体系を構築するため、今後5年間を計画期間とする「大槌町地域公共交通計画」の策定に取り組んでいます。

計画には、公共交通を利用する町民の皆様や、利用したいと考えている方々から町内の公共交通の利用状況やご意向などを調査し、町民の皆様のご意見を反映したいと考えております。

つきましては、バスや鉄道などの「公共交通に関するアンケート調査」を実施いたしますので、ご多用のところお手数をお掛けいたしますが、皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和 3 年 7 月

大槌町長 平野 公三

### 【ご記入にあたって】

1. 調査票は、15 歳以上の町民を対象に、無作為抽出で 1,500 人に送付しています。
2. ご記入が終わりましたら、返信用封筒に入れて、ポストにご投函ください。
3. ご回答頂いた内容は、公共交通計画の策定以外で使用することはありません。

8月11日(水) 投函締切

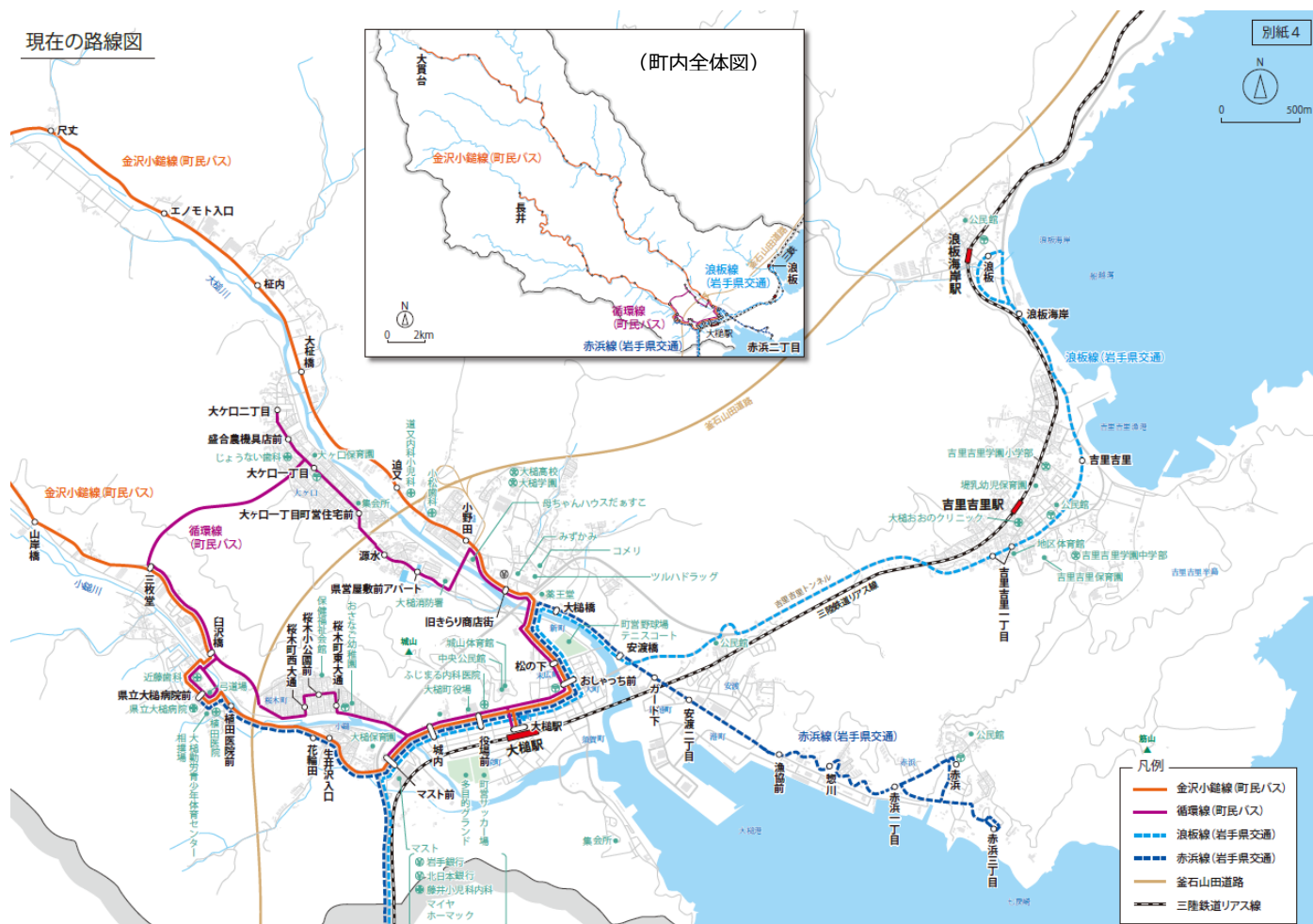
### 【調査実施機関・お問い合わせ】

大槌町役場企画財政課企画政策班 電話：0193-42-8712 FAX：0193-42-3855

裏面に町内の公共交通の現状を紹介しています。→

## 大槌町内の公共交通の概況

<h3>■三陸鉄道リアス線</h3>	<h3>■岩手県交通バス（赤浜線、浪板線）</h3>
<p>三陸鉄道リアス線が1日11往復運行しています。</p> 	<p>町内の沿線と釜石方面を結ぶ広域交通として、2路線運行しています。</p> 
<h3>■町民バス（金沢小鮫線、循環線）</h3>	<h3>■タクシー</h3>
<p>町内を周回する公共交通として、町民バスが2路線運行しています。</p> 	<p>町内のタクシー事業者は、2社営業しています。</p> 



# 大槌町の公共交通に関するアンケート調査

\*\* 該当する番号に○を付けてください。「その他」を選んだときは( )の中に具体的に書いてください \*\*

## 1 あなたご自身について

質問1 あなたご自身について、当てはまるものを選んでください。

年 齢	①10代      ②20代      ③30代      ④40代      ⑤50代      ⑥60～64歳 ⑦65～69歳   ⑧70代      ⑨80歳以上
性 別	①男性      ②女性
ご職業	①会社員・公務員・団体職員      ②自営業      ③パート・アルバイト ④主婦      ⑤学生      ⑥無職      ⑦その他 ( )
世帯の構成	①単身世帯（ひとり暮らし）      ②1世代世帯（夫婦のみ） ③2世代世帯（親と子）      ④3世代世帯（祖父母と親と子） ⑤その他 ( )
世帯で所有する乗用車の台数	①1台      ②2台      ③3台以上      ④持っていない

質問2 現在お住いの地区はどちらですか？当てはまるものを選んで○をつけてください。

現在お住まいの地区  *住民登録をしている住所ではなく、 <u>実際に住まわれている地区</u> を選んでください。	①町方地区（新町、大町、本町、末広町、須賀町、栄町、上町、小枕、伸松）	②沢山・大ケ口地区（沢山、大ケ口、源水、迫又、柁内、前段、和野）
	③桜木町・花輪田・臼沢地区	④安渡地区
	⑤赤浜地区	⑥吉里吉里・浪板地区
	⑦小鎚地区（蕨打直、一の渡、種戸、徳並、長井）	⑧金沢地区（下屋敷、対間、戸保野、安瀬の沢、中川原、中山、戸沢）

質問3 あなたは、自動車、もしくはバイクの運転免許を持っていますか？

自動車の運転免許	①持っているし、日常的に運転している。      ②持っているが、運転はしていない。 ③返納した      ④持ったことがない      ⑤その他 ( )
バイクの運転免許	①持っているし、日常的に運転している。      ②持っているが、運転はしていない。 ③返納した      ④持ったことがない      ⑤その他 ( )

質問4 あなたは、普段、どのくらい「おでかけ」をしていますか？（「おでかけ」とは、通学や通勤、通院、買い物、娯楽などを指し、家の周りのお散歩や畑作業などの外出を除きます。）

①ほぼ毎日      ②週に3～4日      ③週に1～2日      ④月に1～3回      ⑤その他 ( )

質問5 身近に、通院や買い物などへ送迎してくれる家族や知人はいますか？ あてはまるものをすべて選んでください。

①同居している家族や親戚      ②町内に住む家族や親戚  
③近隣市町村に住む家族や親戚      ④隣近所の人  
⑤送迎を頼める人はいない      ⑥その他 ( )

## 2 あなたの現在の生活状況について

質問6 あなたは、現在、通勤や通学をしていますか？

通勤や通学の有無	①通勤をしている      ②通学をしている      ③どちらもしていない
----------	----------------------------------------

(↓1.又は2.を選んだ方は、行き先や外出方法についてもご回答ください。)

通勤・通学先	①町内      ②釜石市内      ③山田町内      ④その他 ( )
最もよく使う 外出方法 (ひとつ選択)	①三陸鉄道                      ②県交通バス                      ③町民バス      ④タクシー ⑤自動車 (自分で運転)      ⑥自動車 (家族等が送迎)      ⑦バイク      ⑧自転車 ⑨徒歩                      ⑩その他 ( )

質問7 あなたの現在の通院の状況について、それぞれ当てはまるものを選んでください。

通院の状況	①定期的に通院をしている ②具合が悪くなったときのみ行っている (定期的な通院はしていない) ③その他 ( )
現在、通院している 病院名 (すべて選択)	①植田医院                      ②藤井小児科内科クリニック      ③道又内科小児科医院 ④大槌おおのクリニック      ⑤岩手県立大槌病院                      ⑥ふじまる内科医院 ⑦釜石市内の病院                      ⑧山田町内の病院                      ⑨盛岡市内の病院 ⑩その他 ( )
最もよく使う 外出方法 (ひとつ選択)	①三陸鉄道                      ②県交通バス                      ③町民バス      ④タクシー ⑤自動車 (自分で運転)      ⑥自動車 (家族等が送迎)      ⑦バイク      ⑧自転車 ⑨徒歩                      ⑩その他 ( )

質問8 あなたの現在の買い物の状況について、それぞれ当てはまるものを選んでください。

主な買い物場所 (主なもの2つ)	①マスト・ホームック      ②みずかみ                      ③薬王堂                      ④だあすこ ⑤釜石市内      ⑥山田町内      ⑦その他 ( )
最もよく使う 外出方法 (ひとつ選択)	①三陸鉄道                      ②県交通バス                      ③町民バス      ④タクシー ⑤自動車 (自分で運転)      ⑥自動車 (家族等が送迎)      ⑦バイク      ⑧自転車 ⑨徒歩                      ⑩その他 ( )

質問9 その他の外出 (用足しなど) について記入し、当てはまるものを選んでください。

その他の外出先	(例：兄弟姉妹の家、金融機関など)
最もよく使う 外出方法 (ひとつ選択)	①三陸鉄道                      ②県交通バス                      ③町民バス      ④タクシー ⑤自動車 (自分で運転)      ⑥自動車 (家族等が送迎)      ⑦バイク      ⑧自転車 ⑨徒歩                      ⑩その他 ( )

### 3 鉄道やバスの利用環境や利用状況、鉄道の利用経験について

質問 10 あなたのご自宅から最寄りの三陸鉄道駅までの徒歩時間を教えてください。

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| ①徒歩 5 分未満         | ②徒歩 5 分以上 10 分未満 |
| ③徒歩 10 分以上 20 分未満 | ④徒歩 20 分以上       |

質問 11 あなたのご自宅から最寄りのバス停までの徒歩時間を教えてください。

- |                   |                  |                 |
|-------------------|------------------|-----------------|
| ①徒歩 5 分未満         | ②徒歩 5 分以上 10 分未満 |                 |
| ③徒歩 10 分以上 20 分未満 | ④徒歩 20 分以上       | ⑤バス停がどこにあるか知らない |

質問 12 あなたは過去 1 年の間に、どのくらい三陸鉄道を利用しましたか？

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| ①ほぼ毎日利用した | ②週に数回利用した  | ③月に数回利用した |
| ④年に数回利用した | ⑤利用したことがない |           |

質問 13 あなたは過去 1 年の間に、どのくらい岩手県交通バスを利用しましたか？

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| ①ほぼ毎日利用した | ②週に数回利用した  | ③月に数回利用した |
| ④年に数回利用した | ⑤利用したことがない |           |

質問 14 あなたは過去 1 年の間に、町内でどのくらいタクシーを利用しましたか？

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| ①ほぼ毎日利用した | ②週に数回利用した  | ③月に数回利用した |
| ④年に数回利用した | ⑤利用したことがない |           |

質問 15 町民バスは令和 2 年 12 月に路線の変更を行いました。12 月以前には、どのくらい町民バスを利用しましたか？

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| ①ほぼ毎日利用した | ②週に数回利用した  | ③月に数回利用した |
| ④年に数回利用した | ⑤利用したことがない |           |

質問 16 町民バスは令和 2 年 12 月に路線の変更を行いました。12 月以降は、どのくらい町民バスを利用しましたか？

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| ①ほぼ毎日利用した | ②週に数回利用した  | ③月に数回利用した |
| ④年に数回利用した | ⑤利用したことがない |           |

### 4 おでかけ環境の改善について

質問 17 現在、外出やおでかけが不便だと感じることはありますか？

- |             |            |              |
|-------------|------------|--------------|
| ①とても不便だと感じる | ②少し不便だと感じる | ③あまり不便だと感じない |
| ④全く不便だと感じない | ⑤どちらともいえない |              |

質問 18 10 年後を想像した時、外出やおでかけが不便だと感じますか？

- |             |            |              |
|-------------|------------|--------------|
| ①とても不便だと感じる | ②少し不便だと感じる | ③あまり不便だと感じない |
| ④全く不便だと感じない | ⑤どちらともいえない |              |

質問 19 不便だと感じる理由、感じない理由としてあてはまるものを 3 つまで選んでください。

(不便を感じる理由)	(不便を感じない理由)
①町民バスのバス停が遠い	⑨車を運転する
②町民バスの運行時刻が合わない	⑩送ってくれる人がいる
③バス停に屋根やベンチがない	⑪町民バスを利用できる
④バスのステップが高くて上がれない	⑫鉄道が利用できる
⑤病院や買い物をすると場所が遠い	⑬あまり外出をしないようにしている
⑥移動販売車が減った・来なくなった	⑭その他
⑦送ってくれる人がいない・いなくなった	(
⑧歩くのがしんどくなった	)

質問 20 外出やおでかけをもっとしやすくするとともに、将来にも公共交通を維持するためには、どのような改善が行われればよいと思いますか？上位2つを選んでください。

①町民バスと県交通バスとの接続をよくする ②町民バスと三陸鉄道との接続をよくする ③駅やバス停が遠い公共交通不便地域を解消する（乗合タクシーなど） ④町民バスの回数券や定期券をつくる ⑤町民バス、県交通バス、三陸鉄道の共通定期券、乗車券をつくる ⑥IC カードなど現金以外でも利用できるようにする ⑦時刻表や路線図等を分かりやすく提供する ⑧駅やバス停へのベンチ設置など待合環境をよくする ⑨観光客など来訪者が利用しやすくし、利用者を増やす ⑩自動車の運転免許返納促進を行う ⑪その他（	第 1 位
	第 2 位
	第 3 位

質問 21 その他、外出環境の改善に関するご意見やご要望等をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れてポストに投函してください。